

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51385	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	新田 一郎	法学部	月 5	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		大学とスポーツについて考える 現代日本にあって急速にビジネスとの関わりを強めつつあるスポーツは、これまたビジネスとの強い関わりを余儀なくされつつある大学に対して、正負さまざまな影響を及ぼすことになる。「日本版 NCAA」として構想された UNIVAS が今春発足したことを機に、アメリカの本家 NCAA（National Collegiate Athletic Association）が抱えてきた問題点について、関係者の回顧録を講読しながら考え、以て日本の大学スポーツの現状と将来について考える一助とする。受講希望者が 15 名を大きくこえた場合には、第一回授業に際し実施する小テストによって選考するので、受講希望者は必ず出席すること。その際、英和辞典ないしそれに代わりうるものを持参すること。受講許可は第二回授業日までに掲示によって告知する。					
評価方法 教科書		授業中のパフォーマンスによる 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Universities in the Marketplace 著者（訳者） Derek Bok 出版社 Princeton University Press ISBN 0-691-12012-9 その他 「主たるテキスト」として用いる					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/9/30 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51386	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	五百旗頭 薫	法学部	水 5	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		UTAS のシラバスを参照すること UTAS のシラバスを参照すること UTAS のシラバスを参照すること UTAS のシラバスを参照すること UTAS のシラバスを参照すること					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51388	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1224	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		質的調査の方法 社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中に出される諸課題、レポート等。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50187	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	酒井 哲哉	国際関係	月 5	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		1930 年代日本の国際秩序論 1930 年代日本の国際秩序論に関する最近の研究文献を購読し、この分野についての知識を深めることにする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		報告・出席を含む平常点による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51382	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	葛西 康德	文学部	金 5	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古典、現代社会、教養、教養区分 本授業の目的は、受講生が指定されたテキスト（古典作品ないしその一部）をきちんと読んだ上で、現代社会の種々の問題（何を問題と考えるかもまた議論しながら）に関して、テキストの内在的論理と、その社会的政治的背景を考慮した論理、この二つの論理を基にして、どのようにアプローチするか（しないか）を、授業中の口頭による議論と授業の事前事後の文字化・文章化した議論を通じて、明らかにしてゆくことである。 一見、「ハーバード流なんとか」の授業に類似しているかのごとき印象を与えるが、決してそうではない。第一に、本授業は、問題解決を目指さない。何が、何故、問題なのかを問うことが、主眼である。第二に、古典テキストを参加者が共有する。つまりレファレンスを限定する。第三に、口頭によるアクロパティックな論証よりも文章（書いたもの）による論証を重要視する。 とは言え、本授業では現代社会の問題も念頭において議論する。そして現代社会における教養とは何かを参加者全員で考える。しかも、抽象的にではなく、「教養区分」という名のフォーマットを参考にしながら、エッセイを書くことを要求する実践的性格を有している。					
評価方法 教科書		毎回の出席、意見発表レジュメ作成、ディスカッション、最終レポートの総合評価。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 岩波ジュニア新書 2018 著者（訳者） 小島毅編『知の古典は誘惑する』 出版社 岩波書店					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51383	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	長井 伸仁	文学部	水 5	118	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		記念行事にみる歴史意識 歴史をどのように捉えるのか、過去とどう関わるのかは、時代や社会によって異なる。たとえば陵墓についても、その世界遺産登録を望む心性は、皇国史観の時代のそれとは本質的に違うと思われる。このゼミナールでは、過去の想起や顕彰のあり方を調べることで、現代がどのような時代なのかを考えてみたい。					
評価方法 教科書		発表と質疑応答への参加をもとに評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50927	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	岡田 泰平	歴史学部会	金 2	114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「戦記もの」から考えるアジア・太平洋戦争 本授業では、国会図書館に所蔵されている「戦記もの」と呼ばれるジャンルの文献を読んでいます。それぞれの受講者がアジア・太平洋戦争についてのテーマを考え、絞り込み、調査してもらいます。学期末には外部の研究会で発表し、その上でレポートを提出してもらいます。日本社会においては、1990 年代からアジア・太平洋戦争についての見直しがなされてきました。外国人の当事者が日本社会で訴えたことの影響が大きかったのですが、現在ではその訴えにどう対処するかが国際政治の対象となってしまうしました。その結果、「何が起きたのか」「どのような状況で起きたのか」「誰が行ったのか」等々のあたりの問いは、意見や見解によるものとみなされる傾向が大変強くなりました。このような傾向は、過去を見つめなおし、過去から何を学べるのかを考える、という歴史学の本流からは切り離されたものです。そこで、歴史学の本流の方法に立ち戻り、皆さんと共に、より現場に近い資料から 70 年以上前に終わった戦争の実相を捉えるということを実践したいと思うようになりました。					
評価方法		国会図書館での進捗状況の確認＋期末発表＋期末レポート (読んだ「戦記もの」については基礎データを記した献リストを作成し、これを期末レポートに付けてください。)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 指定された教室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51076	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	渡辺 美季	歴史学部会	金 5	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		裁判記録から見る琉球王国 近世期（1609-1879 年）の琉球は、中国・日本と二重の君臣関係を有しながら――むしろそれゆえに――中日どちらにも包摂されない固有の文化・制度や社会状況を確立していった。この授業では、近世琉球の裁判記録（の現代語訳）を読み解きながら、（１）琉球固有の諸状況（例えば生活生業・国際関係・身分制・法制・ジェンダー・交通など）への理解を深めつつ、（２）史料から「問い」を立て、調査・考察するという歴史学研究方法の基礎を学ぶことを目的とする。 ゼミであるので定員を 15 名程度とし、もし履修希望者が超過した場合は、初回授業で志望動機などに関する短いレポートを書いてもらい、これによって選考する。従って履修希望者は初回授業に必ず出席すること。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席状況、授業への参加度、報告（発表）およびレポートの内容などにに基づき総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50675	A	人文科学ゼミナール (文化人類学)	関谷 雄一	文化人類学	金 5	114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		周縁課題に関する問いを立て、議論をする 地球上には様々な難題が山積みされている。貧困、紛争、疫病、環境問題、災害、排除と包摂、食糧問題、難民や移民、科学技術と倫理等々。グローバル化が進み、ビッグデータの活用や AI 等の先端技術が普及したとしても、常にその影には周縁化された課題が残ってしまう。そうした周縁課題と向き合ってきた文化人類学を中心とする様々な人文科学の業績を講読しながら、自らも問いを立て議論をするための作法を身に着ける訓練をする。ある人類学者が述べたように、文化人類学は「人文科学の中でもっとも科学的であり、科学の中で最も人文主義的である」とされる。その微妙なバランスを保ちながら、議論をする意義のある課題を見つけ、問いを立てて考察をし、問いを練り直しながらさらに議論を発展させてゆく作法を先行研究から学び取る。そして課題との持続的な対話を通して、学問に深みが増してゆくことを理解してゆく。履修者はセメスター中に課題図書を参考にしながら自らが関心を持つ周縁課題を 1 つ取り上げ、文化人類学的視座から自由に取り組み、セメスターの後半は各自その取り組みを発表し議論をしていくこととする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への出席と課題達成度で総合的に判断します。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50280	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	宮地 隆廣	スペイン語	火 2	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語多読トレーニング スペイン語初級文法（直説法動詞）を学んだ者を対象に、平易な文章を多読することで、スペイン語読解のスキル向上を図る。					
評価方法		授業参加 100% 出席しても、予習をしていない者は欠席と見なす。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50626	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	松岡 心平	国文・漢文学	水 3	516	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		世阿弥の『風姿花伝』を読む 世阿弥は、役者であり、座長であり、演出家であり、その上に劇作家、さらには演劇論まで書くといったマルチタレントであった。その世阿弥の代表的な演劇論である『風姿花伝』を読み解いていく。					
評価方法		出席、ゼミナールでの発表、最終レポートなどで総合判断する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51077	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	出口 智之	国文・漢文学	金 5	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		江戸川乱歩と横溝正史 日本の推理小説を作り上げた二人の作家、江戸川乱歩と横溝正史の初期短篇を中心に取上げ、テキスト分析を行うことで、文学研究の基本的な手法と考えかたとを学び、あわせて現在に続く日本のミステリの端緒や、大正～昭和期の幻想小説を文学史的に理解する。					
評価方法		授業内で行う発表、議論の参加状況等の平常点に加え、学期末に提出するレポートによる。ただし、受講人数があまりにも多く、全員の発表が不可能なような状況になった場合は、別途課題を指示する。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51078	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	田尻 芳樹	英語	金 5	116	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		占領期の日本文学を読む 昭和 20 年の敗戦から日本はアメリカに昭和 27 年まで占領されていた。改憲論争や日韓関係などを見るまでもなく、この時期から積み残されてきた問題は現在なお多い。いったい、当時の日本人は敗戦という事実をどのように受け止めていたのだろうか。また、戦争責任、アメリカ主導の民主化といった問題をどのように考えていたのだろうか。この授業では当時書かれた代表的な文学作品を通じて、占領期の世相に迫り、とりわけ戦争責任の問題について考察したい。					
評価方法		通常の参加度と期末レポート。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50188	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	永田 淳嗣	人文地理学	月 5	116	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人文地理学農山漁村地域調査入門 国内の農山漁村の特定の地域を取り上げ、ローカルな生態・社会環境の制約と可能性の下で、人々がどのように生きてきたかを考察する。細かい調査・分析技術の習得よりも、まずは現場の人々の話にしっかり耳を傾けること、そして、具体的なデータに基づく論理的な思考の訓練に重点を置く。取り上げる対象・地域に対する知識の習得、データの収集と基本的な分析、議論には、相当な自主性と忍耐が要求される。12 月 23 日夜～24 日・25 日（授業未設定日）に予定している短期の野外調査への参加を前提とする。受講希望者多数の場合は選抜を行う（15 名程度）。					
評価方法 教科書 ガイダンス		通常の授業における課題への取り組み、野外実習本番での取り組み、最終レポートの内容を総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50928	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	広瀬 友紀	英語	金 2	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文理解実験実習 人間が文を理解するしくみはどのようなものであるのか、頭の中の構文処理装置はどのような働きをしているのか。こうした観点から具体的な問いを立て、日本語の文理解実験（読み時間計測実験を予定）をデザインし、実際にデータ収集を行う。そのデータを言語心理学で用いられる一般的な方法（線形混合モデルでの分析を予定）で分析し考察した結果を学期末に発表しレポートにまとめる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		各段階での取り組み（作業結果を随時提出）および結果発表（プレゼンテーションおよびレポート） ただし、予測通りの実験結果が出なかったから不合格ということはない（議論をきちんとすれば） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ことばの実験研究の方法 著者（訳者） 中谷健太郎（編） 出版社 ひつじ書房 ISBN ISBN978-4-89476-964-9 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50929	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	大森 拓哉	心理・教育学	金 2	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学統計法 物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、EXCEL を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。演習は一人一台の PC を使用して行う。 * 履修希望者が 40 名を超えた場合は、授業初回時間内の小レポートにより選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第 2 回目までに掲示によって告知する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 出席点 20%、課題点 80% プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/27 2 限／2nd Period KALS（17 号館 2 階）					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51387	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 洋一郎	アイソトープ総合 センター	火 1	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		放射線に対する生物応答の分子機序と放射線利用の最先端 東京大学では放射線に関して、生命科学から工学、物理学、数理科学まで広範な領域にわたる研究が行われている。全学センターとしてアイソトープ総合センターはその拠点となり、学内の放射線利用者への教育と同時に、放射線を使った先端的研究が行われている。学外に向けては原子力発電所事故の被災自治体や地元教育研究機関と協力して、除染・測定を含む学術的活動を継続的に、帰還を支援している。当センターはこれらの活動を通じて、被災地住民にとって真に重要な課題を明らかにし、これに取り組むために従来の学問の限界や枠組みを押し広げる努力を行っている。放射線影響、特に低線量の内部被ばくメカニズム解明やそれに対する防護については未知の点が多く、集学的な対応が必要であることから、その全貌を把握する系統的機会は少ない。そこで、本講義においては可及的に多様な視点から放射線が生体に及ぼす現象平易に解説することを目的とする。また、当センターは放射線を製造する加速器研究者や、分析装置の研究者と共に、生体イメージングや、α線核種を用いた医薬品開発を行っており、先端的なアイソトープ利用の拠点としての役割も果たしているため、最新の学問的潮流を踏まえて、放射線の有効利用の現状と次の展開についても解説することが可能である。特に、アイソトープ総合センターの教職員が取り組む研究とその成果をとりあげることで、現実的な課題から最先端の科学研究に至るまで概観することを本講義の目的とする。 「放射線影響と利用」では、(受講希望者が多数の場合には、)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由を A4 用紙 1 枚程度に記載し、第 1 回講義の際に提出すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。 なお、この講義は「福島復興学 (仮称)」の支援により測定、復興支援に携わる現場担当者の話を聞く機会としての側面も有している。					
評価方法		それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、通常点及び最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51107	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	FERJANI Ali	生物	集中	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物の多様性とその背景にある生存戦略の理解 —Rorippa aquatica の栄養生殖の観察— 栄養生殖の過程の観察及び有性生殖との比較を行ない、植物における生存戦略の多様性を理解することを目的とする。 自然界の植物は様々な環境下において、その形態や生活環を巧みに適応させながら、「自らは動けない」という不利な条件を克服している。本実験では植物の生殖に焦点を当てる。生殖には大きく分けて、「有性生殖」と「無性生殖」の2つに大別される。植物の無性生殖の中でも、根や葉、そして茎から新しい個体が生じる生殖方法を「栄養生殖」という。栄養生殖は農業や園芸においては、作物や花卉の種苗の大量生産に用いられるなど重要な現象である。本実験では最新の科学論文なども適宜紹介しながら、様々な視点から栄養生殖についての理解を深め、植物の多様性とその背景にある生存戦略について考える。					
評価方法		講義の最終日に各班による結果をお互いに発表・考察・討論を行ない、それを基準に評価する。					
教科書 ガイダンス		具体的なことは講義の中で指示する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/12/12 3 限／3rd Period 16 号館 5 階の 526 号室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51108	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	山道 真人	生物	集中	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		野外生物学：生態と進化の数理モデル実習 基礎知識を学ぶ講義と、数理モデルの構築・解析・シミュレーションを組み合わせ、野外の生物群集と進化の動態に対する理解を深める。 休日を利用して実施する集中講義では、数理モデルを用いた個体群生態学・群集生態学・進化生態学・集団遺伝学の基礎を紹介し、実習にその知識を役立てることを期待する。休日を利用して実施する数理モデル実習では、野外の生物現象に基づいて数理モデルを構築し、シミュレーションを含めた解析を行う。休日を利用して実施するこれら講義・実習に参加できない場合は、履修できないので注意すること。 数理モデル実習のため、受講者数を 15 名程度に制限する。受講希望者が受講可能数を超える場合は、レポート課題により受講者を選抜する。その他、詳しい内容はガイダンスにおいて説明・指示する。ガイダンスは、9 月 30 日（月曜）昼休みに、106 教室で行なわれる。					
評価方法 教科書		グループ発表・参加姿勢 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 数理生物学入門―生物社会のダイナミックスを探る 著者（訳者） 巖佐庸 出版社 共立出版 ISBN 978-4320054851					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time 2019/9/30 昼休みの時間帯、106 教室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50930	A	自然科学ゼミナール (化学)	平岡 秀一	化学	金 2	116	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		有機反応機構を考える 本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、有機化学の基礎知識の有無に関わらず、意欲のある学生を大いに歓迎する。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合には、選抜を実施する。履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。参考として、過去のクラスにおいて、受講者の選抜が行われたことはない。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席および各回の講義における発表、質疑応答により評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51381	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	加藤 晃史	数理科学研究科	月 5	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		図形と多項式 ー David A. Cox, John Little, Donal OShea 著 『Ideals, Varieties, and Algorithms』の輪講 数学で図形を扱う方法を大別すると、点の軌跡によるもの (manifold) と、座標が満たすべき条件を書き下すもの (variety) の、2 種類があります。前者は直感的で扱いやすく、ベクトル解析などの講義でも扱われる考え方です。後者はやや抽象的で授業で学ぶ機会が少ないですが、現代数学では代数幾何学として大きく発展しており、数学以外の分野でも、複雑な図形や拘束条件を扱うための非常に強力な手法として利用されています。 本ゼミナールでは、この分野で定評のある入門書 David A Cox, John Little, OShea 著の 『Ideals, Varieties, and Algorithms』 (4th edition, Springer, ISBN 978-3-319-16721-3) を輪講します。 もし受講希望者が 20 名を超える場合には、第 1 回授業日に「受講を希望する理由」と「履修した数学科目」についてアンケートを行い、意欲と予備知識に基づき選抜を実施する予定です。選抜結果は、第 2 回授業日までに掲示します。					
評価方法		平常点（発表のしかた・質疑応答・レポートなど）による。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Ideals, Varieties, and Algorithms 著者 (訳者) David A. Cox, John Little, Donal OShea 出版社 Springer Verlag ISBN 978-3-319-16721-3 その他 4th edition					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ1コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○2年生の履修について

2年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

(注意事項)

- ・総合科目L系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の4種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
 - ・英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
 - ・Sセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各2曜限には登録しないこと。
 - ・TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。
- なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50356	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	156	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%					
教科書 ガイダンス		Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50357	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 3	150	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		現代政治思想の「方向感覚 (Orientation)」 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想 (イデオロギー) について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム (「リベラルな平等」および新自由主義)、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。					
評価方法 教科書		授業内でのプレゼンテーション (40%)、レポート (40%)、出席 (20%) によって判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者 (訳者) Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50358	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	152	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50359	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	1221	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		New Windows on America: Reading the Atlantic Articles The goal is to read articles in English (specifically articles from The Atlantic Magazine) to understand current issues of the U.S. in English. Students need to read an article a week to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Quizzes and Class Activities (including discussions) (70%)/Final (30%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50360	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	火 3	154	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定ターム型 火 4 A1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50413	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	火 4	154	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50414	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 4	102	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		20 世紀両大戦間期イギリスの平和主義（英語講読） Richard Overby, The Morbid Age: Britain between the Wars (London: Allen Lane, 2009) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。					
評価方法		平常点（授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無）を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。					
教科書		その他 初回の分は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50415	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 4	150	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		現代政治思想の Orientation 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの内容を理解し、議論を行う。これらの思想内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。					
評価方法 教科書		授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者（訳者） Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50416	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 4	103	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		アメリカの移民史を読む―「人種」と市民権（1） アメリカ合衆国において、市民権がどのように人種化され、定義されたのかを考察する。学術書を速読する力を向上させるとともに、背景となる移民史、人種・エスニシティならびに市民権をめぐる理論、アメリカの歴史と文化についての理解を深めることを目的とする。					
評価方法 教科書		授業への貢献、コメント―ペーパー40%、試験 60% プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 How Race Is Made in America: Immigration, Citizenship, and the Historical Power of Racial Scripts 著者（訳者） Natalia Molina 出版社 University of California Press					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50417	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	Williams David	英語	火 4	155	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		Critical Discussion and Thinking The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future.					
評価方法		Assessment for this class will be based on four aspects: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (20%)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50418	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	152	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外 国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50419	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	156	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50420	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	中澤 恒子	英語	火 4	10-103	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		Little Miss Sunshine 2006 年公開のアメリカのコメディ映画 Little Miss Sunshine を教材とする。Jonathan Dayton, Valerie Faris 監督、Abigail Breslin 主演、アカデミー作品賞ノミネート、助演男優賞 (Alan Arkin) 受賞。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎週の授業参加とクイズ (ディクテーション)、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50529	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕 珍	英語	水 2	10-201	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		Reading Social Issues in English This course briefly introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during the term. It will help students to develop broad perspectives on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings. More detailed guideline will be provided later in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Three Weekly Paper and Presentation (30%), Final Report (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50530	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 2	1213	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		Climate Change: Fact and Fiction In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50531	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	158	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 4 0 %、試験と小テスト 6 0 % 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50532	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	遠藤 智子	英語	水 2	154	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		英語学習とメタ認知の理論と実践 学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。					
評価方法		授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング）、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができていのかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50533	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	156	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。					
評価方法 教科書		授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者(訳者) Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50534	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 2	10-103	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		言語と文化の関係についての英文を読む 言語と文化の関係について書かれた英文を読むことを通して、そうした関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。					
評価方法		小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度) に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50535	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	英語	水 2	153	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目		Professional presentation skills					
授業の目標概要		The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics). Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.					
評価方法		Participation 20% Outline 10% Draft 20% Presentation (only 1) 50%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定ターム型 水3 A1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50569	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	158	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 4 0 %、試験と小テスト 6 0 % 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50570	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 3	10-201	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for 10 minutes. More detailed guideline will be provided later in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Draft for presentation (30%), Final presentation (40%), Class participation (20%), Attendance (10%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50571	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	英語	水 3	153	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目		Professional presentation skills					
授業の目標概要		The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics). Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.					
評価方法		Participation 20% Outline 10% Draft 20% Presentation (only 1) 50%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50572	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	水 3	152	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50573	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 3	10-103	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		認知と言語 人間の認知と言語(言語も認知の一種)について書かれた英文を読むことを通して、関連する事柄についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。					
評価方法		小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度) に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50574	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	156	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。					
評価方法 教科書		授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者(訳者) Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50575	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	遠藤 智子	英語	水 3	154	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		英語学習とメタ認知の理論と実践 学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。					
評価方法		授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング）、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができていのかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50576	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 3	1213	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Ghosts and Hauntings in American Literature This course is an overview introduction to fiction that concerns hauntings, ghosts, and warped spaces in American fiction. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60015	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	152	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60016	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	1221	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		New Windows on America: Reading the Atlantic Articles The goal is to read articles in English (specifically articles from The Atlantic Magazine) to understand current issues of the U.S. in English. Students need to read an article a week to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Quizzes and Class Activities (including discussions) (70%)/Final (30%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60017	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 3	150	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		現代政治思想の「方向感覚 (Orientation)」 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想 (イデオロギー) について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム (「リベラルな平等」および新自由主義)、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。					
評価方法 教科書		授業内でのプレゼンテーション (40%)、レポート (40%)、出席 (20%) によって判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者 (訳者) Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60018	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 3	102	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		20 世紀両大戦間期イギリスの平和主義（英語講読） Richard Overy, The Morbid Age: Britain between the Wars (London: Allen Lane, 2009) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。					
評価方法		平常点(授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無)を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。					
教科書		その他 初回の分は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60019	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 3	103	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		アメリカの黒人解放運動を読む（2） 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。A2 タームでは、奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について学ぶとともに、現代アメリカの差別と平等について考察する。					
評価方法 教科書		上記の文献を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させる。関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。					
ガイダンス		授業への貢献・コメントペーパー40%、期末テスト 60% プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 From #BlackLivesMatter to Black Liberation 著者(訳者) Keeanga-Yamahtta Taylor 出版社 Haymarket Books 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60020	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	火 3	154	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60021	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	156	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定ターム型 火 4 A2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60086	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 4	150	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		現代政治思想の「方向感覚 (Orientation)」 19・20 世紀から現代にかけての代表的な政治思想 (イデオロギー) について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20 世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム (「リベラルな平等」および新自由主義)、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。					
評価方法 教科書		授業内でのプレゼンテーション (40%)、レポート (40%)、出席 (20%) によって判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者 (訳者) Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60087	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	Williams David	英語	火 4	155	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		Critical Discussion and Thinking The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future. This course will be taught exclusively in English.					
評価方法		Assessment for this class will be based on four aspects: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (20%)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60088	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	英語	火 4	102	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		20 世紀両大戦間期イギリスの平和主義（英語講読） Richard Overy, The Morbid Age: Britain between the Wars (London: Allen Lane, 2009) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。					
評価方法		平常点(授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無)を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。なお、出席は平常点に勘案するが、予習をせずに教室に座っているだけでは出席とはみなされない。必ず予習をして授業に臨んでほしい。					
教科書		その他 初回の分は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60089	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 4	103	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		アメリカの移民史を読む―「人種」と市民権（２） アメリカ合衆国において、市民権がどのように人種化され、定義されたのかを考察する。学術書を速読する力を向上させるとともに、背景となる移民史、人種・エスニシティならびに市民権をめぐる理論、アメリカの歴史と文化についての理解を深めることを目的とする。					
評価方法 教科書		授業への貢献、コメント―ペーパー40%、試験 60% プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 How Race Is Made in America: Immigration, Citizenship, and the Historical Power of Racial Scripts 著者(訳者) Natalia Molina 出版社 University of California Press					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60090	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	火 4	154	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60091	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	中澤 恒子	英語	火 4	10-103	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		Little Miss Sunshine 2006 年公開のアメリカのコメディ映画 Little Miss Sunshine を教材とする。Jonathan Dayton, Valerie Faris 監督、Abigail Breslin 主演、アカデミー作品賞ノミネート、助演男優賞 (Alan Arkin) 受賞。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎週の授業参加とクイズ (ディクテーション)、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60092	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	152	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60093	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	156	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientists critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定ターム型 水 2 A2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60109	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 2	1213	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		Climate Change: Fact and Fiction In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60110	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	英語	水 2	153	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		Professional presentation skills The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics). Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.					
評価方法		Participation 20% Outline 10% Draft 20% Presentation (only 1) 50%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60111	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 2	10-103	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		言語と文化の関係についての英文を読む 言語と文化の関係について書かれた英文を読むことを通して、そうした関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。					
評価方法		小試験の点数と授業中の performance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度) に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60112	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	遠藤 智子	英語	水 2	154	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		英語学習とメタ認知の理論と実践 学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。					
評価方法		授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング）、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができていのかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60113	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 2	10-201	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		Reading Social Issues in English This course briefly introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during the semester. It will help students to develop broad perspectives on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings. More detailed guideline will be provided later in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Three Weekly Paper and Presentation (30%), Final Report (40%), Class Participation (20%), Attendance (10%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60114	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	158	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 4 0 %、試験と小テスト 6 0 % 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60115	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	156	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。					
評価方法 教科書		授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者(訳者) Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定ターム型 水 3 A2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60163	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	英語	水 3	10-103	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		認知と言語 人間の認知と言語(言語も認知の一種)について書かれた英文を読むことを通して、関連する事柄についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。					
評価方法		小試験の点数と授業中の performance（質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度）に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で 6 割、小試験と授業中の performance で 4 割の評価比率。					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60164	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	中尾 まさみ	英語	水 3	152	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 20 世紀に英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業参加、小テスト等)および期末試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60165	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	英語	水 3	153	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Professional presentation skills The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas, when presenting their position as an oral presentation. These skills include the ability to prepare a well-structured script for the presentation that emphasizes the chosen position with supporting arguments (backed up by facts and statistics). Although the class focus on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.					
評価方法		Participation 20% Outline 10% Draft 20% Presentation (only 1) 50%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60166	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 3	1213	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Ghosts and Hauntings in American Literature This course is an overview introduction to fiction that concerns hauntings, ghosts, and warped spaces in American fiction. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60167	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	156	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者(訳者) Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60168	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	158	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況） 4 0 %、試験と小テスト 6 0 % 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60169	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	遠藤 智子	英語	水 3	154	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		英語学習とメタ認知の理論と実践 学習者が自己の状態、目標や達成状況、問題点等を把握するメタ認知はあらゆる学習において有効であると考えられる。本授業では英語学習を題材としてメタ認知に関する理論の理解と実践を行う。					
評価方法		授業参加、授業内課題（ワークシート、ディスカッション、プレゼンテーション、ライティング）、授業外課題（プレゼンテーション準備、ライティング、リーディング）等を行い、総合的に評価する。他の受講者のパフォーマンスに対して適切な評価ができていのかどうかも評価の対象になる。必要に応じて試験を行う可能性がある。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60170	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 3	10-201	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for 10 minutes. More detailed guideline will be provided later in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Draft for presentation (30%), Final presentation (40%), Class participation (20%), Attendance (10%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50019	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	10-101	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks, Discussions and Presentations The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.					
評価方法		70% Assignments and quizzes 30% Participation					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50020	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	K303	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how social inequality in future societies is represented in movies. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.					
評価方法		25%: Learning Journal 25%: Presentation (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class					
教科書 ガイダンス		その他 No textbook is required, but students will have to rent two films (DVD, digital, streaming, etc). 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50021	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	月 2	103	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習—発音力から聴解力へ— この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、英語の学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					
評価方法 教科書		学期末テスト、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 英語音声の基礎と聴解トレーニング 著者（訳者） 杉森 幹彦他 出版社 金星堂					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50022	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	月 2	149	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		Lets Read and Discuss: Reading Short Stories The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in The New Yorker magazine. It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.					
評価方法		Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退 2 回で欠席 1 回とみなす。5 回以上の欠席は不可。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50023	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 2	152	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communication in English among professionals プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして 3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の 3 点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。					
評価方法		授業内活動への積極的な参加・活動成果・授業内ミニテスト 55% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 20% 定められたテーマに沿って 3 分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って、3 分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 VOA ニュースフラッシュ 2019 年度版 (<CD>) 著者(訳者) アルク 出版社 アルク ISBN 978-4757433243					
ガイダンス		その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50024	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	153	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		元祖ミュージカル(サヴォイ・オペラ)の台本を読む 『オペラ座の怪人』の約 100 年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本(・歌詞)と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により 100 年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。 このレパートリーの中から、19 世紀末欧米の日本ブームに便乗して大ヒットし、日本・日本人のステレオタイプ形成に貢献(?)した『ミカド』を複数の上演映像を見ながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。英米では知名度抜群で現在でも上演の機会が多いこの作品について、成立の時代背景(ジャポニスム)や、日本を含めた上演にまつわるエピソードも概観する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		試験の成績に出席、平常点を加味する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50025	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	154	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.).					
評価方法		Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 40% Presentation: 40%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50026	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小田 悠生	英語	月 2	155	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題 この授業では、平易な英語で書かれたテキストと新聞記事、ビデオを併用しながら、特定テーマに関する一般向けの報道から入門者向けの概説書まで速読できる力を身につけます。中心とする指定教科書は、いわゆる「新書」相当のものであり、各自の専門分野・前提知識を問わず、アカデミックな文章を読解することができるようになることが目標です。 リーディングのテーマは、国際人口移動です。日本でも入国管理法の改正に伴い、「外国人労働者」や「移民」に関する議論が活発となっていますが、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、現代の世界において国境が持つ意味といった問題まで、様々なイシューについて考えてみましょう。					
評価方法		出席回数が三分の二を満たさない場合、単位は認めない。 毎回の宿題提出：30% 授業内課題への取り組み：30% 期末試験: 40%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 International Migration: A Very Short Introduction. 2nd edition. 著者(訳者) Khalid Koser 出版社 Cambridge: Oxford UP, 2016. ISBN 978-0198753773					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50027	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	156	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		楽園はどこにある—Ronald Blythe, Akenfield: Portrait of an English Village (1969)を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 Akenfield: Portrait of an English Village』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960 年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19 世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。 話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート（3～4 頁分の英文の和訳）。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定セメスター型 月 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50105	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	10-101	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks, Discussions and Presentations The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.					
評価方法 教科書 ガイダンス		70% Assignments and quizzes 30% Participation 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50107	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	153	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		ミュージカル(『レ・ミゼラブル』)の台本を読む ミュージカル『レ・ミゼラブル』の台本を読む。日本でも長年上演されてきたこのミュージカルは、ヴィクトル・ユゴーの長編小説の名場面集的なフランスの舞台をイギリス演劇界の総力を結集して作り変えた英語版がもとになっている。10 周年、25 周年の記念コンサートや映画版の映像を見ながら、台本を読み、作品を鑑賞する。フランス版からの変更点、英語版制作の経緯、劇評なども参照して作品理解を深める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		試験の成績に出席、平常点を加味する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50109	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 3	154	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		Geographies of Horror This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, H.P Lovecraft and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussion in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.					
評価方法		Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 40% Presentation: 40%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50110	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	156	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		楽園はどこにある—Ronald Blythe, <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごととも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i>』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960 年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19 世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。 話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。					
評価方法 教科書 ガイダンス	授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート (3～4 頁分の英文の和訳)。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50111	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 3	155	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		マンガについてのマンガを読む Scott McCloud の Understanding Comics: The Invisible Art というマンガを毎回 15-25 ページずつ読み進めていきます。 このテキストはマンガの仕組みを言語学・心理学・哲学・メディア論・芸術論など様々な観点から分析したものです。 講義の目標は（１）日本人にとって極めて身近な存在であるマンガを新たな視点で見られるようになることと（２）会 話特有の口語表現と硬質な学術的表現をバランスよく習得することです。					
評価方法		隔週の小テスト（50%） グループ発表（40%） 授業中の議論への積極的貢献（10%）					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Understanding Comics: The Invisible Art 著者（訳者） Scott McCloud 出版社 Harper Perennial ISBN 9780060976255					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50159	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小川 浩之	英語	月 4	149	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		World politics 100 years after the Paris Peace Conference I イギリスの王立国際問題研究所(チャタム・ハウス)が発行している学術雑誌 International Affairs の、第一次世界大戦後のパリ講和会議 100 周年特集号から選んだ論文を読む。英語の論文の読解を通して、過去 100 年間の国際関係史について学ぶ。1 週間で扱う英文は 5~8 ページ程度である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50160	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	英語	月 4	150	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目	英語で社会問題についてディベートしよう Lets debate about social problems in English						
授業の目標概要	この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。						
評価方法	出席率（欠席は3回までとして、4回以上の場合の評価は「不可」とする）、ディベートのデリバリー技術、ディベート内容のクオリティ、ディベートへの準備、ディベートへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの積極的な参加						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50161	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	月 4	10-303	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		TOEFL の後は、名作を英語で読もう 本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に問わず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。随時、名作の中心場面の映像（映画）の視聴、ディスカッション・プレゼンテーション等を取り入れることによって、バランスのとれた英語力育成を目標にする。					
評価方法		授業参加度：60%、出席（TOEFL の Reading 問題、名作に対する課題を含む）、ディスカッション、プレゼンテーションの成果を含む。					
教科書		学期末試験・レポート：40% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Official TOEFL iBT Tests Volume 2, second edition 著者（訳者） ETS (Educational Testing Service) 出版社 McGraw-Hill Education ISBN 1260440990					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50162	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	10-101	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks, Discussions and Presentations The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.					
評価方法		70% Assignments and quizzes 30% Participation					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50163	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 4	155	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		英語前置詞の自律的学習者を目指して 教員が英米の小説、TV ドラマ、映画などから収集した英文を読みながら、前置詞の使い方について考えます。英語で書かれた言語学文献も参照します。 授業の目標は以下のとおりです。 ・英語（理想的には任意の外国語）の前置詞（理想的には任意の多義語）を含んだ表現で自分では使いこなせなさそうな表現 X に出会ったときに、(a) X の仕組みを〈理解〉しようと試み、かつ、(b) X（および X と同じ仕組みで成り立っている別のフレーズ X や X）を丸ごと〈記憶〉しようと試みる、という健全な余剰性をもった学習方略をとれるようになること。 ・(a) のための手段として、言語学的な諸概念を習得すること。 ・(b) のための手段として、コーパスの使い方を習得すること。 ・以上により英語（理想的には任意の外国語）の前置詞（理想的には任意の多義語）の自律的学習者になること。					
評価方法		隔週の小テスト（50%）＋毎週の課題（25%）＋グループ研究発表（25%）					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50164	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 4	152	1 年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communication in English among professionals						
授業の目標概要	プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。 英語を多用な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。						
評価方法	授業内活動への積極的な参加・活動成果・授業内ミニテスト 55% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 20% 定められたテーマに沿って3分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 (履修学生数によって、個人またはグループプレゼンとする) 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って、3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 VOA ニュースフラッシュ 2019 年度版 (<CD>) 著者(訳者) アルク 出版社 アルク ISBN 978-4757433243 その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。授業の教材はプリント配布します。						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

クラス指定セメスター型 火 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50227	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	西川 杉子	英語	火 1	149	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		History Today を読む イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。 History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の小テストおよび授業への参加度。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50228	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 英海	英語	火 1	150	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		英語で世界を見聞きする 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加度およびテストによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50229	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ロビンズ・ロジャー	英語	火 1	151	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		Jailbird by Kurt Vonnegut This course will expand students ability to read and critically analyze English prose through a closely guided reading of an important work by a modern American novelist. We will emphasize multiple levels of comprehension, ranging from the appreciation of prose expression to the analysis of plot, literary structure, and character development.					
評価方法		Students will be evaluated on the basis of their class participation, short weekly responses (posted to ITC/LMS), and a short literary-analysis paper.					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Jailbird 著者(訳者) Kurt Vonnegut 出版社 Vintage Books ISBN 9780099999003					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50230	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 1	153	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces This course will introduce students to the cultural geography of the supernatural. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering the role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities and discussion. Weekly presentations will help students to improve their speaking, listening and critical thinking skills.					
評価方法		Attendance, Participation and Engagement: 20% Response paper: 40% Presentation: 40%					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50231	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野瀬 宗一郎	英語	火 1	152	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		20世紀の英語圏の名エッセイを読む 20世紀を代表する英語圏の政治家、作家、ジャーナリスト、文化人による様々なジャンルのエッセイを読み、英文読解力の向上を図ると同時に、名エッセイを名エッセイたらしめる構成・文体・レトリックの妙を考察し、エッセイ・ライティングのスキルとセンスを磨くことを主眼とする。					
評価方法		平常点 (出席・授業態度) 30% 小テスト 40% エッセイ 30%					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 The Penguin Book of Twentieth-Century Essays 著者(訳者) Ian Hamilton (ed.) 出版社 Penguin ISBN 978-0140255218					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50232	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	遠藤 泰生	英語	火 1	154	1 年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		American Slave Narratives アメリカ合衆国における人種問題の原点に、黒人奴隷制度の長い歴史があることは誰もが知っている。この授業では、かつて奴隷であった一人の男の自伝を読む。人が「自由」であることの具体的な意味を考えさせる古典として知られるこの自伝を読み、アメリカ合衆国が現在も苦しむ人種問題の根を考える。					
評価方法 教科書		授業への参加と期末試験。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 NARRATIVE OF THE LIFE OF FREDERICK DOUGLASS: AN AMERICAN SLAVE 著者(訳者) Frederick Douglass					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定セメスター型 火 5

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50452	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	152	1 年 理一(30,37) 理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。					
評価方法 教科書		担当した訳文の発表を含めた平常点、学期中に実施の語彙力テスト、そして学期末の筆記試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『ニューヨークタイムズの窓から』 出版社 英宝社、2014 年					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50453	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	156	1 年 理一(30,37) 理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50454	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	英語	火 5	10-201	1 年 理一(30,37) 理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		世界で勝つための英語プレゼンテーション 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。					
評価方法 教科書		授業への積極的な参加・提出物・プレゼンテーション・レポート 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 20 ステップで学ぶ 日本人だからこそできる英語プレゼンテーション 著者(訳者) 藤尾 美佐 出版社 DHC 出版					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50455	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	火 5	10-308	1 年 理一(30,37) 理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		Pronunciation and Listening 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、発音だけでは自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくいと感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。					
評価方法 教科書		個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（発表、出席を含む）20% を総合して評価する予定。個別発音テストにおいては基準点以上を取ることが必要である。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 DVD&CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 著者(訳者) 鷺見由理 出版社 ナツメ社 ISBN 13: 978-4816344640 その他 参考書 (UTAS シラバス参照) も授業で使用する。教科書と参考書、計 2 冊は購入の必要あり。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50476	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石原 剛	英語	水 1	103	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する 教育、環境、家族、健康、宇宙開発など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。					
評価方法		期末試験:50% 授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、小テスト）など：50%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Mosaic 1: Listening/Speaking 著者(訳者) Jami Hanreddy & Elizabeth Whalley 出版社 McGraw Hill ISBN 9781259070389					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50477	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	水 1	149	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action					
評価方法		Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50478	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	英語	水 1	E42	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		『不思議の国のアリス』を原文で読む 『不思議の国のアリス』の原文の音声教材を自宅できよく聴いて予習し、発音やリズム等に気をつけながら音読することで、英語の読み方の基本を身につけます。『鏡の国のアリス』からも「トゥイーデルダムとトゥイーデルディー」「ハンプディ・ダンプティ」「女王アリス」の 3 章を読みます。また、毎回授業の初めに TOEIC の語彙についての小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50479	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ダルグリーシュ ブレガム	英語	水 1	118	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		Ideas and Thinkers Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form.					
評価方法		Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment) = 50%; Seminar participation = 50%					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50725	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	木 2	149	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要		Literature and Social Criticism In this course, students will learn to read literature through the lens of social issues. Students will read several short stories by American author Shirley Jackson such as "The Lottery" and "Flower Garden" and examine theoretical, political, and historical contexts that underpin the stories. In addition to the stories, they will be introduced to social criticism and cultural theory on race and politics from the 1940s and 1950s. In their discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach literature from an interdisciplinary standpoint, and how to deeply read a story for its context and multiple meanings.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30% プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50726	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	寺澤 盾	英語	木 2	150	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要		プレゼンテーションの基礎 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の用い方についても学んでいく。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50727	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	木 2	151	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action					
評価方法		Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50728	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田尻 芳樹	英語	木 2	152	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に依じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常の参加度と期末テスト。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50729	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	木 2	153	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要		Ecologies of Capital: culture, space and society This discussion-based course provides students with an opportunity to engage in critical, cultural and geographic theory, exploring the relationship between geography, capitalism and culture through English language texts. The course will be organised around key ideas taken from the writings of Karl Marx (e.g. the commodity, fetishism, phantasmagoria), with each class used to explore a specific Marxist concept in relation to the spaces and cultures of capitalism. The course will make use of a series of interesting examples from popular culture as a basis for conducting discussions (in English) on capitalism’s role in the shaping of class, gender and race. The course will introduce students to a range of thinkers from across the academic world, developing their knowledge of how and where critical and cultural theory can be applied in the analysis of contemporary capitalism. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and presentations, and will develop comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts of texts and short articles in English on a weekly basis as preparation for in-class activities.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 40% Research Paper: 40% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50730	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	武田 将明	英語	木 2	154	1 年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要		Critical Reading of Literary Texts 現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ること必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりを理解し、感じ取ることが重要である。 上記の目標を意識しながら、4 篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4 本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。 最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への貢献（出席だけではなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4 本の英文エッセイ（200～300 語程度）40%、期末試験 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50796	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中山 匡美	英語	木 3	10-203	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		ニュース英語でインプットからアウトプットへ 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界的な出来事についての英文ニュースを文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁に使われる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。また、英文ニュース特有の表現や構成についても学び、英語でニュースを書くことをめざす。					
評価方法 教科書		3 回以上欠席した学生は評価の対象とならない。授業への参加姿勢、小テスト、課題、定期試験を総合して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 時事英語の総合演習—2019 年度版— 著者(記者) 堀江洋文、加藤香織、小西和久、宮崎修二、内野泰子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-15642-2					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50797	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	木 3	153	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		An Introduction to Cultural Geography This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of Cultural Geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course.					
評価方法		Attendance, Participation, Engagement and Homework: 20% Presentation: 40% Research Paper: 40%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50798	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	木 3	102	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		アメリカ合衆国の草創期から南北戦争期についての政治・社会について英語で読む 【概要】 建国期から南北戦争期までのアメリカ史について、毎週 4~10 ページの英文を精読しながら学びます。扱うのは入門書が中心ですが、論文や一次史料も少し読みます。 【目標】 アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 英文の概要を簡潔かつ正確な日本語で要約し、文書および口頭で説明できるようになる。 英文読解を通じて、アメリカの歴史に関する知識を得ることで、現代アメリカの政治社会の理解を深める。					
評価方法		期末試験（50％） 発表（30％） 態度・貢献（20％） 欠席、遅刻、授業時の態度を加減して最終評価を下す。 欠席数が授業回数の 1/3 を超えると単位認定（期末試験受験）不可。列車遅延は大規模な事案のみ考慮する。ただし、個人の過失によらない遅刻・欠席（公欠含む）であっても、単位認定のため追加課題が課される。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50799	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	久世 恭子	英語	木 3	103	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Language Myths 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテキストを教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲 Pygmalion の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れることにより、文学的な作品にも触れる。					
評価方法 教科書		授業参加・発表 20%、小テスト 20%、課題 10%、筆記試験 50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Language Myths 著者(訳者) Laurie Bauer and Peter Trudgill (eds.) 出版社 Penguin ISBN 978-0-14-026023-6					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50800	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	木 3	151	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action					
評価方法		Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50801	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	木 3	149	1 年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Reading Drama Texts This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary speech and will help students to learn to draw inferences and make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English by practicing authentic speech and dialogue and assimilating a range of features linked to oral fluency. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. The reading material for this course will be distributed in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Assessment for this course includes class preparation and participation, individual presentation and written commentary. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50905	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	英語	金 1	K303	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		Reading and Listening to The New York Times インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標 とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。					
評価方法		平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末テスト約 40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者(訳者) The New York Times 出版社 The New York Times その他 毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセス は可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。 https://www.nytimes.com/subscriptions/invt/ed_u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50906	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	英語	金 1	151	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読む 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成である。また、学校文法で扱われること はないが、実際には頻繁に使用される文法や構文などの言語現象に関する文献を読み、英語についての洞察を深めるこ とを第二の目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		小テスト（40％）と学期末試験（60％） プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50907	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	英語	金 1	152	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		Strategic management in business English In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.					
評価方法		Weekly homework (quizzes) 30% Final exam 30% Presentation 20% Active Participation 20%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Strategic Management in Business English』 著者(訳者) Yoichi Sato, Steven William Smoley & Seisho Ano 出版社 播磨書院 その他 (近刊、税抜 2,000 円)					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50908	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 1	153	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		Exploring the Human Condition through Dialogs The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" below.					
評価方法		Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者(訳者) Moatfield 出版社 Intelligence Gate Enterprises					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50909	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	金 1	155	1 年 文三(6,8) 理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					
評価方法		Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30%					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50976	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	古田 直肇	英語	金 3	164	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		国際共通語としての英語 英語力を高めるために何よりも必要なものは、「大量のインプット」である。日本人学習者の英語力が伸び悩む最大の要因は、インプットの量の圧倒的な不足であることが多い（本当に英語力を伸ばしたいのであれば、まずは 1000 頁以上の英語の文章に触れることが絶対条件であり、出発点となる）。そこで本講義では、毎週、原書を 1 章ずつ、あるいは論文を 1・2 本ずつ読んでいき、一学期で 300 頁程度を読破することを達成目標とし、英語圏の教養人同様の読解力と読書習慣の涵養を目指したい。 大量に読むためには、自分に関係があり、知的に面白い内容であることが望ましい。そこで、本講義では「国際共通語としての英語」というテーマを扱いたい。英語は今や国際語という発言をよく耳にするが、その意味するところを改めて考えていく。特に英語学習および英語教育において、それは一体いかなる意味合いを持つのだろうか。英米の言語として英語を学ぶ・教えることと、国際語として英語を学ぶ・教えることには、どのような差があるのだろうか。たとえば、発音の間違いは、正されるべきなのか、それとも許容されるべきなのか。日本に蔓延するネイティブ幻想（native speaker fallacy）を、どう捉えるべきなのか。こういった問題について、受講生とともに考えを深めていきたい。その中で、言語帝国主義や単一言語主義の弊害、規範主義の功罪、社会階級と言語の関係といったテーマも扱っていく。様々な文化的背景を持った多種多様な人々が混在する世界において、文化の違いを超えて相手の真意を的確に理解し、かつ自分の真意を適切に伝えるためには、どのような英語力が必要なのか。教科書に紹介されている事例の分析を通して、多国間コミュニケーションにおいて要求される効果的なストラテジーを身につけてほしい。 受講生は、事前に指定の文献を読んで、配布される Study Questions に答えておかなければならない。講義に加えて受講生によるディスカッションも行う予定だが、予習なきディスカッションは無意味なので、受講生は、必ず予習をした上で授業に臨まなければならない。受講生自身が自分の手と頭を使って下調べをして講義に臨んでいることを前提にして、教員は授業を行う。 <授業の到達目標> ・国際語としての英語について、専門的な知見に基づいて批判的に考え、自らの意見を論理的に発表できる。 ・異文化理解のために必要とされるコミュニケーション能力やストラテジーを理解し、応用することができる。 ・英語を母語としない人も含めて、様々な文化的背景を持った人々と英語を使用して意志の疎通ができる。 ・英語によって書かれた専門書・論文を大量に読みこなしていくことを通して、英語を読むことに対する心理的抵抗を低減し、英語を使って日常的に情報の摂取をすることができる。					
評価方法		Attendance and participation: 30% Mid-term exam: 30% Final exam: 40%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Teaching English as an International Language 著者（訳者） Sandra Lee McKay 出版社 Oxford University Press ISBN 9780194373647					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50977	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	英語	金 3	155	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。					
評価方法		テーマごとに行うテスト（計 50%：初めのテーマのテストを中間、残りの二つのテーマのテストをまとめて期末に行う）、グループワーク（30%）、課題（20%）					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50978	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	英語	金 3	10-308	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Improving English Language Presentation Skills For many of us it is sometimes necessary, both at university and in the world outside, to make oral presentations in front of an audience. We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.					
評価方法		Grades will be calculated according to this system. Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class. Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd) Active participation max: 20% Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation) TOTAL 100% There will be no final examination.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50979	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	英語	金 3	K402	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Reading and Listening to The New York Times インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。					
評価方法		平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末 テスト約 40%をめやすとする。 欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者(訳者) The New York Times 出版社 The New York Times その他 毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセス は可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。 https://www.nytimes.com/subscriptions/innyt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50980	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	英語	金 3	156	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Rhetorical Criticism コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50981	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 3	153	1 年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Exploring the Human Condition through Dialogs The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" on UTAS Syllabus..					
評価方法		Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者(訳者) Moatfield 出版社 Intelligence Gate Enterprises					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

クラス指定セメスター型 金 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51039	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	英語	金 4	155	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。					
評価方法		テーマごとに行うテスト（計 50%：初めのテーマのテストを中間、残りの二つのテーマのテストをまとめて期末に行う）、グループワーク（30%）、課題（20%）					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51040	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 4	153	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Exploring the Human Condition through Dialogs The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations, and performing in front of the class. For an overview of the course, please see the "Schedule" on UTAS Syllabus.					
評価方法		Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者(訳者) Moatfield 出版社 Intelligence Gate Enterprises					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51041	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	英語	金 4	10-308	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Improving English Language Presentation Skills For many of us it is sometimes necessary, both at university and in the world outside, to make oral presentations in front of an audience. We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.					
評価方法		Grades will be calculated according to this system. Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class. Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd) Active participation max: 20% Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation) TOTAL 100% There will be no final examination.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51042	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	金 4	151	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action					
評価方法		Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51043	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐竹 晶子	英語	金 4	149	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Reading and Discussion in English National Geographic の記事を編纂した教科書を使って、専門的な英語の文章を読むための基礎力を養い、語彙を増やし、そこで得た知識や各自が調べた情報をもとに英語でディスカッションができるようにする。					
評価方法 教科書		毎週の課題と小テスト、授業の参加度 6 5 %、レポート 3 5 % 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Reading Explorer level 5 (text only) 著者(訳者) Nancy Douglas, David Bohlke, Helen Huntley, Bruce Rogers, Paul MacIntyre 出版社 National Geographic/Cengage Learning ISBN 978-1-285-847000-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51044	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	英語	金 4	156	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Rhetorical Criticism コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

全クラス型

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50189	A	英語中級	小川 浩之	英語	月 5	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		World politics 100 years after the Paris Peace Conference II イギリスの王立国際問題研究所（チャタム・ハウス）が発行している学術雑誌 International Affairs の、第一次世界大戦後のパリ講和会議 100 周年特集号から選んだ論文を読む。英語の論文の読解を通して、過去 100 年間の国際関係史について学ぶ。1 週間で扱う英文は 5〜7 ページ程度である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50190	A	英語中級	石原 剛	英語	月 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する 教育、環境、家族、健康、宇宙開発など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。					
評価方法		期末試験:50% 授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、小テスト）など：50%					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Mosaic 1: Listening/Speaking 著者（訳者） Jami Hanreddy & Elizabeth Whalley 出版社 McGraw Hill ISBN 9781259070389					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50264	A	英語中級	矢田部 修一	英語	火 2	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		映画『Shane』を見る 映画『Shane』のシナリオを読み、映画自体を見ることを通じて、話し言葉の英語を理解する力を養成することを目指す。					
評価方法		3 回の小テストと期末テストの出来具合に基づいて評価します。どのテストも読み取り問題と聞き取り問題の両方を含みます。聞き取り問題は、『Shane』の音声聞いてそのまま書き取る、という形式の問題しか出しません。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50265	A	英語中級	高橋 英海	英語	火 2	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英語で世界を見聞きする 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。					
評価方法		授業への参加度およびテストによる。					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50266	A	英語中級	寺澤 盾	英語	火 2	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		プレゼンテーションの基礎 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の用い方についても学んでいく。					
評価方法		授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50460	A	英語中級	Williams David	英語	火 5	155	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Intermediate Reading, Thinking & Discussion The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Taking a contemporary, thematic approach students will critically examine and consider authentic and semi-authentic texts in groups where texts will be revisited after in depth pre-class reading. The themes explored in class will be exclusively on contemporary British culture. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a wide range of contemporary topics of domestic and international significance. Students will find that the skills acquired in this class will assist in expressing themselves in other areas of their academic studies, and later in their professional lives.					
評価方法		Assessment for this class will be based on evidence of completed homework reading (40%), active class participation, two forum-based presentations (30%), and a final assessment (30%). In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50664	A	英語中級	小林 宜子	英語	水 4	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英語で書かれたエッセイを味わう 著者の身近な事柄や現代社会が抱える種々の問題をめぐり、鋭い観察と深い思索に基づいて書かれたエッセイ（随筆）の読解を通じて、英語の理解力や表現力を養うことをめざします。英米の雑誌や個人のエッセイ集に掲載された最近のエッセイの中から、多様なテーマを扱った良質の文章を 6～7 篇選び、それらを教材として用います。英文を細部まで正確に読み取る力を養うとともに、エッセイに扱われたテーマについて英語で考え、それを表現する力を磨きます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		小テストの成績、課題への取り組み、授業への参加度、および期末試験の成績を総合して評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50676	A	英語中級	武田 将明	英語	水 5	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Critical Reading of Literary Texts 現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ること必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりを理解し、感じ取ることが重要である。 上記の目標を意識しながら、4 篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4 本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。 最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。					
評価方法		授業への貢献（出席だけではなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4 本の英文エッセイ（200～300 語程度）40%、期末試験 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50931	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 2	155	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Maritime Economy and the Weird Tale This class will focus on reading a variety of short "weird tales" that concern the maritime economy between the mid-1800s to early WWII, touching on monsters, shipwrecks, and weird sea places. Students will consider how these stories criticize nautical transport, slavery and the slave economy, colonialism, and human greed. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students who want to understand psychological, economic, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.					
評価方法 教科書		Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 From the Depths and Other Strange Tales of the Sea 著者(訳者) Mike Ashley 出版社 British Library (Tales of the Weird) ISBN 978-0-7123-5236-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50932	A	英語中級	西川 杉子	英語	金 2	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		History Today を読む イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。 History Today については図書館に入っているので、参考にとよい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の小テストおよび授業への参加度。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51079	A	英語中級	ナルト デリック	英語	金 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		"Success": From Aristotle to Zuckerberg In this course, we will study "success" principles as understood by Western thinkers and innovators ranging from philosophers in Classical Greece to contemporary business professionals. The purpose of the course, besides being to expose students to life questions that date back to ancient times and the ideas of the most influential thought leaders of our own era, is to help participants formulate their own definition of "success," set concrete and achievable goals, improve their levels of self-confidence and self-awareness, and become more effective in their personal, academic, and work lives.					
評価方法		Writing assignment: 40% Presentations: (2 x 15) 30% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50191	A	英語上級	トム・ガリー	英語	月 5	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Travelers' Tales about Japan After Japan's opening to the world in the mid-19th century, many foreign visitors and residents published accounts of their experiences in the country. In this class, we will read excerpts from books about Japan that were published in Britain and the United States between about 1855 and 1914, and we will discuss what those writings reveal not only about Japan and foreigners' perceptions of Japan but also about how people in general try to understand and describe unfamiliar countries and cultures. The reading passages will be taken from books available for free through the Internet Archive. Some of the passages will be chosen by the students based on their interests.					
評価方法		Students will be graded based on attendance, preparation, class participation, and a final examination, which will cover the vocabulary and content of the passages read in class.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50706	A	英語上級	ダルグリーシュ ブレガム	英語	木 1	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Ideas and Thinkers Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form.					
評価方法		Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%.					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②		開講区分	A	
授業の目標・概要		In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird. 一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。		
成績評価方法		出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う（平常点 30%、筆記試験 35%、口頭試験 35%）。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編		
関連ホームページ		http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50609	月 4	クリスティアン クリンク	K113	1 年 文三(16)
50286	火 2	I ・カウフマン	10-102	1 年 文科(TLP)
50287	火 2	稲葉 治朗	10-204	1 年 文科(TLP)
50142	火 3	クリスティアン クリンク	K114	1 年 文一二(20)
50638	火 3	オプヒュルス 鹿島	162	1 年 文一二(22)
50803	水 3	SCHWARZ Thomas	112	1 年 文一二(21)
50688	水 5	クリスティアン クリンク	K113	1 年 文科(TLP)
50689	水 5	I ・カウフマン	10-102	1 年 文科(TLP)
50046	木 2	SCHWARZ Thomas	105	1 年 文三(15)
50950	金 2	クリスティアン クリンク	K114	1 年 文科(TLP)
50951	金 2	斉藤 渉	106	1 年 文科(TLP)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50267	A	ドイツ語初級（演習）	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	火 2	518	1 年 理科
講義題目		Konversation auf Deutsch ドイツ語の会話					
授業の目標概要		発音練習・聴き取り・読解や表現の練習などを行い、一列。特に会話の練習に重点を置く。 Dieser Sprachkurs bietet Übungen zur Konversation, zum Hör- und Leseverständnis. Im Zentrum steht die Arbeit mit dem Lernroman „Der Auftrag“ von Hans Magnus Enzensberger. Die Studierenden trainieren ihr Hörverständnis und ihre kommunikative Kompetenz. Sie lernen, wie man eine Geschichte erzählt, die Handlung eines Buches wiedergibt und die eigenen Reaktionen auf das Gelesene beschreibt.					
評価方法		2 Tests / Hausaufgabenkontrollen					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Der Auftrag. Deutsch auffrischen und festigen 著者（訳者） Hans Magnus Enzensberger / Volker Eismann 出版社 Langenscheidt ISBN 978-3-468-498107					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50284	A	ドイツ語初級（演習）	稲葉 治朗	ドイツ語	火 2	10-204	1 年 理科
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要		In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書		授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch 著者（訳者） Habersack, Charlotte et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3192119026					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50285	A	ドイツ語初級（演習）	I・カウフマン	ドイツ語	火 2	10-102	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch 著者（訳者） Habersack, Charlotte et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3192119026					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50686	A	ドイツ語初級（演習）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	K113	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion. この授業では、S セメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA 1 レヴェルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A 2 レヴェルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch 著者（訳者） Habersack, Charlotte et al. 出版社 Hueber, Verlag GmbH & Co. KG ISBN 978-3-19-211902-6					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50687	A	ドイツ語初級（演習）	I・カウフマン	ドイツ語	水 5	10-102	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書		授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch 著者（訳者） Habersack, Charlotte et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3192119026					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50948	A	ドイツ語初級（演習）	斉藤 渉	ドイツ語	金 2	106	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書		授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch 著者（訳者） Habersack, Charlotte et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3192119026					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50949	A	ドイツ語初級（演習）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 2	K114	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion. この授業では、S セメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠で A 1 レヴェルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A 2 レヴェルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書		授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Menschen A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch 著者（訳者） Habersack, Charlotte et al. 出版社 Hueber, Verlag GmbH & Co. KG ISBN 978-3-19-211902-6					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51080	A	ドイツ語初級（会話）	I ・カウフマン	ドイツ語	金 5	10-102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語初級（会話） In diesem Kurs liegt der Schwerpunkt auf dem Hörverständnis und dem mündlichen Ausdruck im Alltag. Die Teilnehmer sollen lernen, sich in Alltagssituationen auf Deutsch auszudrücken und sich über Themen des Alltags zu unterhalten. Bereitschaft zur aktiven Teilnahme am Unterricht ist Grundvoraussetzung. この授業では聴き取りと日常会話を練習します。日常のさまざまな場面でのドイツ語表現や、日常的なテーマについてドイツ語の表現することを学びます。授業への積極的な参加を求めます。					
評価方法 教科書		平常点および試験によって行う。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 DaF leicht A1.2 著者（訳者） Sabine Jentges et al. 出版社 Klett ISBN 978-3-12-676251-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50933	A	ドイツ語初級（作文）	工藤 達也	ドイツ語	金 2	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 ドイツ語を S セメスターから始めた学生を対象に基礎となる文法事項を確認、復習しながら独作文の能力を高める。 A セメスターから習う文法事項も扱うことになるが、履修しているクラスの進度も考慮する。 以上のことから、必ず前期課程の統一教科書である Einblicke を持参すること。							
評価方法 教科書 出席、平常点（発表などの授業貢献度）、小テスト、 期末試験。以上を総合して評価。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基礎ドイツ語作文 著者（訳者） 福田 幸夫 出版社 白水社 ISBN 9784560012628							
ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50268	A	ドイツ語初級 (表現練習)	オブヒュルス 鹿島	ドイツ語	火 2	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		口頭表現の練習（続） 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う（S1 から継続）。 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln.					
評価方法		平常点（出席、宿題）および試験によって行う。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語の時間ー恋するベルリン（DVDMeine Deutschstunde – Auf geht's nach Berlin） 著者（訳者） 清野智昭 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-25303-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

[illegible]

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50193	A	ドイツ語初級 (第三外国語)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	K113	1 年 文二 文三 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner) Fortsetzungskurs / Continuation Course					
授業の目標概要		Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1.1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Festigung der bereits erlernten Grammatik sowie die Vermittlung von weiteren grundlegenden grammatischen Strukturen. Durch diverse Übungen sollen die vier sprachlichen Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt bzw. gefestigt werden. Der Kurs baut auf dem im Sommersemester (April – Juli) Gelernten auf, d.h. dass dieser im Wintersemester (September – Januar) angebotene Kurs ein Fortsetzungskurs auf Niveau A1.1 ist. Studenten, die nicht am Einführungskurs im Sommersemester teilgenommen haben, können ebenfalls an diesem Kurs teilnehmen, insofern ihre Kenntnisse in etwa auf dem oben angegebenen Niveau sind. This course is designated for students with previous knowledge of German (roughly equal to Level A1.1 of the European Reference Framework). The course focuses on consolidating the students' German knowledge. Moreover, further essential German grammatical structures are taught. Through various exercises (listening, reading, writing, speaking), students train what they have previously learned as well as practice newly learned grammar. This course (September – January) continues where the one in the summer semester (April – July) left off. This means this course is meant to be a continuation course (level A1.1). Students who did not participate in the course offered in summer semester can still take this class, if their knowledge of German is roughly equal to the level mentioned above.					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und Tests. Relevant for the evaluation are the quality of the contribution in class, homework as well as tests.					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Schritte international Neu 2: Kurs- und Arbeitsbuch 著者(訳者) Daniela Niebisch et al. 出版社 Hueber, Verlag GmbH & Co. KG ISBN 978-3-19-601082-4					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50269	A	ドイツ語初級 (第三外国語)	日名 淳裕	ドイツ語	火 2	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		第三外国語としてドイツ語を学ぶ人を対象にした授業です。秋学期は比較的平易なドイツ語の文章を素材として、発音から接続法まで初級文法の定着を図り、中級文法を習得することを目標とします。読解力の養成に比重を置きますが、メールの書き方、簡単な会話、聞き取りを練習する時間もとります。また、ドイツ語を通して、ドイツ語圏の政治、生活、歴史、文化などについても学びます。					
授業の目標概要		・ドイツ語の初級文法を復習し、その定着を図る。 ・ドイツ語の中級文法を習得する。 ・辞書を用いつつ新聞・雑誌記事などが読めるようになる。 ・旅行などでドイツ語圏に滞在したおりにドイツ語で挨拶や意思表示ができるようになる。					
評価方法		積極的な授業参加、小テスト、定期試験によって評価します。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ百科ミニ読本 著者(訳者) 佐伯 啓 出版社 白水社 ISBN 9784560064238					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50874	A	ドイツ語初級 (第三外国語)	岡山 具隆	ドイツ語	木 5	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		第三外国語 この授業では 1 学期という限られた時間で欧州共通参照枠の A1 レベルに到達することを目標とします。文法の理解も不可欠ですが、「読むこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「話すこと」を総合的に学び、基本的なドイツ語運用能力を身に着けていきます。					
評価方法 教科書		授業への出席状況、宿題や課題への取り組み、小テスト、期末試験を総合的に評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語アルファ 改訂版 著者(訳者) 生駒美喜、岩井方男、荻野静男、斉藤寿雄、室井慎之 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-25399-2					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50270	A	ドイツ語中級（演習）	香田 芳樹	ドイツ語	火 2	154	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		自分で読んでみよう、ドイツの旬の話題 II この授業では、初年度で獲得した初級文法の知識を、読解を通して実用的に運用できるようにすることを目指します。 テキストは、ドイツの教育出版社 Spotlight 社が発行しているドイツ語教育雑誌『Deutsch perfekt』（月刊）を使用します。この雑誌には、ドイツや世界に関するさまざまなテーマを扱った、短いコラムからやや長めの論説までのさまざまなテキストが、3 つの難易度レベルに分けて掲載されています。それぞれには、読解のポイントや語彙の解説があり、学習の助けをしてくれます。 扱うテーマはたとえば、「無賃乗車は犯罪か?」、「スイスのなまはげ」、「移民が国を豊かにする?」、「トランプ一家は元ドイツ人」、「16 歳選挙権への Ja oder Nein」、「若者言葉 Heute」、「1 0 0 の愛の言葉」などヴァラエティーに富み、読者を飽きさせません。ドイツ語は初学者用に、選び抜かれた語彙と構文が使われ、教育教材として優れています。 受講者のレベルに合わせて、Leicht（平易）から Mittel（中級）までのテキストを選んで、初年度度習った基礎を復習しながら授業を進めていきます。 テキストはプリントを配布します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（2/3 以上の出席）と期末の筆記試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50678	A	ドイツ語中級（会話）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Deutsch-Konversation für Fortgeschrittene (Mittelstufe) Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden vor allem das aktive Sprechen und Reagieren im Gespräch; Ziel ist die Erweiterung des Wortschatzes und der Redemittel zur aktiven und spontanen Anwendung. Lehrmaterial und Themen orientieren sich am Niveau und Interesse der Teilnehmenden. ドイツ語を 1 年（以上）学んだことがある受講者を想定している。授業の目標はドイツ語圏での日常生活の様々な状況に対応できる表現力を養うことにある。授業はペアや少人数グループ練習などを通して実際の口頭練習に重点をおく。教材と具体的な内容は、参加者のレベルと興味によって決定させる。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, der Hausaufgaben und Präsentationen. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt.					
教科書 ガイダンス		成績評価は平常点によって行う。授業中の貢献、宿題、小さな発表の質が判断基準となる。積極的な参加が前提となる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50875	A	ドイツ語中級（作文）	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	木 5	105	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語作文 Schreibübungen					
授業の目標概要		様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen liest und schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.					
評価方法		3 度の課題提出。 3 benotete Texte					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50194	A	ドイツ語中級 （インテンシヴ）	I ・ カウフマン	ドイツ語	月 5	10-102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（インテンシヴコース） A					
授業の目標概要		Der Kurs baut auf den im Sommersemester im Intensivkurs oder anderen Kursen erworbenen Deutschkenntnissen auf und entwickelt vor allem die kommunikativen Sprachfertigkeiten Hören, Sprechen, Schreiben, Lesen weiter. Der Kurs knüpft an das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens an und soll zum Niveau A2 führen. この授業は、S セメスターに「初級インテンシヴ」を履修した学生（およびそれと同等のドイツ語運用能力を習得した学生）を対象としている。ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages：CEFR）の A2 レベルに到達することを目標とする。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 成績評価は積極的な授業参加、提出課題および試験によって行う。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Studio Express - Der Kompaktkurs Deutsch A2 著者（訳者） H. Funk & C. Kuhn 出版社 Cornelsen ISBN 978-3-06-549972-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50934	A	ドイツ語中級 （インテンシヴ）	I ・ カウフマン	ドイツ語	金 2	10-102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（インテンシヴコース） A					
授業の目標概要		Der Kurs baut auf den im Sommersemester im Intensivkurs oder anderen Kursen erworbenen Deutschkenntnissen auf und entwickelt vor allem die kommunikativen Sprachfertigkeiten Hören, Sprechen, Schreiben, Lesen weiter. Der Kurs knüpft an das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens an und soll zum Niveau A2 führen. この授業は、S セメスターに「初級インテンシヴ」を履修した学生（およびそれと同等のドイツ語運用能力を習得した学生）を対象としている。ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages：CEFR）の A2 レベルに到達することを目標とする。					
評価方法		Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 成績評価は積極的な授業参加、提出課題および試験によって行う。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Studio Express - Der Kompaktkurs Deutsch A2 著者（訳者） H. Funk & C. Kuhn 出版社 Cornelsen ISBN 978-3-06-549972-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51081	A	ドイツ語上級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		Konversationskurs Oberstufe ドイツ語上級（会話） Der Kurs richtet sich an Studenten, die bereits über (sehr) gute Deutschkenntnisse verfügen und diese weiter verbessern und anwenden möchten. Besonders die mündliche Ausdrucksfähigkeit soll hier trainiert werden, aber auch die anderen Teildisziplinen (Lesen, Schreiben, Hören) werden gezielt gefördert. Die Bewertung erfolgt aufgrund einer Präsentation und/oder einer mündlichen Prüfung. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50195	A	ドイツ語上級（読解）	石原 あえか	ドイツ語	月 5	10-202	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ドイツ語上級（読解）／German Language (Advanced) 読解能力の向上を主目標としつつ、語彙を増やし、総合的なドイツ語力を身につける。 具体的には2年生 TLP ドイツ語の延長も考えているため、中級後期（B2 レベル）あたりから始めて、さまざまな種類のテキストを読むことを通して、上級 C1 レベルに到達することを目標にする。 平常点と筆記試験によって評価 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50271	A	ドイツ語上級（読解）	久保 哲司	ドイツ語	火 2	155	1年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス		ドイツ・ロマン派の短篇小説を読む ドイツ後期ロマン派の作家ホフマンは怪奇幻想文学の元祖として有名です。彼の作品はまた数々のオペラやバレエや映画の原作となっています。たとえばフランスの作曲家オッフェンバックのオペラ『ホフマン物語』（1881 年初演）はホフマンのいくつかの小説をもとにしていますが、この授業ではその中から短篇「大晦日の夜の冒険」（1815 年初出）を取り上げ、原文で精読します。ドイツ語の読解力をつけるとともに、先のオペラや映画「ホフマン物語」（イギリス、1952 年）なども鑑賞することで、作品のテーマである男女の関係性や自己認識の問題についての理解を深めたいと思います。 平常点と期末試験によって評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L フランス語

フランス語初級（演習）②			開講区分	A
授業の目標・概要 一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。 成績評価方法 平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Rythmes & communication (リズコミ！ フランス語会話) 著者（訳者） アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-225-35275-6 ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50144	月 4	デルヴロワ ミカエル	10-103	1 年 文一二(26)
50289	火 2	桑田 光平	K302	1 年 文科(TLP)
50353	火 3	ビゼ	K211	1 年 文一二(23)
50422	火 4	ビゼ	K211	1 年 文一二(24)
50536	水 2	ファイフ ベアトリクス	10-101	1 年 文一二(27)
50537	水 2	アルベリック ドリブル	10-308	1 年 文一二(28)
50606	水 3	ファイフ ベアトリクス	10-101	1 年 文一二(25)
50642	水 4	アルベリック ドリブル	10-101	1 年 文三(20)
50996	金 3	ビゼ	K211	1 年 文三(17)
50997	金 3	マルティネル ルイ	10-103	1 年 文三(19)
51047	金 4	アガエス ジュリアン	10-203	1 年 文三(18)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50288	A	フランス語初級（演習）	伊達 聖伸	フランス語・イタリア語	火 2	112	1 年 理科
講義題目	T L Pフランス語演習（1 年次）						
授業の目標概要	T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
	書名 Amical Niveau 2						
	著者（訳者） Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols						
	出版社 CLE International						
	ISBN 978-2-09-038602-8						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50679	A	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	フランス語・イタリア語	水 5	10-103	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初修 一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないます。文科生の必修授業「フランス語演習」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。					
評価方法 教科書		平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイドランス		書名 Rythmes & communication (リズムコミ！ フランス語会話) 著者（訳者） アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-225-35275-6 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50272	A	フランス語初級（会話）	Vallienne Corinne	フランス語・イタリア語	火 2	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Parlons français ! 会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。初心者を対象とします。					
評価方法 教科書		平常点 40 点、期末テスト 60 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE LELEVE 著者（訳者） CREPIEUX+CALLENS+TAKASE+NEGISHI 出版社 Hachette FLE ISBN 9782014015812 その他 履修人数に制限をかける場合があるので、教科書を事前に購入しないこと。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50707	A	フランス語初級（作文）	寺田 寅彦	フランス語・イタリア語	木 1	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語作文 毎週の短い作文課題に取り組むことで初級文法を用いて作文の能力を高めることを目標とする。同時に綴り字法の能力を高めるためにディクテ（書き取り）を毎週行う。					
評価方法		中間試験（ディクテと作文）、最終試験（ディクテと作文）、毎回のディクテの出来具合、毎回の課題の提出状況を総合的に判断して評価する。なお課題の作文の出来具合は評価の対象としない。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50273	A	フランス語初級（読解）	関俣 賢一	フランス語・イタリア語	火 2	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語で好きなものを読んでみよう 各自が興味・関心のあるフランス語で書かれた文章を読むことによって、フランス文法・語彙の基礎固めをし、中上級への足掛かりをつくる。また、フランス語の文章読解を通して、多様な分野に亘る知見の深め方を習得する。					
評価方法		成績評価の方法も、受講人数によって変わり得ます。履修者が少数で、普段の授業で負担が多い場合は平常点評価の可能性もあります。履修者が多数で、普段の授業で全員の参加度を高めることが出来ない場合は、平常点に加えてレポートを考えています。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50935	A	フランス語初級（読解）	鈴木 順子	フランス語・イタリア語	金 2	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（読解） 受講者の中には初級文法に未修項目がある人もいることを踏まえつつ、文法の学習を並行して進めながら、授業を行う。文学作品の読解によって、語彙力、読解力のさらなる向上を図る。珠玉の名作の講読を通して、フランスの文化と社会の理解を深めていきたい。					
評価方法 教科書		授業への参加状況および学期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Le Petit Prince 著者（訳者） Antoine de Saint Exupery 出版社 Gallimard (1999/06/10) ISBN 978-207075589-9					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50005	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	月 1	10-204	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース (1 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書		期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50006	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	月 1	10-203	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	T L P フランス語インテンシヴ・コース (1 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50196	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	月 5	10-201	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修 S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
評価方法 教科書		参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 その他 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50197	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	月 5	10-203	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
評価方法 教科書		参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 その他 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていて初回終了までは購入しないこと）。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50680	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	水 5	10-101	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
評価方法 教科書		参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 その他 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていて初回終了までは購入しないこと）。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50708	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	木 1	10-203	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
評価方法 教科書		参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 その他 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていて初回終了までは購入しないこと）。					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50952	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	金 2	10-204	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書		期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者（訳者） Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51085	A	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	金 5	10-203	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P 用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書		期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Amical Niveau 1 著者（訳者） Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50198	A	フランス語初級 (第三外国語)	中田 健太郎	フランス語・イタリア語	月 5	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級 (第三外国語) S セメスターにおいて私の担当した「フランス語初級 (第三外国語)」にひきつづき、フランス語の初級文法を理解する。フランス語の発音の規則を学び、テキストを音読できるようになる。仏和辞典の引き方を理解する。					
評価方法 教科書		平常点 (授業への積極的参加の度合いや小テストの結果) および学期末の試験によって総合的に判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 フランス文法要説 著者 (訳者) 石井洋二郎 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-35258-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50556	A	フランス語初級 (第三外国語)	須藤 佳子	フランス語・イタリア語	水 2	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス語初級（第三外国語）						
授業の目標概要	フランス語の初級文法の骨格を理解する。フランス語を正しく音読できるようにする。						
評価方法	平常点（授業参加度・宿題・小テスト）と学期末試験の点数を併せて評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook						
	書名 ル・フランセ・ファシル						
	著者（訳者） 斎藤 昌三						
	出版社 白水社						
	ISBN 9784560060698						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50681	A	フランス語初級 (第三外国語)	小野 潮	フランス語・イタリア語	水 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級 フランス語の初級文法の骨格を理解する。 フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。 辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末の試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50274	A	フランス語中級（演習）	COUCHOT Herve	フランス語・イタリア語	火 2	101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語既習 フランス語中級程度の講読および会話のクラス。履修者の学力に応じた指導を行う。francophone が担当する。 Présentation de la société française d'aujourd'hui à partir d'un film étudié par extraits (2) (Saint Jacques ... La Mecque de Coline Serreau, 2005)						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業への参加）＋期末試験（ディスカッション） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51064	A	フランス語中級（会話）	ビゼ	フランス語・イタリア語	金 4	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Cours de conversation Ce cours a pour objectif d'introduire les étudiants aux techniques de la discussion et du débat contradictoire. Le thème choisi pour ce semestre est: "l'anthropocène" (人新世)					
評価方法		Un examen oral en fin de semestre, qui consiste dans l'organisation d'un débat dans lequel les étudiants sont amenés à endosser un "rôle", et par conséquent à défendre des arguments précis.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50665	A	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI	フランス語・イタリア語	水 4	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Entraînement à l'expression écrite en français Ce cours sera consacré à des exercices de thème proposés à partir de textes relevant de divers registres (épistolaire, dramatique, journalistique, littéraire ou théorique). L'accent sera mis sur les problèmes spécifiques que pose la traduction du japonais en français sur différents plans : lexicale, syntaxe, organisation sémantique et stylistique du discours.					
評価方法		L'évaluation sera faite en tenant compte de l'assiduité, de la participation au travail collectif en classe et d'un exercice final.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50070	A	フランス語中級（読解）	大池 惣太郎	フランス語・イタリア語	月 2	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランスの現代喜劇「奇人たちの晩餐会（Le Dîner de cons）」の講読 題目にある、フランシス・ポール・ヴェーベル（Francis Paul Veber）による舞台劇のスク립トを講読しながら、フランス語の発音、語彙、文法、表現を総合的に学びます。 1993 年に書かれたこの戯曲は、フランスで大きな成功を博した現代コメディであり、1998 年にはヴェーベルを監督に映画化もされています。戯曲には、スラングから日常表現、ニュアンスに富む繊細な言い回しまで、様々な使用域の言葉が使われており、生きたフランス語を学ぼうってつけの教材です。さらに、フランスのブルジョワ文化と大衆文化の違い、パリの都市的生活のあり方、フランス的笑いのツボなど、文化的にも多くのことを教えてくれます。 映画を視覚教材・音声教材として戯曲の講読を行い、それを通じて総合的なフランス語力を養うことが、授業目的です。					
評価方法		発表と学期末試験で評価します。ただし、受講者が少ない場合試験は行わず、授業内の発表のみで評価します。3 回を超える欠席は評価対象外になります。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Le Dîner de cons 著者（訳者） Francis Veber 出版社 Éditions Ramsa, coll. « poket », 1995 その他 購入の必要はありません					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50275	A	フランス語中級（読解）	中島 ひかる	フランス語・イタリア語	火 2	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス時事問題に関する新聞・雑誌記事の講読 【注意】この授業は、2014 年度以前の入学者には、総合科目 A 系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。 フランス現代のニュース記事を取り上げ講読することで、フランス語の読解力を高めるとともに、現代の時事問題に使われている語彙や表現を知る。また、フランスやヨーロッパの文化や社会、政治・経済に対する関心を高める。フランス社会の特徴が良く現れているニュースを幅広く取り上げる予定だが、あくまで語学の授業であるため、ニュースの背景について、授業で深く分析することはしない。					
評価方法		受講者が 7 人程度の場合は原則試験は行わず、授業中の発表で評価する。 受講者が多い場合は授業の準備 80%、レポート 20 %程度で評価する。 3 分の 1 以上欠席したものは評価の対象としない。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/24					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50709	A	フランス語中級（読解）	原 和之	フランス語・イタリア語	木 1	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生のフランス語に触れる ひととおりフランス語の文法を履修した学生が、さまざまな場面で実際に用いられているフランス語テキストを読んで内容を理解し、適切な翻訳ができるようになることを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点および期末試験によって総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50241	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	火 1	10-203	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1/B2 et plus) Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés. Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Examen final, présentations, rapports, attitude et participation en classe. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51099	A	フランス語上級（読解）	森元 庸介	フランス語・イタリア語	木 2	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ニコラ・ド・シャンフォールを読む めっぼう口は悪いが不思議と心打つ言葉を残しとした 18 世紀の文人ニコラ・ド・シャンフォールの『箴言と考察、人のありさまと逸話』を読む。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中に指示する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60246	A2	フランス語上級（演習）	CAPEL Mathieu	フランス語・イタリア語	集中	UTAS 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Expression écrite et orale en langue française Il s'agit dans ce cours de permettre aux étudiants d'améliorer leurs compétences en expression personnelle. Le cours comprendra des exercices de prononciation (maîtrise des sonorités, des liaisons), selon des registres de langue soutenus mais aussi familier (situation de conversation quotidienne). On fondera ces activités sur un travail écrit de thème japonais-français. L'évaluation sera faite sous forme de contrôles continus oraux et écrits, adaptés en fonction du niveau des étudiants.					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業時での参加度、平常点。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 中国語

中国語初級（演習）②			開講区分	A
授業の目標・概要		一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。 TLP 生は教科書が異なるので UTAS で確認をすること。		
成績評価方法 教科書		期末試験と小テストなど 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代漢語基礎 口語演習教材 著者（訳者） 駒場中国語教育研究会編		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50040	月 2	林 立梅	104	1 年 文一二(16)
50141	月 4	賈 黎黎	112	1 年 文一二(13)
50147	月 4	毛 興華	121	1 年 文三(11)
50148	月 4	王 嵐	104	1 年 文三(14)
50352	火 3	喬 志航	166	1 年 文一二(19)
50636	水 4	中原 裕貴	112	1 年 文一二(15)
50742	木 2	王 前	108	1 年 文一二(17)
50745	木 2	菊池 真純	121	1 年 文三(12)
50842	木 4	李 雲	101	1 年 文一二(18)
50846	木 4	柴 森	113	1 年 文三(13)
50985	金 3	張 玉萍	105	1 年 文一二(14)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50242	A	中国語初級（演習）	李 洵	中国語	火 1	106	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の基礎を固める理系生のためのトレーニング 1 年理系生を対象とした演習授業である。 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。					
評価方法 教科書		期末試験と小テストなど 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代漢語基礎 口語演習教材 著者（訳者） 駒場中国語教育研究会編					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50135	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	中国語	月 3	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語初級作文 半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。					
評価方法 教科書		課題、小テストと期末試験によって総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 チャイニーズ ライティング 著者（訳者） 何彬 小野秀樹 出版社 白帝社 ISBN 4-89174-712-9					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50710	A	中国語初級（作文）	何 珍時	中国語	木 1	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語初級（作文） 中国語の基本な仕組みを理解しながら、中国語で作文をする力をつけ、自分自身のことや日常生活で必要なことを中国語で書いて表現する能力を養成するということを目標としています。					
評価方法 教科書		予習・復習を学習者に求めますので、その完成度や出席率、試験によって総合的な判断します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 小野 秀樹 著者（訳者） 『チャイニーズライティング』 出版社 中国語研究室					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 1 限／1st Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50936	A	中国語初級（表現練習）	王 英輝	中国語	金 2	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語初級会話演習 一列、二列で学習した発音と文法事項を踏まえた上で、さらに発展させ、会話とリスニングを中心に練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。 * 注意：TLP 生は同じ金曜日 2 限に開講される菊池真純先生担当の「初級表現演習」を履修すること。					
評価方法		期末試験、小テスト、課題、平常点などを総合して評価する。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 体験汉语 旅游篇 著者（訳者） 张如梅，艾辛 出版社 高等教育出版社					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50953	A	中国語初級（表現練習）	菊池 真純	中国語	金 2	107	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング TLP(トライリンガル・プログラム)理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではない が、できるだけ参加することが望ましい。 ※今学期は同時間（金 2）に王英輝先生の「初級表現演習」が開講されますが、TLP 生はこちらの授業を履修してください。					
評価方法 教科書		期末試験、小テスト、平常点 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 『汉语纵横 精读』 ○級 著者（訳者） 马燕华 出版社 北京语言大学出版社					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50290	A	中国語初級 (インテンシヴ)	白 春花	中国語	火 2	149	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。					
評価方法 教科書		授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 会話 0 級 第二版 著者（訳者） 盛双霞 出版社 北京言語大学出版社					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50291	A	中国語初級 (インテンシヴ)	李 彦銘	中国語	火 2	113	1 年 文科 理科
講義題目 TLP 中国語実践トレーニング							
授業の目標概要		この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。					
評価方法 教科書		授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 会話 0 級 第二版 著者（訳者） 盛双霞 出版社 北京言語大学出版社					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50711	A	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	木 1	153	1 年 文科 理科
講義題目 中国語の実践能力を養うためのトレーニング B							
授業の目標概要		基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。月曜日 5 限と木曜日 1 限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）月曜日 5 限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日 1 限では主に発音・聞き取りの訓練を行う。 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 2 クラス開講し各クラス定員を 2 0 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木 5 と金 2 抽選日：9 月 2 6 日（木）5 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：9 月 2 6 日（木）1 限 ☆初回の授業で人数多数の場合には抽選を行うため必ず出席をすること。（S セメスターで履修した者を優先とする） ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 ☆木 1 の抽選で漏れた者は木 5 の抽選に参加することが可能である。木 1 の抽選に当選した者は木 5 の抽選に参加できないので注意すること。					
評価方法 教科書		期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『初級インテンシヴコース会話教材』及び『初級インテンシヴコース リスニング教材』 著者（訳者） 駒場中国語教育研究会編					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

[illegible]

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50865	A	中国語初級 (インテンシヴ)	鄧 芳	中国語	木 4	150	1 年 文科 理科
講義題目		TLP 中国語実践トレーニング					
授業の目標概要		この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。					
評価方法 教科書		授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 汉语縦横 会話 0 級 第二版 著者（訳者） 盛双霞 出版社 北京言語大学出版社					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50920	A	中国語初級 (インテンシヴ)	李 彦銘	中国語	金 1	113	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
評価方法 教科書		授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 著者（訳者） 駒場中国語教育研究会 孙军悦、王雪萍、小野秀樹					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50003	A	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門～A セメスターから始める中国語 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。このクラスは A セメスターより開始し、中国語学習初心者を対象としている。初回授業で定員を超えている場合には抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。 ※S セメスターで半年間履修した者が引き続きこの科目を履修する場合は、木 5 に開講する授業（担当：毛興華）を履修すること。（同教科書使用）					
評価方法 教科書		期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 北京の風 著者（訳者） 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著 出版社 白帝社 ISBN 9784891742492					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50877	A	中国語初級（第三外国語）	毛 興華	中国語	木 5	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門（S セメスターの続き） 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。この授業は、S・A セメスターを通して1年間開講する。両セメスターで同一テキストを使用し、中国語の発音、基礎的語彙、初級文法に関する知識を習得することを目指す。今学期はS セメスターの続きから行う。 ※今学期から初めて中国語を学ぶものは月1の林立梅教員の「初級第三外国語」を履修することが望ましい。					
評価方法 教科書		期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 北京の風 著者（訳者） 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著 出版社 白帝社 ISBN 9784891742492					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50938	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	105	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターはI、A セメスターはその続きのIIである。					
評価方法 教科書		期末試験と小テスト・中国語での発表および授業参加など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『おぼえチャイナⅠ』 著者（訳者） 八木章好 鄭麗媚 出版社 朝日出版社 2014 年					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50071	A	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語作文と和訳 中国語作文（奇数週）と和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会；向こうの出版社）を拼音（ピンイン）に基づき正確に朗読した後（もちろん、本には拼音表記なし）、流麗に和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせる（＝自称「上級者」の出端を挫く）。「和訳」である以上、みなさまに本格的な日本語訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に対応可能。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語などを習慣的且つ瞬間的に言う・書く技を身に付けさせる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		（出席を含む）平常点。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50375	A	中国語中級（会話）	劉 岸麗	中国語	火 3	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		使える中国語を身に着けよう 基礎文法、文型を使って日常会話、リスニングを練習する。会話、読解両方のテキストを勉強していくうちにその違いも自然にわかってきます。中検対策のために練習問題も充実しているので、中国語の基礎がより確かなものとなるでしょう。					
評価方法 教科書		中間テスト、定期試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 新ブラッシュアップ中国語 著者（訳者） 関中研 出版社 朝日出版					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50772	A	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 2	164	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		コミュニケーション能力を高めるための実践的授業 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やししながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。					
評価方法 教科書		平常点（授業の参加・小テスト）と期末試験を吟味して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 会話と読解中心やさしく楽しい中級中国語―中国基礎知識 12 篇 著者（訳者） 郭 春貴 郭 久美子 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-269-7					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51030	A	中国語中級（会話）	李 雲	中国語	金 3	101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級レベルの中国語日常会話 1 年の基礎科目で身につけた文法事項と発音を基礎に、会話ができることを目標とする。					
評価方法 教科書		出席、授業態度、書き取り（適宜）、暗誦、ペアでの発表の全てを考慮して、評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50862	A	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		やや高度の中級作文練習 基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。 自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。 内容は夏学期「中級作文」の続き。					
評価方法 教科書 ガイダンス		試験（期末試験）と平常点（課題など）による総合的評価。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50666	A	中国語中級（読解）	岩月 純一	中国語	水 4	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語文献講読 中国語で書かれた短文を精読し、初級で学習した文法項目を確認するとともに、接続表現を中心とするより高度な文法項目を学習する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回提出を課する宿題に対する評価の平均と、学期末試験の結果とを、それぞれ半分ずつの比率で平均する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50276	A	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	火 2	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語映像翻訳実習 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、 1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。					
評価方法		提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50557	A	中国語上級（会話）	白 春花	中国語	水 2	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語で話し、中国を知る 現代中国の様々な時事問題をトピックにし、初級で習得した文法事項を確認しながら「話を聞く」「質問する」「表現する」という三つの会話力を磨き上げる。中級から上級へのステップアップを意識するレッスンである。					
評価方法 教科書 ガイダンス		課題、授業中のパフォーマンス（プレゼンテーション、発言の積極性や学習内容の応用力など）、期末発表会 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50827	A	中国語上級（作文）	賈 黎黎	中国語	木 3	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語上級（作文） 読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。講義の前半では日本語母語話者に多く見られる誤用の例を紹介しつつ、翻訳練習をすることによって作文の基礎を固める。後半では文章の書き方に関する中国語の文章を読んだ上で、テーマ別に中国語で書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。					
評価方法 教科書 ガイダンス		課題の完成度、受講態度及び最後に提出された作文に基づいて評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50939	A	中国語上級（読解）	斉 金英	中国語	金 2	117	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代中国文学精読 中国の文学雑誌『人民文学』（2018 年度）に掲載された短篇傑作を精読する。生きた中国語や現代中国の世相に触れ、翻訳を通して言語力を高めると同時に、行間から滲み出る社会的、文化的なメッセージを読みとる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		担当した部分の翻訳や授業への参加度により総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L ロシア語

ロシア語初級（演習）②			開講区分	A
授業の目標・概要 正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。				
成績評価方法 平常点など。				
教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50839	木 4	Gutova Ekaterina	112	1 年 文一二(4)
50843	木 4	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	517	1 年 文三(4)
50901	金 1	ゴロウィナ クセーニヤ	154	1 年 文科(TLP)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50921	A	ロシア語初級（演習）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	金 1	154	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語演習（TLP） ロシア語でのオーセンティックな内容（教科書以外）を理解し、それについて議論することができるための基礎を作る演習です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業にてアナウンスします。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51082	A	ロシア語初級（演習）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	金 5	517	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語演習② 初級文法を学習中の学生を対象に、ロシア語の発音・イントネーションに習熟し、簡単な会話が行えるようになることを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点など。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50940	A	ロシア語初級（会話）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	金 2	154	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		会話力強化コース ロシア語の会話力を集中的にアップします。発音を改善するだけでなく、習った文法や表現を実際のロシア人との会話の場面において正確に適用できる余裕を身につけます。また、ロシア語のメディアなどの理解力の向上にも繋がります。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業でのアクティビティへの積極的参加 授業への準備（宿題、復習） 期末テスト＋口頭のナレッジチェック プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50200	A	ロシア語初級（作文）	奈倉 有里	ロシア語	月 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（作文）／ Russian Language (Introductory) この授業は、ロシア語初級文法の学習者を対象として、自ら文章を構成する力をつけていくためのものです。これまでに習った文法事項を応用し、より豊かな表現を身につけていきます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への取り組み、提出物、小テストなどを中心に総合的に判断します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50277	A	ロシア語初級 (インテンシヴ)	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	火 2	517	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語（インテンシヴ） 必修のロシア語に加えて、さらなるロシア語知識の獲得を目指す。 初級インテンシヴは週 2 コマセットでのみ履修できます。かならず水曜 5 限の授業と合わせて履修すること。					
評価方法 教科書 ガイダンス		日常の授業、小テスト、および期末テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50202	A	ロシア語初級 (インテンシヴ)	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	月 5	154	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ）→TLP TLP1 年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。					
評価方法 教科書		授業参加、宿題、ナレッジチェック、期末テスト、口頭試験。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Русский язык: Первые шаги. 著者(訳者) Беликова Л.Г., Шутова Т.А., Ерофеева И.Н. 出版社 Златоуст ISBN 978-5-86547-939-0					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50682	A	ロシア語初級 (インテンシヴ)	濱田 華練	ロシア語	水 5	114	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ） ロシア語の初級文法をある程度習得した学生を対象に、実践的に「読む・書く」能力を総合的に伸ばしていくことを目指す。					
評価方法		※初級インテンシヴは週 2 コマのセットでのみ履修可能。かならず火曜 2 限の授業と合わせて履修すること。 最後の授業に試験（自由作文）を実施し、その結果に出席状況、授業態度、普段の課題の成果等から算出した平常点を加えて評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50884	A	ロシア語初級 (インテンシヴ)	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 5	154	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ）→TLP TLP1 年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。					
評価方法 教科書		授業参加、宿題、ナレッジチェック、期末テスト、口頭試験。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 Русский язык: Первые шаги. 著者(訳者) Беликова Л.Г., Шутова Т.А., Ерофеева И.Н. 出版社 Златоуст ISBN 978-5-86547-939-0					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51083	A	ロシア語初級 (第三外国語)	丸山 由紀子	ロシア語	金 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（第三外国語） 基礎的なロシア語文法を学びます。桑野 隆『初級ロシア語 20 課』白水社 9 課から行います。 平易な文章であれば辞書を使って読み、また口頭で簡単なコミュニケーションを取れるようになることが目標です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、小テスト（2 回程度）、学期末試験で総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50278	A	ロシア語中級（演習）	毛利 公美	ロシア語	火 2	516	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（演習） ロシア語の初級文法を習得した学生を対象とし、ロシア語で書かれたさまざまなテキストを丁寧に読みながら、中級レベルの文法、語彙、構文の習得を目指す。必要に応じ、基礎文法の確認のための練習問題の実施、関連語彙や構文の解説、リーディング（音読）の練習を行うことで、総合的なロシア語運用能力を高める。講読するテキストを通じてロシア語文化圏の人々が常識として共有する文化的な背景知識を身につける。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（授業への取り組み）と期末課題（人数によっては試験）により総合的に判断する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50376	A	ロシア語中級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	火 3	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（会話） ロシア語での表現力の向上をめざす。1 年以上、ロシア語を学習した者を対象とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51065	A	ロシア語中級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	金 4	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級作文 既習の基本的な文法事項、語彙を使いこなせると同時に、一歩上の文法、語彙も取り入れた、より豊かで大人の文章をロシア語で書けるようになるのが目標です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席状況、課題の出来映え、授業への貢献度で総合的に判断します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50178	A	ロシア語中級（読解）	奈倉 有里	ロシア語	月 4	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（読解）／ Russian Language (Intermediate) 初級文法をひとつとおり学習した方向けの授業です。 これまでに習った文法の知識を生かし、中級レベルの文書読解を行うなかで、使える語彙や慣用表現を増やしていきます。 様々な状況に合った文章を読み、ロシア語の表現能力の向上を狙います。 必要に応じてその背景となる文化的知識についても解説します。 文学テキストを中心に、文学的背景も踏まえた幅広い表現の習得を目指します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への取り組み、提出物、小テストなどをもとに総合的に判断します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50627	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	安岡 治子	ロシア語	水 3	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級インテンシヴ。ロシア語力拡充コース。 ロシア語を一年半程度積極的に学んできた学生を対象に、主にロシア文学作品購読を通して、文法力の向上、ロシア語表現力の拡充などを旨とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の授業での応答と学期末最後の授業に行う試験によって評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50878	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	木 5	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語インテンシヴ（中級） 教科書の会話文の練習をとおして、ロシア語の発音やイントネーション、会話表現の向上を目指します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業にてアナウンスします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Говорите по-русски 著者（訳者） С.Хавронина 出版社 М. Русский язык. 2014г. 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51031	A	ロシア語上級（会話）	ゴルボフスカヤ リュポーフィ	ロシア語	金 3	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（会話） ロシア映画を素材に、ロシア語会話の独特な表現法を学ぶ。ロシア語による講義。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点および定期試験 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50667	A	ロシア語上級（作文）	Gutova Ekaterina	ロシア語	水 4	155	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（作文） 語彙や表現を増やし、文法事項を復習し、語結合力を確認し、作文を書く能力の向上を目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断し、評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L スペイン語

スペイン語初級（演習）②		開講区分		A	
授業の目標・概要		共通教科書を用い、Aセメスターでは、一列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。			
成績評価方法 教科書		各担当教員に任せられている。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 スペイン語初級 著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス	
50028	月 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	105	1 年 文一二(7)	
50039	月 2	ロサレス パトリシア	106	1 年 文一二(12)	
50140	月 4	ロサレス パトリシア	106	1 年 文一二(9)	
50146	月 4	イサベル カルロス	108	1 年 文三(10)	
50203	月 5	ドニャス ベレニャ アントニオ	105	1 年 文科(TLP)	
50336	火 3	イサベル カルロス	108	1 年 文一二(10)	
50337	火 3	ドニャス ベレニャ アントニオ	1212	1 年 文一二(11)	
50513	水 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	1232	1 年 文一二(8)	
50844	木 4	イサベル カルロス	121	1 年 文三(8)	
50845	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	122	1 年 文三(9)	
51045	金 4	ドニャス ベレニャ アントニオ	101	1 年 文三(7)	

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50292	A	スペイン語初級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	火 2	121	1 年 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP TLP スペイン語演習					
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
評価方法		Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición.					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50941	A	スペイン語初級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	122	1 年 理科
講義題目		スペイン語初級（演習）					
授業の目標概要		スペイン語初級は共通教科書を用い、S セメスターでは 1 列で文法を学び、2 列で講読を行う。この演習は理科学限定で、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力をいっそう高めることをめざす。理科学は積極的に参加してほしい。					
評価方法		授業の初回に説明する。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 スペイン語初級 第 4 版 著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50712	A	スペイン語初級（会話）	受田 宏之	スペイン語	木 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級（会話）—SKYPE を用いたメキシコの大学生との会話					
授業の目標概要		SKYPE（ないし ZOOM）を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。					
評価方法		受講者は、1 月初頭までに自分の好きなテーマについて 3 分程度のスペイン語のビデオを作成する。UNAM 側の受講者も日本語のビデオを作成する。東大受講者のビデオは UNAM 教員が、UNAM 受講者のビデオは受田がそれぞれ評価する。1 月初旬にビデオを鑑賞し合う機会を設ける。ビデオの評点に、毎回の授業への参加状況を加えて成績をつける。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 9/26/2019					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50879	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	122	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語（初級会話） 練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。					
評価方法 教科書 ガイダンス		小テスト、学期末テスト及び口頭試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51084	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40%。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50942	A	スペイン語初級（作文）	有田 美保	スペイン語	金 2	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語初級（作文） 本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げてほしい。【今semesterは、GUSTAR 型構造→再帰動詞→過去時制→未来形→完了時制→接続法と進んでいく予定である】					
評価方法		授業内の 30 分で西訳 5 題を西訳してもらい、出来栄や仕上げの丁寧さによって評点を受ける（30 点満点×3 回＝90 点満点）。これに第 2 週に実施する『単語テスト』（10 点満点）を加えた得点から、欠席・遅刻・早退、教科書不携帯、宿題未遂行、態度不良などがある場合には減点し（最大 30 点めやす）、また質問・発言など積極的な態度が伺える者にのみプラス評価（最大 10 点めやす）を入れ、最終評価を算出する。 「特別な理由」（診断書のある疾病、立証書類で客観性の認められる就職活動・学業活動・冠婚葬祭、遅延証明のある交通機関の遅延、等）による欠席（またはそれにともなう未提出課題）については、都度教員に相談すること。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Paso Doble~Primer Paso 著者（訳者） 有田美保 出版社 弘学社 その他 改訂をおこなったので、旧版は使用できない。					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50007	A	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	月 1	156	1 年 文科 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
評価方法		Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点					
教科書		Participación y tareas: 30% 平常点 30 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook					
ガイダンス		書名 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición. 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50201	A	スペイン語初級 (インテンシヴ)	イサベル カルロス	スペイン語	月 5	108	1 年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級					
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせてながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の授業に出席することを義務とする。2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。					
評価方法		授業初回で示される。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Nuevo Avance Básico A1,A2 著者（訳者） Concha Moreno, Victoria Moreno, Piedad Zurita 出版社 SGEL ISBN 978-84-9778-595-2 その他 教科書の後半、10 課から 18 課まで					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50293	A	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	122	1 年 文科 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
評価方法		Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición.					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50716	A	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 1	156	1 年 文科 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
評価方法		Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点					
教科書		Participación y tareas: 30% 平常点 30 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook					
ガイダンス		書名 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición. 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50880	A	スペイン語初級 (インテンシヴ)	イサベル カルロス	スペイン語	木 5	121	1 年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級					
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせてながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の授業に出席することを義務とする。2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。					
評価方法		授業初回で示される。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Nuevo Avance Básico A1,A2 著者（訳者） Concha Moreno, Victoria Moreno, Piedad Zurita 出版社 SGEL ISBN 978-84-9778-595-2 その他 教科書の後半、10 課から 18 課まで					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50885	A	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	156	1 年 文科 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
評価方法		Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点					
教科書		Participación y tareas: 30% 平常点 30 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook					
ガイダンス		書名 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición. 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50004	A	スペイン語初級 (第三外国語)	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語（初級）（第三外国語） スペイン語の骨格となる動詞の全時制形式を知り、それらが日常会話でいかに用いられているかを学ぶ。 空港・買い物・アポイント・レストラン・ホテル・タクシー等、場面別のダイアログを教材とし、片言以上の運用能力を身につけることを目標とする。 受講者の希望があれば新聞記事講読等も行う。					
評価方法		平常点 20%(小テスト)、期末試験 80%の予定。 出席点は数値化しないが、小テスト(毎回開始時 5 分程度)を受けたものを出席とみなす。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 エスペランサ 著者(訳者) 栗林ゆき絵 出版社 同学社 ISBN 4-8102-0428-5					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50943	A	スペイン語初級 (第三外国語)	笛田 千容	スペイン語	火 4	117	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語初級 スペイン語文法の基礎をじっくり学び、「聞く、話す、読む、書く」の 4 技能を磨きながら、簡単な会話・読解・作文に取り組む。音楽・映画などにも触れながら楽しく学ぶ。					
評価方法 教科書		平常点 6 0 %（小テスト、出欠） 期末試験 4 0 % 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 初級スペイン語文法 全音声 D L 版 著者(訳者) 和佐 敦子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55077-0					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50628	A	スペイン語初級 (第三外国語)	齊藤 文子	スペイン語	水 3	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		速習スペイン語 1 セメスターでスペイン語文法の基礎を学びます。					
評価方法 教科書		毎回の小テストと期末テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 スペイン語文法の要点 著者(訳者) 二宮哲 出版社 朝日出版社					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50683	A	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カスティージョ カルロス	スペイン語	水 5	153	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Habla en español この教科の目的は、学生が A2-B1 レベル相当の学力を身につけることである。授業は主に口頭表現の習得のために構成されている。口頭表現に加え、リスニング、読解、文章表現といった基礎も学習し、学生は実際にスペイン語を使うのに必要な社会文化にも親しむ。 El objetivo del curso es que los estudiantes adquieran las competencias propias de los niveles A2-B1. La clase está planteada para practicar principalmente la expresión oral. Además de la expresión oral, practicaremos también las otras destrezas básicas (comprensión auditiva y lectora y expresión escrita) y los estudiantes se familiarizarán con los aspectos socioculturales necesarios para poder usar la lengua en contextos reales.					
評価方法		40%:出席、授業中の積極性、課題 60%:試験 40% Asistencia, participación y tareas de clase. 60% Exámenes					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51066	A	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	150	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		¿HABLAMOS? スペイン語を通じて西洋式のコミュニケーション 様々なトピックについて話せるようになることを目指す。スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を練習する。文法を復習しながら、会話を習得する。 日本語での婉曲的なコミュニケーションと違って、西洋人の「メタフォリックなコミュニケーション」を理解するために、良く使われている婉曲動詞（迂言動詞）や動詞を使った慣用句を積極的に学ぶ。 コースと授業の最初は日本語で説明を行うが、後半はスペイン語だけで行う予定。					
評価方法 教科書 ガイダンス		参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼンテーション 40%。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50279	A	スペイン語中級（作文）	深澤 晴奈	スペイン語	火 2	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語中級（作文） 本コースは、初修外国語の文法知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、スペイン語表現能力の向上を目標とするものである。スペイン語の文法事項を、レベル①：基礎力の確認、レベル②：学習者がつまづきやすい文法事項の整理、レベル③：①と②で扱った文法事項を用いて作文する、という順序で、スペイン語の知識のより確実な習得を目指す。授業前半では例題をドリル式に大量にこなすスタイルを取り、授業後半では作文課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い分量の文章課題を提出してもらおう。					
評価方法		積極的な授業への参加と質問・コメント及びセメスター最後の提出課題への取り組みを通じて総合的に評価をおこなう。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 レベル別 スペイン語文法ドリル 著者（訳者） 西村君代他 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55028-2					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51484	A	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語上級（会話）／ Spanish Language (Advanced) この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1 年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠の A 1 から A 2 レベルに対応しています。					
評価方法 教科書		授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70% / 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 Es noticia 著者（訳者） Nakajima, Satoko, Sato, Saichi, Taranco, David 出版社 Editorial Sanshusha ISBN ISBN: 978-4-384-4216-6 C 1805					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50773	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語による作文の授業 Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。					
評価方法		Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase. 期末試験は実施しない。毎回の授業で課す課題によって評価する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 Trivium. Manual de composición escrita 著者(訳者) Arturo Escandón 出版社 Liberas Press ISBN 978-4-909580-02-3					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50246	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 1	155	1 年 文科(TLP)
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（演習）② TLP 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50629	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 3	103	1 年 文一二(5)文三(5)
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初修（文系） 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末テスト、小テスト、課題、出席など 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50245	A	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 1	155	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（演習）TLP 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50559	A	韓国朝鮮語初級（会話）	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 2	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（会話） 韓国朝鮮語の初級レベルの語彙や文法、表現などを、会話練習を中心にして学習していく。 ハングルの読み方や韓国朝鮮語の基礎的な文法を半年ほど学習した人を対象とする。 本授業を通して韓国朝鮮語の基礎会話力を身につけることを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、課題、小テストなどの平常点＋期末試験を総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50881	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金 東漢	韓国朝鮮語	木 5	102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の基礎固め(その2) 基本的にはSセメスターの続きます。下記はSセメスターのシラバスの内容なのでご参照ください。 本講座は、主に初心者の受講生が対象になります。そのため、最初はハングルの形や発音を習い、続いて複数の文字が前後に並ぶ際に起きる様々な音の変化について勉強します。 その後、基本的な文法知識も交えながら、簡単なあいさつ文や自己表現などの総合学習に移り、次のステップへの土台を築いていく予定です。					
評価方法 教科書		課題などの平常点＋最終週授業日の小テスト。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「新韓国語レッスン初級」 著者(訳者) 金東漢・張銀英 出版社 スリーエーネットワーク ISBN 978-4-88319-781-1					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50377	A	韓国朝鮮語初級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 3	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語作文(初級) 韓国朝鮮語の文字と発音を学び、文章を書くために必要な基本的な文型を学習する。学習した文型を用いて作文の練習を重ねると同時に、初級の語彙をしっかりと覚えることで表現力の向上を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末テストと平常点（課題、発表など） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50008	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 1	107	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ一列 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験、課題、授業中の参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50294	A	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 2	114	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験、課題、授業中の参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50863	A	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	金 東漢	韓国朝鮮語	木 4	102	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		基礎知識の確立と定着(その 2) 基本的には S セメスターの続きになります。 下記は S セメスターのシラバスの内容なのでご参照ください。 韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当するこの「インテンシヴ」クラスでは、文字と発音のルールを始め、初級レベルの文法・会話・作文などの総合演習を通じて、一列・二列の授業で学んだ知識の応用・発展と表現力の向上及び定着を目指すしていく。					
評価方法 教科書		課題などの平常点＋最終週授業日の小テスト。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 「大学韓国語演習」 著者(訳者) 金東漢 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-154-6					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50944	A	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	162	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験、課題、授業中の参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50072	A	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 2	107	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 韓国朝鮮語の文字（ハングル）と発音、基本的な助詞、数詞、用言の活用（現在形、過去形）を学習する。これらの文型と一緒に基礎語彙を増やしていくことで、簡単な会話や作文ができることを目指す。					
評価方法 教科書		小テスト、課題、期末テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『根と幹』 著者(訳者) 生越直樹、生越まり子、池玟京 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55639-0					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50243	A	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	張 銀英	韓国朝鮮語	火 1	119	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 できるだけ日本語を使わずに授業を行う。 文字と発音を確認しながら、基本的な文法と会話などを学ぶ。 「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本をしっかり身に付けるようにする。 通年で行う授業。A セメスターは S セメスターの続きの学習内容になる。					
評価方法 教科書		「小テスト」と「期末試験」と「課題」 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 easy Korean 1 著者(訳者) Easy Korean Academy 出版社 Hangulpark (韓国) ISBN 978-89-5518-726-7					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50281	A	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	10-304	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国語初級 S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象としています。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		課題、小テストおよび期末テスト その他 引き続き前学期の教科書を使用 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50882	A	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 5	149	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の作文練習(中級) S セメスターに引き続き、日常生活に必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。 ※この授業は、2014 年度以前入学者のうち、既修/初修 韓国朝鮮語語二列③ の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末課題、発表など 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50775	A	韓国朝鮮語中級 (表現練習)	伊藤 英人	韓国朝鮮語	木 2	1224	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語講読					
授業の目標概要 評価方法		日本漢字音と朝鮮漢字音の対応規則を学び、漢語を多く含む論説文の読解力を涵養する。 授業時の発言、発表。訳読の正確さ 30% 小テスト 50% 期末テスト 50%					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50073	A	韓国朝鮮語中級（読解）	植田 喜兵成智	韓国朝鮮語	木 4	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の文章の講読 韓国朝鮮語の新聞や雑誌の記事、小説、論説など様々な種類の文章を講読していく。授業は、文法の説明とともに、日本語に訳す場合の難しさ、その背景にある日本語との違いについて確認しながら進めていく。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51032	A	韓国朝鮮語上級（会話）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 3	162	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語上級（会話） 様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点、発表、期末レポート 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50436	A	韓国朝鮮語上級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 4	1225	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語作文(上級) 韓国の大学や大学院への留学も想定し、専門書籍や資料の理解、レポートや論文の作成ができるように、読解力と表現力の向上を目指す。また、日本語との違いを踏まえつつ韓国朝鮮語らしい表現法を身につける。課題として提出した作文やレポートは講師による添削と誤用の分析、解説を行う。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末テストと平常点（課題、発表など） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L イタリア語

イタリア語初級（演習）②			開講区分	A
授業の目標・概要		会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。		
成績評価方法 教科書		平常点と繰上げ試験（最終授業時）。 授業中に指示をする。／Will specify at class time		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50362	火 3	アンドレア チヴィーレ	K303	1 年 文三(6)
50982	金 3	アンドレア チヴィーレ	K303	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50244	A	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ	フランス語・イタリア語	火 1	K301	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（演習） 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。S セメスターと A セメスターを通じて、コミュニケーション能力としての目標は下の通りです。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50864	A	イタリア語初級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 4	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級会話 ネイティブスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。					
評価方法		成績評価の方法について 1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2) 【イタリア語初級（会話）】授業中に行われる 2 回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願い出てください。 3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50945	A	イタリア語初級（会話）	アンドレア チヴィーレ	フランス語・イタリア語	金 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50883	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	フランス語・イタリア語	木 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（作文） イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。					
評価方法 教科書		平常点と期末試験（最終授業時に行います） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 イタリア語練習問題集 著者（訳者） ディ・ルッソ、長神、西本 出版社 白水社					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50946	A	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	金 2	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（作文） 本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であろうから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。					
評価方法 教科書		学期末試験。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 イタリア語練習問題集 著者（訳者） マリーサ・ディ・ルッソ 長神悟 西本晃二 出版社 白水社 ISBN 4-560-00739-xc3087					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50684	A	イタリア語初級 （表現練習）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 5	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		E allora...? Questo corso è rivolto sia agli studenti che affrontano lo studio dell'italiano per la prima volta o con una conoscenza di base della lingua, sia a chi conosce già la grammatica ma vuole estendere la conoscenza del vocabolario e delle espressioni utili ad affrontare le situazioni più comuni della vita quotidiana. （この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です）					
評価方法		成績評価の方法について 1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 【共通イタリア語／イタリア語初級（表現練習）】教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 2) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 3) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50282	A	イタリア語初級 (インテンシヴ)	日向 太郎	フランス語・イタリア語	火 2	107	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		初級イタリア語（初修）の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコース。必修の時間にプラスして週に、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマのあわせて 2 コマの両方を履修し、1 年間のイタリア語学習によって、イタリア語の総合的な能力をしっかりと身につけて定着させ、今後さまざまな分野で用いることを確かなものとするのが目標。映画や音楽など、生きたイタリア語イタリア文化に触れる。					
評価方法		授業中の参加と、小テストなどの学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50713	A	イタリア語初級 (インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 1	K303	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Bravissimo! Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante -elementare intensivo (A1).初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。					
評価方法		成績評価の方法について 1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2) 【イタリア語初級（インテンシヴ）】授業中に行われる 2 回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願い出てください。 3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50074	A	イタリア語初級 (第三外国語)	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	月 2	164	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（第三外国語）I イタリア語の基本文法の理解。					
評価方法		学期末試験（最終授業時）					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50283	A	イタリア語初級 (第三外国語)	宮坂 真紀	フランス語・イタリア語	火 2	108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		初修イタリア語 イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。A セメスターでは文字の読み方、文の組み立て方の学習から始めて、イタリア語の概要を理解するとともに初級レベルの文法の習得を目指します。					
評価方法 教科書		学期中に随時提出してもらった課題と学期末試験の結果をもとに評価を行います。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-01763-0					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50776	A	イタリア語中級 (表現練習)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 2	K303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio） すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。					
評価方法		成績評価の方法について 1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 【共通イタリア語／イタリア語中級（表現練習）】教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 2) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 3) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50179	A	イタリア語中級（読解）	山崎 彩	フランス語・イタリア語	月 4	114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語中級（読解） イタリア語の基本的な文法を学習し終えた人を対象とします。イタリア語のテキスト（20 世紀以降に書かれた小説あるいはエッセイ）を精読し、イタリア語の読解力の向上を目指します。授業で扱うテキストは受講者の興味や、どの程度イタリア語の学習経験があるのかなどを考慮して決めます。					
評価方法		毎回の授業に十分予習して積極的に参加しているか、文法事項・作品の内容などをどれだけ理解しているかを、総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50668	A	イタリア語中級 (インテンシヴ)	村松 真理子	フランス語・イタリア語	水 4	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級イタリア語の応用 初修クラス受講者を中心に、集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業と、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による中級の授業の両方を履修することを推奨する。1 年間の初修イタリア語クラスで身につけられる基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成することを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中の参加と、小テスト・作文などの学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50919	A	イタリア語中級 (インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 1	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級イタリア語の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマのあわせて 2 コマの両方を履修する。1 年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。					
評価方法		成績評価の方法について 1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2) 【イタリア語中級（インテンシヴ）】授業中に行われる 2 回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願出してください。 3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50947	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 2	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Facciamo un passo avanti! Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nellascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..					
評価方法		成績評価の方法について 1) 全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2) 【共通イタリア語／イタリア語上級（会話）】授業中に行われる 2 回の小テストと期末試験を受けることが必須です。 小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願い出てください。 3) 授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4) 科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1) 最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2) 期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3) 病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。この ような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 4) インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50630	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 3	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato） Lobiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in unaltra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50685	A	イタリア語上級（読解）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	水 5	152	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語上級講読 テキストの精読により基礎文法の知識をいかに運用して行くかをトレーニングする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		講義最終日に、辞書持ち込み可にて全訳の試験を課す（予定）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L その他外国語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50295	A	アラビア語初級（会話）	エベード イハープ	古典語・地中海諸言語	木 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（会話） This course is offered by courtesy of the Arabic Islamic Institute in Tokyo (AIIT). The aim of the course is to acquaint the students with the fundamentals of the Arabic language. The emphasis will be on conversation, and the students will be taught to speak Arabic in the correct way using essential and useful daily life expressions. The students will also be introduced to the basics of Arabic writing and grammar, as well as to elements of Arabic art and culture. The classes will be conducted by Ehab Ebeid as a native-speaking adjunct lecturer.					
評価方法		The evaluation will be based on attendance and participation, as well as small tests conducted in class time.					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50378	A	アラビア語初級 （第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 3	1224	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級 1 年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。					
評価方法 教科書		毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代アラビア語入門 著者（訳者） 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 大学書林 ISBN 978-4-475-01838-8					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50690	A	アラビア語初級 （第三外国語）	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 5	1223	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語）Ⅱ アラビア文字の読み方から始めて、1 年間で文語文法の構造を概観します。毎回、教科書の練習問題を割り当てますので、自宅での作業が不可欠です。					
評価方法 教科書		期末試験（75%）と提出物（25%）によります。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代アラビア語入門 著者（訳者） 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 大学書林 ISBN 4-475-01838-2					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50669	A	アラビア語中級 (第三外国語)	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 4	103	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語中級 (第三外国語) II 初級文法を一通り終えた方を対象に, 文法事項を確認しながら, 母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。 自分で辞書を引きながら, 文章の意味が取れるようになることを目標とし, 母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		訳読の分担によります。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50828	A	ヒンディー語初級 (第三外国語)	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 3	1211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語 (初級) : Introductory Hindi インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。 表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声をすでに修得したとの前提のもと、秋学期で指定教科書の残り部分 11 課から 18 課までを終えることを目標とします。					
評価方法 教科書		初回の授業を除き、毎回宿題が出ます。その出来を判断します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Complete Hindi (Teach Yourself Series) 著者 (訳者) Rupert Snell and Simon Weightman 出版社 Teach Yourself ISBN 9781444106831					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50866	A	ヒンディー語中級 (第三外国語)	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 4	1211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語 (中級) ・読解 : Intermediate Hindi course/ Reading インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。 ヒンディー語 (初級) で用いたテキストの知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことにより、より深い知識を身につけることを目指します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		初回の授業を除き、毎回、指定テキストの予習が不可欠になります。その出来を判断します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50829	A	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners) インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、S タームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 A タームでは、S タームにおける授業内容を前提に授業を進める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末テスト 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50867	A	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテキストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		演習の内容により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51067	A	ベトナム語初級 (第三外国語)	加藤 栄	アジア・日本研究コース	金 4	154	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語初級 夏学期の学習をふまえ、引き続きベトナム語の初級文法を学ぶ。冬学期の授業では、基本文型を用いた口頭練習ばかりでなく、平易な会話文や読み物を辞書を使って読めるようになることも目標としている。					
評価方法 教科書 ガイダンス		課題の提出、小テスト、定期試験の成績をもとに総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50296	A	ベトナム語中級 (第三外国語)	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	火 2	115	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語文献講読 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50691	A	広東語初級 (第三外国語)	吉川 雅之	中国語	水 5	10-204	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		香港広東語の入門と初級 広東語は香港と澳門（マカオ）で第 1 言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。中国語の中では民族共通語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約 8000 万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について入門から初級のレベルの習得を目指します。					
評価方法		1. 期末試験と小テスト、平常点から算出します。 2. 平常点は、授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。 3. 小テストは随時行います。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 香港粵語 [基礎会話] 著者(訳者) 吉川雅之 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-094-5					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50560	A	ヘブライ語初級 (第三外国語)	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	水 2	761	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること――すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。					
評価方法		単元を終えるごとに簡単な宿題、また期末にレポートの提出を課す。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50297	A	ペルシア語初級 (第三外国語)	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ペルシア語会話と読解 授業の目標は、以下の 3 点である。 1) ペルシア語文法のうち、とくに、動詞時制と複文構造を理解し覚えること。 2) 学習した文法を、実際の文章作成（とくに話すこと）において使いこなせること。 3) ペルシア語の文章に慣れ、辞書を使いこなしながら、読解できること。 全体的には、ペルシア語 3 分間スピーチ、教科書に沿った文法学習と練習、単語の小テスト、文章読解を行う（詳細は「授業の方法」を参照）					
評価方法		以下の 2 点で評価する。 1) 授業内での課題や小テスト 2) 期末試験					
教科書		期末試験の内容については、学期末に授業内で指示する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ペルシア語の文法 初級編 著者(訳者) 前田君江、ソホラーブ・アーザルパランド 出版社 三恵社 ISBN 9784866930053					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50954	A	セルビア・クロアチア語 初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 2	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セルビア・クロアチア語（初級） セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎の学習を終えた者を対象に、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。 あわせて、文法事項の復習、簡単な会話の練習、簡単な聞き取りの練習などの機会を設ける。					
評価方法		平常点による。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51068	A	ポーランド語初級 (第三外国語)	小椋 彩	ロシア語	金 4	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポーランド語初級 引き続きポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。					
評価方法		平常点と期末試験					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ニューエクスプレスポーランド語 著者(訳者) 石井哲士朗、三井レナータ 出版社 白水社 ISBN 9784560067949					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50886	A	ポルトガル語初級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 5	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポルトガル語の基礎 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50868	A	ポルトガル語中級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 4	151	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・夏学期）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席点 5 割＋平常点 5 割（講読の割り当て部分の発表など）で 60 点以上を合格とします。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50204	A	台湾語初級 (第三外国語)	王 嵐	中国語	月 5	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		台湾語会話 台湾語は、もとは中国の 8 大方言区の中の「閩南語」であり（「閩」は古来福建省の別称）、17 世紀の初頭以来、中国の福建省南部より台湾に大挙して移住 してきた人々の子孫によって使われ始め、現在では、台湾「第二の公用語」とされ、60%以上の台湾人が使用している。台湾語の文法や音韻根幹は福建閩南語 とほぼ同じだが、語彙の面において若干異なる。 この授業は、台湾に興味を抱く人のために、台湾語の発音や表記を学習し、名詞・動詞・形容詞等、簡単な日常会話及び基礎文法を学ぶ。					
評価方法 教科書		平常点（授業への取り組み・出席状況）及び期末試験によって評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ニューエクスプレス台湾語 著者（訳者） 村上嘉英 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-00364-0					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50247	A	モンゴル語初級 (第三外国語)	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	火 1	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		モンゴル語 本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。 夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする 会話では、適切な質問文をつくり、5 分程度の会話を成立させることを目標とする また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読に織り込み、モンゴル文化への理解を深める					
評価方法 教科書		毎回小テストを行う予定であるので、その点数と 最終テストおよび、授業での発言で評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 すぐに役立つ最新モンゴル語会話 著者（訳者） 近藤和正 出版社 テンブックス ISBN 4886960359					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50379	A	トルコ語初級 (第三外国語)	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1226	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代トルコ語初級文法入門 2 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひとつとおりマスターすることを目標とする。					
評価方法 教科書		原則として学期末の試験の成績をもとに評価するが、随時行なう課題レポートも考慮することがありうる。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』 著者（訳者） 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 出版社 東京外国語大学生生活協同組合出版部 ISBN 978-4-903386-18-8					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50437	A	トルコ語中級 (第三外国語)	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1226	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		トルコ語中級文献講読 2 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50009	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		論文執筆・アカデミックライティング（準備編） ※この授業は留学生向けの授業です。日本語を母語とする学生は履修できません。 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行っていきます。さらに、学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み、批判的に評価し、かつ建設的なコメントを与え合うことで、自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 授業でのプレゼンテーション（学生同士の相互評価）・最終レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60001	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		論文執筆・アカデミックライティング（実践編） 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータ収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。					
評価方法		授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション・レポート					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50248	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	10-201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		論文執筆・アカデミックライティング（準備編） ※この授業は留学生向けの授業です。日本語を母語とする学生は履修できません。 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行います。さらに、学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み、批判的に評価し、かつ建設的なコメントを与え合うことで、自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。					
評価方法		授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 授業でのプレゼンテーション（学生同士の相互評価）・最終レポート					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50717	A 1	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -」と連動する精読・語彙・ライティング 「基礎科目日本語一列(2)」『テーマで議論する日本語 - Active Learning in JSL -』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、構文・語彙習得、正確な精読と要約を行いつつ、ライティングやプレゼンテーション発表を行う。 一列授業と連動し、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。						
評価方法 教科書	出席、授業参加度、課題、クイズ、発表 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL - 』						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60175	A 2	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』と連動する精読・ライティング・プレゼンテーション 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動し、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。一列授業と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。					
評価方法 教科書		出席、授業参加度、課題、発表、レポート 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL - 』					
ガイダンス		第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50887	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。 また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					
評価方法		録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60180	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。 また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					
評価方法		録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51086	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	金 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える 目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。 概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。 さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。					
評価方法		クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度（グループ・ペアワークへの参加など）を総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60185	A 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	金 5	10-205	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本の近代小説を読む 授業の目標：日本の近代小説を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代小説をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ること、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					
評価方法		毎回の授業の参加度や、発表・レポート等に基づき、総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50718	A	古典語初級 (ギリシア語) II	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 1	8-420	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法		古典ギリシア語の手ほどき (のつづき) 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。 平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 古典ギリシア語初歩 著者(訳者) 水谷知洋 出版社 岩波書店 ISBN 4000008293					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50777	A	古典語中級 (ギリシア語)Ⅱ	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 2	8-420	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古典ギリシア語散文講読 古典期(前五～四世紀)のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50438	A	古典語初級 (ラテン語) I	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	学際交流 ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語初級(1) – 名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代(紀元前後一世紀ごろ)の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。					
評価方法 教科書		試験(最後の授業で実施) その他 教科書は以下の二冊を使います。生協でお買い求め下さい。生協で手に入らない場合(過去には有った)授業で教科書を手配します。Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Pars I: Familia RomanaFocus Publishing 同書の練習問題: Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Exercitia Latina IFocus Publishing					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50010	A	古典語初級 (ラテン語) II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	8-416	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語初級 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。					
評価方法 教科書		平常点と期末テストに基づいて評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 標準ラテン文法 著者(訳者) 中山恒夫 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-01761-6					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50075	A	古典語中級 (ラテン語) II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	8-416	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語散文講読 元首政時代の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業では小プリニウスの『書簡集』を読んでいく。文中に盛り込まれた古代ローマの社会、文化、政治に関する豊富な情報と合わせ、帝政ローマを代表する文人政治家の端正なラテン語を味わってほしい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点に基づいて評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50249	A	古典語初級 (サンスクリット語) II	加藤 隆宏	アジア・日本研究コース	火 1	156	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		サンスクリット初級文法 (II) 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。A セメスターは、文法の後半部(動詞の変化・複合語)を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。					
評価方法 教科書	授業参加状況(練習問題への取組と課題の提出を含む)と、試験(学期中に行う小テストを含む)による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『サンスクリット語初等文法』 著者(訳者) J.ゴンダ (鎧淳訳) 出版社 春秋社						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

総合科目 A（思想・芸術）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50298	A	言語比較論	森 芳樹	言語情報科学専攻	火 2	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		意味論に基づく言語の比較対照と普遍性 この講義では、主にヨーロッパの諸言語を扱いながら、様々な言語現象について各言語でどのように表現されるかという観点から、「言語」とはなにかということと個別言語の特性とはなにかということの双方について考察を進める。日本語をはじめとする東アジアの諸言語との対照も課題の一つである。 今年度は意味論を基盤として、言語の対照比較を考えていきたい。したがって、問題になるのは（それへの言及はあるが）歴史的な比較言語学ではなく、言語の理論とその基盤かつ応用としての個別言語学の「せめぎ合い」である。また言語普遍性と言語相対論の論争も中心課題ではない。それより、個々の意味論上の現象を扱いながら、言語の対照比較について議論する予定である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		積極的な授業への参加と期末レポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50955	A	翻訳論	ペティート ジョシュア	言語情報科学専攻	金 2	153	1 年 文二 文三 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		翻訳論 本授業では様々な翻訳理論を読み、翻訳の色々な形態や問題について検討することにより翻訳研究を概観します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		貢献度、プレゼンテーション、期末プロジェクトなどによって総合的に評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50692	A	言語態理論	吉国 浩哉	言語情報科学専攻	水 5	517	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしてきた）人々に、オースティン、バルザック、フロベール、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。 授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』 フロベール『ボヴァリー夫人』 バルザック『ゴリオ爺さん』 ドストエフスキー『白痴』 以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、鲁迅、カフカによる中短篇も読む予定です。 授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが）、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。 何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました）。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたとって読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読みたいと思う人にはお勧めです。 文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。					
評価方法		発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席4回以上で期末レポートを提出する権利を失う。					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51247	A	外国文学	新井 潤美	文学部	木 2	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英国ヴィクトリア朝の小説と演劇 英国ヴィクトリア朝（1837－1901）のいくつかの小説と演劇を、その歴史的、文化的な時代背景を解説しながら紹介することによって、文学テキストを分析し、解釈することを学んでもらう。					
評価方法		リアクションペーパー 40% 学期末試験 40% 特別課題 20%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/9/26 2 限／2nd Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50299	A	現代哲学	石原 孝二	哲学・科学史	火 2	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		他者を理解するための現代哲学／Contemporary Philosophical Theories for Understanding Others 「私は他ならぬ私であって、他の誰でもない。私の思いは他人にはわからないし、他の人がどう思っているのか、私には本当のところはわからない。それでも私は私の思いを他者に伝えようとするし、私は他者の思いをある程度は理解できているようにも思える。」 私たちはなぜこのように考えるのだろうか。お互いの思いは分らないと考えるのはなぜなのだろうか。また逆に、ある程度は自分の思いを伝えることができるし、他者の思いを理解できると考えるのはなぜなのだろうか。この授業では、近現代の哲学や関連する思想や科学における様々なアプローチを手掛かりにしながら、この問題を考えていくことにしたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加状況と期末試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50300	A	科学哲学	上田 知夫	哲学・科学史	火 2	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		科学哲学概論 科学哲学についての導入的講義をおこないます。 特に、「科学的説明はなにか」と「科学的实在論について」という2つのトピックに着目して議論したいと思います。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業時に課す小課題と期末試験を併用します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50956	A	現代思想	池田 喬	哲学・科学史	金 2	108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		M. ハイデガー『存在と時間』への入門 この授業では、現代思想の最重要人物の一人マルティン・ハイデガー（独 1989-1976）の主著『存在と時間』の概念や分析について学び、この書物の現代思想へのインパクトを説明できるようになることを目標とする。『存在と時間』のいくつかの概念は聞いたことがあるが読んだことはない人や、本を開いてはみたがよくわからないという人がしばしば抱く疑問（問い）に答えることを通じて、『存在と時間』の主要な概念や分析（道具と事物、世界内存在、世人、真理、死への先駆、本来性、時間性など）を学ぶ、という方法をとる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加状況と期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『存在と時間』 I, II 著者（訳者） ハイデガー（原佑・渡邊二郎） 出版社 中央公論新社 ISBN 9784121600516, 9784121600530 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50957	A	記号論理学Ⅰ（文科生）	藤川 直也	哲学・科学史	金 2	1102	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		記号論理学の基本を学ぶ。 古典命題論理、いくつかの多値命題論理、様相命題論理、古典一階述語論理について、その統語論、意味論、タブローを習得する。上記の論理のそれぞれについて、モデルを用いた妥当性の証明、反例モデルの構成、タブローによる証明ができるようになることを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末テストで評価する プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50011	A	記号論理学Ⅱ	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	524	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		完全性定理から不完全性定理まで まず、古典一階述語論理の完全性定理を概観する。その上で、ゲーデルの不完全性定理に進み、その証明を一步步辿る。(第一)不完全性定理とは、(1)自然数論としての最も基本的な力能 (i.e.再帰関数の表現可能性) を備え、(2)しかも、通常の意味での公理系 (i.e.再帰的に枚举可能な公理系) を成している、という 2 条件を満たす形式体系であれば、いかなるものであっても、それが無矛盾 (より詳しくは ω 無矛盾) である限り、必ず、証明することも反証すること (否定を証明すること) も不可能な文 (閉じた式) を含む、というものである。この定理の証明に関わる技術的な事項をできるだけ精確に説明し、この定理が持つ概念的な意義を適切に考察するための基盤を作ることを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート (テーマは講義中に指示する)。なお、場合によって、数回出席を取り、この結果を肯定的な評価のためのデータとして使うことがある (否定的評価のためには使わない)。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50461	A	精神分析学	原 和之	フランス語・イタリア語	火 5	121	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		思想史のなかの「精神分析」 〔内容〕十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りつつ、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話したいと思います。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 (持ち込み不可) による。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50693	A	表象文化論	森元 庸介	表象文化論コース	水 5	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		作品と罪 フィクションをめぐる一視角 ある芸術家がなにかしらの罪に問われ、その作品がマーケットから引き揚げられ、「作品に罪はないのに…」といったことが眩かれ、みな忘れかけたころ作品がマーケットに戻ってくる——少なからず儀礼行為のようでもあるそうした事象を頭の片隅に置きつつ、フィクションという概念について、思想的に、かつ大方とは少し異なる角度から考えてみる。メインの素材は近世のキリスト教道徳神学に汲むが、近現代の関連トピック（サド、『ボヴァリー夫人』裁判、映画『怪僧ラスプーチン』裁判、フランク・ザッパ「ポルノ・ウォーズ」等）も扱い、複合的な視野を確保する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末レポート。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51069	A	演劇論 I	松岡 心平	表象文化論コース	金 4	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		能楽鑑賞入門 代表的な能のテキストを読み、また能に関する歴史や約束事などを解説した上で、良いコンディションでの能楽鑑賞をめざしたい。 銕仙会（観世流）の 11 月 8 日（金）6：00p.m.、12 月 13 日（金）6：00p.m.の公演の鑑賞を目標にして、授業を進める。 どちらも、水道橋の宝生能楽堂での公演。 11 月公演の能の演目は「三輪」「車僧」、12 月公演のそれは「小督」「羽衣」の 2 番立であり、この 4 曲について、授業で詳しく解説し、実際に能楽堂で鑑賞する。各公演にはそれぞれ 2500 円程度のチケット代が必要。 敷居が高いと思われがちな能楽（能と狂言）の世界にじかに触れてもらえたら、と思っている。					
評価方法 教科書 ガイダンス		能楽鑑賞のレポート（2 回）と期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51249	A	美術論	芳賀 京子	文学部	火 2	157	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		神話図像学入門 ギリシア・ローマ神話は西洋文化に多大な影響を与え、文学・音楽・美術のインスピレーション源となった。授業では特にその美術表現に的を絞り、近世以降の美術における神話図像を読み解き、さらには古代美術においてそれがどのように生まれてきたのかまでを概観する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートによる 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50561	A	比較文化論	今橋 映子	比較文学比較文化コース	水 2	シラバ ス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 展覧会カタログとは何かー駒場博物館資料室実習 【展覧会カタログとは何かー駒場博物館資料室実習】 カタログは、美術および文化研究の最先端の動向や研究成果を知る、絶好の資料である。それに加え、価格や装釘、デザインなどの面においても、展覧会鑑賞者に様々な楽しみをもたらしてくれる絶好の「商品」でもある。 駒場キャンパスの美術博物館には、専ら展覧会カタログ（文学、美術、歴史等）を数千冊以上収集し続けている資料室があり、近年ではその質と量から専門家からも高く評価されている。 本授業では、以下の教科書を導入として、展覧会カタログとは一体何なのかを、多角的に検討する。本授業参加者は、通常閉架スペースであるこの資料室に入庫できる資格が与えられる。 展覧会カタログは通常、博物館や美術館がおこなう「企画展」で制作されることが多いが、そのテーマや内容は、「比較芸術」的な観点で分析すると、実に豊かな世界を形づくっていることが分かってくる。 授業参加者は、展覧会カタログの探索方法、読解法、分析及び批評方法を順次会得していくことになる。 参加者に特に予備知識は必要とされず、普段、美術（文学、歴史等）展に関心を深く持っていることが肝要となる。 また、資料室に直接立ち入る授業のため、関係する職員の方々ときちんと接することのできる参加者が期待される。							
評価方法 教科書 ガイダンス 授業参加度、小発表、学期末レポートによって、総合的に判断する 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50830	A	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	木 3	112	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近代日本における出版・読書文化の大衆化 近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、雑誌の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。雑誌に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての雑誌自体に注目し、映画やラジオなど他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者・読者・編集部・専門寄稿家の間の関係性を、どのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業参加度、コメントシート、学期末レポートによって、総合的に判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50301	A	比較文学	佐藤 光	比較文学比較文化コース	火 2	512	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		比較文学研究入門 比較文学とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察する学問です。この授業では比較文学の研究事例を（１）英文学と出会った日本、（２）日本と出会った英文学、（３）クロス・ジャンルの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学をあわせて考える実証研究の事例集です。イギリス児童文学に関する講義ノートを作成中なので、間に合えば、4つめの観点としてシリーズの中に組み込みます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末試験（持ち込み可） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50206	A	比較芸術	三浦 篤	比較文学比較文化コース	月 5	525	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		西洋近現代絵画の見方 19 世紀、20 世紀の西洋絵画の見方、考え方を学ぶ。S セメスターの美術論「西洋伝統絵画の見方」で扱った絵画の体系が崩壊して、新しい近代のパラダイムに移行する時代が対象となる。19 世紀のロマン主義にはじまり、印象派、ポスト印象派、20 世紀の抽象絵画、ポップ・アートなど、現在にまでいたる歴史をたどっていくが、単純に時代順に語るのではなく、主題や造形様式や受容に関わるいくつかの重要な問題を設定して論じていく。広い意味における視覚芸術の機能、芸術と社会の関係、芸術家の意義や在り方等々、価値観が揺らぐ時代の美術を考えるためのテーマは少なくない。講義はスライドを使って、作品を具体的に分析しつつ行う。					
評価方法 教科書		レポート提出 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 まなざしのレッスン ②西洋近現代絵画 著者（訳者） 三浦篤 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-083031-7					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50958	A	経済思想史	寺川 隆一郎	経済・統計	金 2	1225	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		市場社会論としての経済思想 現代の経済学では、市場は、資源を最も効率的に配分する機構として、洗練されたモデルで分析される。しかし、すべてを貨幣で評価する市場が、社会編成の中心原理になることについての思想的反省が行われることは少ない。歴史的には社会的義務が、貨幣の支払い義務に徐々に置き換えられる（例：租税の金納化）中で、全国的市場が成立し、貨幣を介した関係が中心となる市場社会が誕生した。貨幣化は社会関係を流動化、個人化することで、資源配分の効率を高めるが、同時に、その強力な遠心力は、社会関係への解体圧力として作用する。このような機構が、われわれの社会の中でどのように位置づけられるのか、またどのように位置づけるべきなのか。経済学の歴史を振り返ると、このような問いが通奏低音となっていることに気づく。本講義では、市場と社会の緊張関係について論じた過去の重要な経済思想家たちの議論を概説することで、市場社会論の多様な視点を紹介する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末に授業内試験を実施する。討論時間での発言や、リアクションペーパーの提出は平常点として加味する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 B（国際・地域）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50959	A	国際関係論	下谷内 奈緒	国際関係	月 1	533	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際社会の秩序と正義 秩序と正義を軸に近代以降の国際関係を概説する。今日の「国際社会」はどのような考えに基づいて成り立っているのか、国際社会において秩序を維持し、正義を実現するためにどのような考えが生み出され実践されてきたのかを批判的に検討する。国際政治学の基礎的な概念と分析枠組みを用いて、国際社会の歴史的発展と主要争点について問題の所在を理解することで、国際問題を読み解く視座を獲得することを目的とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業参加度および定期試験 授業中に指示をする。／Will specify at class timr 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50302	A	国際関係論	湯川 拓	国際関係	火 2	1322	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係について理論的に考える 国際関係論（国際政治学）の入門的な講義であり、国際政治現象を分析的に理解するための「レンズ」あるいは「ものの見方」を得ることを目的とする。そのために、現在の国際社会の来歴を学んだ上で（歴史）、国際関係論という学問における重要概念とその基本的操作について理解する（理論）。 入門的講義ということもあり、国際関係における様々な問題を広範に取り上げる予定である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験の成績に基づき評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50303	A	国際関係史	酒井 哲哉	国際関係	火 2	1225	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係史 幕末・維新时期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		通常の筆記試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50960	A	現代国際社会論	石井 梨紗子	国際関係	金 2	743	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際協力論序説 本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」(International Development Cooperation) について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助 (ODA) を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、非政府組織 (NGO) を通じた支援、さらに企業による支援について、それぞれの特徴を概観し、比較検討する。 国際協力活動への評価はとかく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。 国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生の他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。					
評価方法		期末試験の成績と講義への参加度合いから総合的に判断する。(ただし、受講者数が少ない場合、期末試験に替えてレポートの評点とする場合もある。)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50380	A	平和構築論	キハラハント 愛	地域文化研究専攻	火 3	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		平和構築と人間の安全保障の構成要素を考察する 平和を構築・維持するために必要な要素を考察し、この分野における人間の安全保障という考え方と、それ以前の考え方とを比較・考察する。国際社会における個々の人間の立場がどのように変遷してきたか、また、平和を維持・構築するためにどのような方法が取られてきたか、を理解する。世界の問題について、その背景・理由・変遷・多様な見方・解決方法などに目を向け、自分で情報収集・分析し、意見を構成する能力、また、それを他者に説明する際に、議論を構成する力、説明・発表する力を身につける。ディスカッションを通じて、多様な意見を分析、議論できるようにする。					
評価方法		授業での発表を含む主体的参加度：40%、レポートでの成績：60%の配分で評価する。インターンなどの実務経験は、評価の考慮に入れる。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50869	A	地域文化論Ⅱ	LOWE David	地域文化研究専攻	木 4	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Australia in the World This course asks, how have Australians seen themselves in relation to others, and how has this changed over time? And how are we best able to study these changes? The course invites students to consider these questions in several ways, including through examining the lives of prominent Australians, studying international events, such as the two Summer Olympic Games held in Australia (1956 and 2000), and viewing Australians through the eyes of observers. It examines the following themes: early Aboriginal connections between Australia’s north and Southeast Asia; the relationship between colonization and Australian identity; Australia’s changing relations with Britain and growing relations with Asia; the effects of the two world wars and Cold War; and the impact of immigration and multiculturalism in modern Australia. This course enables students to develop their English reading, writing, and speaking skills, and their analytical skills in relation to different sources.					
評価方法		In-class participation exercises 1 short essay 1 in-class test (week 13)					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51088	A	地域文化論Ⅱ	谷垣 真理子	地域文化研究専攻	金 5	113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		紛争と和解から見たアジア共同体 この授業では、アジア地域における、一国内あるいは複数の国の間での、人びとの紛争・対立・葛藤について、個別の事例を取り上げて論じていく。具体的には、それがどのようにして起こり、その解決のためにどのような取り組みや政策がとられてきたのか、またそれが効果をもったのか、限界があるとすればどのようなものであるか、などを、それぞれの問題に詳しい研究者などに話を聞き、受講者と議論していく。 そして、それぞれの事例について知り、それを比較することで、地域文化研究のあり方を学んでいく。そうした紛争・対立・葛藤を乗り越えて、アジア共同体をどう展望していくのかについても議論していきたい。					
評価方法		当該諸問題に関して毎回簡単なコメントペーパーを出してもらおう。また、期末には 4000 字～6000 字程度のレポートを提出してもらおう予定である。これらのほかに、授業への出席、授業における討論への参加貢献度などを総合的に判断して成績を評価する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50961	A	比較地域史	上田 信	歴史学部会	金 2	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人口史を読み解く：中国を軸に 地域の歴史を比較するうえで、対照する軸のひとつに人口を挙げることができる。各地域の人口の動向は、ヒトと生態環境との関係、日常的な生活の実態、さらにジェンダーなど、さまざまな視点から論じることが可能であり、またさまざまな課題に答えることが可能である。本講義では、担当者が専攻する中国について、古代から現代までを通観して比較の軸を立て、日本と西欧（主としてイギリスとフランス）と対比する。近世については歴史人口学の手法を紹介し、近現代についてはセンサス（国勢調査）に基づいて分析する。あまたの経済統計のなかで、将来をもっとも正確に予測できるものは人口統計だといわれる。授業の後半では、人口学の視点から、中国と日本の 30 年後を考えてみたい。					
評価方法		年内最終回の授業までに、授業に関するレポートを提出する。年明けの最終回授業では、レポートに基づく討議を行う予定。成績評価は出席率（40%）・レポート（40%）・授業への参画度（20%：リアクションペーパーの内容、討議などを総合して判断）。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50207	A	日本文化論 I	品田 悦一	国文・漢文学	月 5	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『万葉集』の近代 近代日本の社会で『万葉集』がナショナル・アイデンティティーを支える有力な文化装置の一つとなった経緯について、具体的に掘り下げる。「日本人の心のふるさと」というコンセプトが実はきわめて作為的なものであり、近代国民国家の要請に沿って慌ただしく立ち上げられたこと、そしてその後の百余年を通じ紆余曲折を経て定着してきたものであることを、はっきり認識できたとき、この授業の目標が達成されたことになる。					
評価方法		定期試験を実施する。その際、約半量の問題は授業中に予告する。授業の進行状況しだいではリアクションペーパーを書かせることがあるかもしれない。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50962	A	日本文化論Ⅱ	高山 大毅	国文・漢文学	金 2	101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		江戸時代の文学論 文学研究をしていると、「文学は何の役に立つのですか？」といった質問をぶつけられることがある。この種の質問は大抵礼を失していることはさておき、文学の価値をどのように説明するかについては古来様々な議論があった。この授業では、江戸期の文学論の検討することで、上記の問いについて考えてみたい。伊藤仁齋・荻生徂徠・賀茂真淵・本居宣長といった学者の所説を取り上げる。彼らの文学をめぐる思考は、今日の読者にとっても示唆に富んでいる。江戸期の思想・文学に関心がある人だけでなく、広く「文学」に関心のある人に受講してもらいたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		試験で成績評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50719	A 1	日本語日本文学Ⅰ (理科生)	高山 大毅	国文・漢文学	木 1	108	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		文学作品から学ぶ江戸文化史 いわゆる「理系」であったとしても、「日本社会」の「伝統」いったものに思いを巡らし、「日本は古くから～だから」といった一種の文化論を語ることはあろう。しかし、立ち止まって、自分が「日本」の伝統社会について、どれほど正確な知識を持っているかを省みると、その知識の乏しさに愕然としてしまう人が多いのではなかろうか。この講義では、江戸時代の文化・社会を考える上での重要な論点を紹介しながら、関連する文学作品を読んでいく。取り上げる作品は通俗文学から漢詩文まで様々である。 一限開講ということで敬遠する向きも多いかもしれないが、安易な「日本」語りから離れ、物事を認識できるようになることは、現代日本社会を生きる人々にとっては有益であるに違いない。過去に遡って「日本文化」について考えてみたい人には是非受講してもらいたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートで成績評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50695	A	日本語日本文学Ⅱ	田村 隆	国文・漢文学	水 5	121	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『源氏物語』若菜巻の紫上 上下二巻に分かれる若菜巻は『源氏物語』54帖の中でも最大の分量を有する。また、内容面でも前巻の藤裏葉で准太上天皇という栄華に上りつめた光源氏の舞台がこの若菜巻で暗転するという、きわめて重要な巻であり、著名な桐壺巻や若紫巻などを高校の教科書で学んできた皆さんにはその先の物語を是非味読してほしい。 本講義では2017年の7月から半世紀ぶりの改版が始まった岩波文庫をテキストに使い、本年3月に刊行されたばかりの若菜巻を一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。今学期は、女三宮降嫁を光源氏が承引したことによる紫上の苦悩を中心に、呼称や女楽の問題等にも触れつつ丁寧に読み進める。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。					
評価方法 教科書		論述試験（持込不可）。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 源氏物語（五） 梅枝―若菜下 著者（訳者） 藤井貞和・今西祐一郎ほか 出版社 岩波文庫 ISBN 9784003510193 その他 2019/03/01					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50831	A	東洋古典学	高芝 麻子	国文・漢文学	木 3	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		白居易詩歌入門 中唐時代を代表する詩人白居易（白樂天）は、当時の東アジア随一の知名度を誇る詩人であり、日本文化にも様々な影響を与えました。白居易の詩を読み解くことで漢詩の基礎的な知識に親しみ、唐代文化や歴史への知見を深めることを目指します。					
評価方法		ミニレポート 30 点（6 点×5 回） 期末テスト 70 点					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51089	A	歴史社会論	長谷川 まゆ帆	歴史学部会	金 5	511	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヨーロッパ近世史と 20 世紀の歴史家たち この授業では、ヨーロッパのとくに近世期の歴史学研究に新しい領域を切り開いてきた 20 世紀の歴史家たちに焦点を絞り、中世と近現代社会の間にあったヨーロッパ世界のとらえ方がどのように広がってきたかを考える。また歴史家の扱う対象や分析と歴史家が生きる同時代の課題とがどのように関わりあっているかを考えたい。 歴史学研究の基礎的な方法や前提についても触れることになるが、講師の専門はフランス近世史であるため、主としてフランスに関する成果が中心となる。ヨーロッパおよびフランス近世期の概説的な知識やクロノロジックな流れについてはこの授業ではとくにとりあげない。基礎的な知識については、参考書を紹介するので、独自に勉強していただきたい。					
評価方法		人数によってはレポートもありうるが、履修者数が 20 名を超えるときは、筆記試験になる。 上記のコメントシートも評価対象となる。					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50888	A	近現代史	戸邊 秀明	歴史学	木 5	511	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		沖縄近現代思想史 ＜目標＞ 1. 沖縄に関する 19 世紀半ば以降の歴史学習を通じて、高等学校段階の世界史及び日本近現代史の知識や理解の枠組みを批判的に捉え返せるようにする。 2. ある地域の歴史から現代世界の諸問題と密接に関わる普遍的課題をつかみとる能力を身につけ、歴史研究の意義と可能性について理解できるようにする。 3. 幅広い性格の史料を読解することで、近現代史研究の基本的な進め方について学べるようにする。 4. 関連する映像の視聴、ならびに映像に関する課題に取り組むことで、歴史に関する映像資料の読解力を高める。 ＜概要＞ 19 世紀半ば以降、現在までの沖縄をめぐる近現代史について講義する。特に「琉球処分」から地上戦・軍事占領を経て現在にいたる期間、沖縄に生きる人々が試みた「自立」をめぐる思想的模索を概観していく。人々は自立を阻む国際的・国内的権力状況にいかなる抵抗を試み、どのような思想を育んできたのか。この問いへの答えを、当時の具体的な史料の読解を通じて明らかにする。その際、沖縄近現代史を「沖縄問題」なる基地・安保問題の単なる背景とみなす狭い理解を排し、一方で近代以来の東アジア史の変動のなかに沖縄を位置づけ、他方で現代的課題の淵源を探究する理論的枠組みをもって、その実態に迫る。そのために、政治史・経済史・国際関係史の基本的な動向をおさえつつも、特に社会史・思想史的な観点を重視する。それにより、受講者が現代日本と世界の関係を新たに見据えるための歴史的視座を養う一助としたい。					
評価方法		1. 授業参加状況：レスポンスシート（毎回要提出）に書かれた感想・質問・意見等を評価する。(50%) 2. 中間レポート：講義中に視聴する映像作品についてレポートを作成・提出する。(20%) 3. 期末レポート：講義内容をふまえた具体的な課題は授業中に指示する。(30%) * 以上 3 点による総合評価（計 100%） * 1・2 については、授業中（随時）に全体					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50304	A	歴史と文化	岩本 通弥	歴史学学会	火 2	1212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日常史としての衣食住－民俗学からみた近現代日本の暮らし 民俗学からみた近現代日本の暮らしの変化を扱うが、例えば衣生活に関わる日本の近代は、一貫して和装から洋装への転換であった。しかし、いかに洋風化が進んでも、例えば玄関や上がり框では履物を脱いで素足で上がったり、あるいはスリッパという室内履きに履き替えることは、今も病院や学校などに残されている。本講義ではすでに古典となっている柳田國男の『明治大正史世相篇』（1931＝1993）を講読するとともに、それにならって、近現代日本の世相や生活の変化を、引き続いて概観する。テキストとして『明治大正史世相篇』は毎回ほぼ2 節ずつ精読してゆく。					
評価方法 教科書		学期末テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 明治大正史世相篇 著者（訳者） 柳田國男 出版社 講談社学術文庫・中公クラシックス・平凡社東洋文庫・定本・全集					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51248	A	歴史と文化	守川 知子	文学部	月 4	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		歴史の中のイスラームとその社会 本講義では、イスラーム社会の歴史的多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム世界」とは何かについて考える。現在、世界人口の 2～3 割を占める 18 億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であったことが明らかとなる。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっている。このようなイスラーム社会の歴史的多様性を理解することは、将来、文学部に進学し歴史研究や思想研究を志す学生はもちろんのこと、国際社会の一員として生きるすべての学生にとって意味あることであろう。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験にて評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50208	A	世界史論	小田 悠生	歴史学部会	月 5	512	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「移民の国」アメリカの形成 みなさんはアメリカ合衆国にどのようなイメージを抱いているでしょうか。多くの人が共有するアメリカ像の一つは「移民の国」ではないでしょうか。実際、グローバル化が加速する今日、世界総人口の 3.4%に相当する約 2 億 6 千万人が生まれ育った国・地域の外で暮らしていますが、その 2 割はアメリカに居住しています。アメリカは、その建国以来 3 度目の大規模移住の只中にあると言われ、外国出身者は総人口 3 億 2700 万人の 15%を占め、アメリカ生まれの第二世代を含めると総人口の 25%となります。このような社会の変化と同時に、多様化を「われわれ」「わが国」「わたしたちの社会」への脅威と捉える排外主義もまた顕著となっています。歴史を振り返ってみれば、100 年前、現在とほぼ同水準の移民を迎えた後に続いたのは、厳格な移民制限の時代でした。しかし、皮肉なことに、アメリカは「移民の国」とあるという国造りの物語が形成されたのも、移民制限の最中のことでした。わたしたちはこうした歴史からどのような知見を得られるでしょうか。この授業では、揺れ動く 「移民の国」アメリカの形成を 18 世紀末に遡って検討しながら、現代アメリカへの理解を深めます。					
評価方法		平常点・授業内課題：40% 期末試験: 60%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50696	A	世界史論	杉山 清彦	歴史学部会	水 5	531	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中央ユーラシアから見た世界史 近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの人びとこそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末の論述試験を主とし、講義中随時課す小テスト・小レポートなどの評価を加味して判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50963	A	文化人類学Ⅰ	岩原 紘伊	文化人類学	金 2	514	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		観光の人類学 国連世界観光機関によれば、2017 年に国境を越えた旅行者数は 13 億人を超え、1960 年代以降その数は増加の一途をたどっている。第二次世界大戦後、先進国・途上国を問わず、観光は多くの国で経済開発の有効な手段として積極的に推進されてきた。現在、観光は経済に限らず、政治、文化、環境など社会の様々な側面に大きな影響をもたらし、巨大な社会現象となっている。文化人類学による観光研究（観光人類学）が本格化したのは、文化人類学者たちが自身のフィールドに対する観光の影響の大きさを意識するようになった 1970 年代以降のことである。観光人類学の貢献は、観光を切り口に文化についての新たな見方を提示してきたところにある。観光のコンテクストにおいて文化は無意識の慣習や実践ではなく、意識的に操作され、表象され、また生成する。本講義は、観光という現象に文化人類学の視点からアプローチすることで、現代世界における文化の動態について理解を深めることを目標とする。前半は、先行研究や世界の事例をもとに、観光人類学の理論や分析方法について概観する。後半は、近年注目されている新しい観光形態を東南アジアの事例から検討し、その展開に現地の社会文化的動態がどう影響しているのか、それは同時に現代世界を取り巻く様々な課題とどう関わっているのかを考察する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		リアクションペーパーの提出（30%）、期末試験（70%） プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50305	A	文化人類学Ⅱ	箭内 匡	文化人類学	火 2	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人類学的思考とは何かー映像／イメージを通して学ぶー 文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージから大きくかけ離れたものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。 過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となってくれる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なものは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。 かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。					
評価方法 教科書		試験（予定）。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『イメージの人類学』 著者（訳者） 箭内匡 出版社 せりか書房 ISBN 978-4796703734					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50721	A	法と社会	山元 一	法・政治	木 1	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		法と社会——グローバル化時代の日本国憲法 本講義は、日本国憲法とそれを取り巻く諸問題について検討し、それを通じて、憲法の基本原理とその現代的課題についての理解を深めることを目標とします。その際の視点としては、法の歴史的考察や比較憲法にも留意しつつ、グローバル化時代の日本国憲法がいかなる役割を果たすべきなのかについて、考えていきたいと思います。					
評価方法 教科書		学期末に実施される試験に基づいて成績評価を行います。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 グローバル化時代の日本国憲法 著者(訳者) 山元一 出版社 放送大学教育振興会					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50964	A	日本国憲法	渋谷 秀樹	法・政治	金 2	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本国憲法 教科書は、以下の体系に沿ってかかれている。 第1章 憲法総論 1 憲法の概念, 2 憲法の性質, 3 法の支配 (立憲主義), 4 憲法改正の限界 第2章 人権総論 5 人権の根拠と限界, 6 人権の享有主体, 7 私人間効力, 8 新しい人権 第3章 人権各論 9 法の下での平等, 10 思想・良心の自由, 11 宗教の自由, 12 表現の自由, 13 刑事手続上の権利, 14 財産権, 15 生存権, 16 選挙権 第4章 統治機構総論 17 権力分立, 18 民主主義と違憲審査制, 19 天皇, 20 平和主義 第5章 統治機構各論 21 立法の概念, 22 行政の概念, 23 司法の概念, 24 地方自治の本旨 授業は、より体系的なものに組みなおし、また適宜時事的な問題にも触れながら、憲法の基本が理解できるようなものとしたい。 なお、憲法の条文を適宜参照するので、教科書のほかに『六法』を用意されたい。					
評価方法 教科書		学期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 憲法への招待 新版 著者(訳者) 渋谷秀樹 出版社 岩波書店 ISBN 978-4-00-431470-7					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50209	A	現代社会論	丹羽 美之	社会・社会思想史	月 5	1106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		テレビ番組で見る戦後日本 【注意】この授業は、2014 年度以前の入学者には、総合科目 C 系列 マス・メディア論 として開講される。 日本でテレビの本放送が始まって 60 年あまり。テレビは単に戦後日本の歴史を映し出すだけでなく、戦後日本の歴史を積極的に作り出し、動かしてきた。この授業では、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなど、それぞれの時代に放送されたテレビ番組を視聴しながら、テレビと戦後日本の歴史を多角的に振り返る。					
評価方法 教科書 ガイダンス		ミニレポート、学期末レポートによって総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50965	A	比較社会論	重田 園江	社会・社会思想史	金 2	532	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会契約と統治性－近代の表と裏 この講義では、社会契約論と統治性という政治共同体をめぐる二つのアイデアを比較対照する。社会契約論は、第二次大戦後の日本では長い間、近代ヨーロッパにおける政治秩序を形づくる基本的な理念、理論と了解されてきた。では、社会契約の論理とはどのようなものなのだろうか。そしてそれが実は秩序についての常識はずれな見方であること、だからこそそこに存する根本性について考察する。 一方の統治性は、これまであまり政治学や政治思想史では注目されてこなかった概念である。統治性の観点から近代ヨーロッパ秩序を見ることが、社会契約的な見方といかに異なっているのかをまず説明する。その上で、16 世紀以降の政治における統治性の展開を跡づける。そのことによって、政治を統治の観点から眺めるとはどういうことなのか、それによって近代国家なるものが、社会契約を通じて捉えた場合とはいかに異なって見えてくるのかを明らかにする。 説明のしかたは、社会契約についてはある程度の歴史的背景、また思想史的な系譜を整理した後、契約に至る論理構成の解説を中心に行う。統治性については、歴史的な考察が中心になる。統治性が作り上げられ、変容してきた歴史的経緯をたどることは、その概念を理解するための主要な方法となる。理由は、統治性という概念はかなり実践的な場面で利用価値があり、社会契約論のような精緻で理論的構成を持っていないからである。統治性の歴史を知ることがそのまま統治性とは何かを知ることになる。 講義を通じて、思想史の面白さを知ってもらうことが一番の目標である。思想史は、論理と歴史と実践と思想の言語といった様々なものを交錯させて描くことで、はじめて奥行きをもって理解できるようになる。とりわけ政治思想史においてももっとも興奮させられる山場となるのは、近代が立ち上がってくる 17－18 世紀である。この時代に政治思想に何が起きたのかを知ることが、現代にまでつながる典型的な思考法や制度設計の知的源泉を知ることにはかならない。これがとても面白いということを伝えたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末テスト（長文の論述） リアクションペーパーから見る興味の在処 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51090	A	関連社会科学	市野川 容孝	社会・社会思想史	金 5	512	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代社会と関連社会科学 教養学部後期課程の教養学科・総合社会科学分科に所属する数名の教員のリレー講義によって、同分科のコースの 1 つである「関連社会科学」の可能性を、具体的に知ってもらう。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（復習レポートの提出等）と期末レポートによる。それぞれ 50 点。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50966	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	521	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		マクロ・ヒストリー 人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的發展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介にとどまらず、できればデータを用いて理論を検証することも試みたいと思います。 最後に、現在は歴史の転換点か歴史の直線路にあるのかとも考えましょう。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートおよび期末の試験によって行います。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50013	A	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	月 1	1106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育・学校心理学 この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者の教育領域の心理臨床家（スクールカウンセラーや教育相談センター相談員）としての実践に基づいて説明する。 具体的には、下記の内容を取り扱う。 1. 教育現場において生じる問題及びその背景 いじめ、不登校、学業不振など。 2. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援 教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。 学校内の支援体制と方法：教育相談、スクールカウンセラーなど。 学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期中にレポートの提出を求める。レポートと期末試験の成績を総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50076	A	教育臨床心理学	石垣 琢磨、 西口 雄基	心理・教育学	月 2	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育支援についての理解を目的とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50870	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	木 4	900	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験による。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51242	A 1	高等教育論入門	両角 亜希子	教育学部	火 2	1211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		高等教育論入門 この授業は、自身の経験をを超えて大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのものへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加状況ならびに最終レポートによって評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51241	A	教育実践・政策学入門	北村 友人	教育学部	木 5	108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育実践・政策学入門 （目標） この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 （概要） 教育の実践や政策に関わる領域は多岐にわたる。この授業では、主に学校教育、教育行政、図書館情報学を専門とする3名の教員が交代で授業を担当し、それぞれの研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、また、図書館などによる学校外における学びと知の組織化のあり方などについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。					
評価方法 教科書 ガイダンス		担当者ごとにレポートまたは小テストを課す。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50306	A	環境物質科学	松尾 基之	化学	火 2	523	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのである。地球上で循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO₂による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。					
評価方法		学期末試験を行う。 なお、授業中に行うミニテストも加味する。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50307	A	生態学	山道 真人、 川北 篤	生物	火 2	514	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半は山道が担当し、個体群成長と生活史／生物間相互作用／個体群動態と食物網／多種共存と群集動態／水域のバイオーム／生態と進化の相互作用などを解説する。後半は川北が主に植物生態の視点から、日本と世界の植生／環境条件と植物群集／種多様性の地理的パターン／生態系における物質の流れ／共生／生物多様性の保全などを解説する。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50832	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	木 3	1101	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		地域開発と地域の動態 地域的不均衡発展という言葉があるように、経済成長は必ずしも全国一律の発展をもたらすわけではなく、成長地域と成長から取り残される地域を生み出すことになります。このような中で、中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から、経済成長から取り残された地域の開発を推進し、後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし、こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また、経済面以外の部分を含め、地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から、個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって、これらの点について考えていきたいと思います。					
評価方法 教科書 ガイダンス		成績はレポートによって評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50778	A	社会生態学	松原 宏	人文地理学	木 2	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と地域経済の実態 本講義では、日本の地域経済の実態を事例を通して学ぶとともに、地域経済と地域政策の理論について理解を深めることをねらいとする。授業は3部からなり、第1部地域経済の理論では、経済地理学独自の経済地域のとらえ方、地域経済循環と地域構造の考え方を紹介する。第2部では、日本の地域構造の歴史的变化をおさえた後に、都市地域、工業地域、農山村地域の事例をもとに、現代日本の地域経済の実態をみていく。第3部では、地域経済政策の理論を解説した後、日本における地域政策の歴史と今後のあり方を検討する。					
評価方法		試験 数回書いてもらう質問票も評価に含める					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 地域経済論入門 著者（訳者） 松原 宏編 出版社 古今書院					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50308	A	地域生態学	江口 卓	人文地理学	火 2	1222	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ブータンヒマラヤの地誌 地理学の視点から地域をどのようにとらえるかを理解するとともに、ヒマラヤ地域について理解を深めることを目標とする。ブータンヒマラヤを中心に、ヒマラヤ地域の自然・社会・文化の特徴について概観しながら、相互の関係について考え、ヒマラヤにおける地域の成り立ちについて理解を深める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		成績は、授業内の小テスト（1 回）・レポート（1 回）・受講態度などにより評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50211	A	人間行動基礎論（理科生）	今井 久登	心理・教育学	月 5	1313	1年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する授業である。 本講義では、出発点として「コミュニケーションの機能不全（うまくいかなかった）」事態を想定し「どのような対応がありうるのか」という問題を經由しつつ、最終的に「心」が何なのかということについて各自がなんらかの答えにたどり着くことを目指して、人の心の理解のために現在まで蓄積されてきた心理学の知見をたどるという方略をとる。 具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」などの視点を持ちながら、現在までに蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学の成り立ちにも触れる予定である。解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が主である。 半期の講義が終わった後に、受講者が人間理解の各自の地平をそれぞれのやり方で拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点をういたり、心理学の知見を援用してみたりといったことができるようなことが最終目標である。 心との付き合い方を考えながら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ること、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート形式の課題にて成績評価を行う（最終回の授業時間内で回収する予定）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50779	A	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1313	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できること、並びに「心理学の成り立ち」について理解することを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と記される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この講義では知覚、記憶、思考、感情といった基礎的な心的機能について紹介する。それらを通して人間の知的側面について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート（30%、学期中に何回か提出を求める）、小テスト（20%、学期中に何回か行う）、期末テスト（50%）の3つから総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50309	A	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育学	火 2	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		知覚・認知心理学 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。					
評価方法 教科書		学期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての認知科学 著者（訳者） 鈴木宏昭 出版社 東京大学出版会					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50077	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		神経・生理心理学 ＜目標＞ ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 ＜概要＞ 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験成績による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50381	A	認知脳科学	岡ノ谷 一 夫	心理・教育学	火 3	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		神経・生理心理学 脳神経系の構造及び機能 記憶、感情等の生理学的反応の機序 高次脳機能障害の概要					
評価方法 教科書		期末試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 認知脳科学 著者（訳者） 嶋田聡太郎 出版社 コロナ社 ISBN 978-4-339-07812-1					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50871	A	適応行動論	大槻 久	心理・教育学	木 4	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間の行動と心理の進化的理解 本講義の目標は、人間の身体や行動および心理の特性を進化の観点から理解することである。全ての生物種は進化という途方もなく長いプロセスを経て現在地球上に存在している。従って人間を一つの生物種である「ヒト」として捉えた時、我々の体や心も決して進化とは無縁でなく、そこには進化の痕跡が数多く残されていると考えられる。このような観点から人間の行動を理解する学問は人間行動進化学、心理を理解する学問は進化心理学と呼ばれ、近年目覚ましい発展を遂げている。またヒトの疾患の存在理由を進化的に理解する学問は進化医学と呼ばれる。 本講義では進化論が近現代の人間観・世界観に与えたインパクトを解説した後（第1回）、進化生物学の基本的な概念を学習する（第2～5回）。次に霊長類の特徴や人類の進化史を学び、生物としてのヒトの理解を深める（第6回～第7回）。これらの内容を踏まえた上で、進化が我々の身体や行動そして心理に及ぼしている影響について様々な例を挙げて解説する（第8回～第13回）。具体的にはヒトの生活史、社会性、配偶行動を取り上げる。「人間とは何か」という大きな問題に対し、従来の人文科学や社会科学にはなかった新しい文理融合的アプローチによって迫りたい。本授業の履修にあたって進化学の知識は前提としない。必要な概念についてはその都度解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験により評価（持ち込み不可） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50562	A	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1323	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 社会・集団・家族心理学 授業の目標概要 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。 人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけでなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。 心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとりには他にもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずにお過ごししてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳が仕づえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。 世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っている。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というもののへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。							
評価方法	70%テストによる。それ以外の学期途中の小課題の提出3回によって30%を評価する。 社会心理学のモデルを専門用語によって理解し、正確に説明できるかが求められる目標である。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『進化と感情から解き明かす社会心理学』 著者（訳者） 北村英哉・大坪庸介 出版社 有斐閣						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

スポーツ・身体運動実習		開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目の授業で、種目選択を行う。場所は仮設体育館（詳しくは9号館掲示板を参照）。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。		
授業の方法	所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9号館前の掲示板に掲示する。		
成績評価方法	1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook		
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、1つの学期に3コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我等）が無い限り認めない。		
学習上のアドバイス	1コマ1単位であり、2S セメスター終了時までには2単位、2A セメスターに2単位、計4単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50136	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50310	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50563	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50967	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）		開講区分	A	
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の実管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回目 種目選択（仮設体育館、詳しくは9号館掲示板を参照） 月3、火2、水2、金2のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。出席できない場合は、9号館1階教員控え室で登録する。 第2回目以降 各自の選択した曜限での授業			
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。			
成績評価方法	1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook			
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回からメディカルケアコースの曜限（月1、月5、火1、水1のいずれか）に移行し、教務登録もメディカルケアコースの曜限で行う。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。			
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。また学期途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。			
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50014	月 1	スポーツ・身体運動実習（メ ^{ディ} カルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
50212	月 5	スポーツ・身体運動実習（メ ^{ディ} カルケア1）	実技担当	2年 文科 理科
50250	火 1	スポーツ・身体運動実習（メ ^{ディ} カルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
50493	水 1	スポーツ・身体運動実習（メ ^{ディ} カルケア2）	実技担当	2年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50494	A	身体運動科学	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	水 1	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学 運動（トレーニング）を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動（トレーニング）に伴う身体諸機能（筋機能、骨強度、呼吸循環など）の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。					
評価方法		レポート 2 回（中間、学期末）を 80%、平常点（出欠確認を兼ねた複数回の小レポート）を 20% として、総合的に評価する					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50968	A	身体運動科学	中澤 公孝	スポーツ・身体運動	金 2	K213	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		身体運動科学 授業の目標： ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学、特に神経科学の一領域であるヒトの運動制御を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の事例を通じて理解することが目標。					
評価方法 教科書		出席状況。小テスト、レポートを総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 歩行のニューロリハビリテーション 一歩行の再獲得をめざした理論と臨床― 著者(訳者) 中澤公孝 出版社 杏林書院					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50078	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1331	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		健康スポーツ医学 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。					
評価方法		筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する）					
教科書		教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東大出版会					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50922	A	身体生命科学	佐々木 一茂	スポーツ・身体運動	金 1	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		身体づくりの科学 身体の形状や機能は生涯を通じて変化を続けるが、こうした変化は全て遺伝的に決定されているわけではなく、相当に環境の影響を受けている。生活習慣を少し変えただけで、身体に大きな変化が生じることもある。現代社会においては、身体を適切に管理する術を身につけること、あるいは適切に管理された身体それ自体がひとつの教養と言える。 そこで本講では、前半は筋（骨格筋）、後半は脂肪（体脂肪）に焦点を当てながら、身体づくりに関する生命科学的な知見の紹介および考察を行う。授業の到達目標は、常に自らの存在とともにある身体との上手な付き合い方について本質から理解し、他者に説明できること、また身につけた知識を日々の生活に役立てられるようになることである。					
評価方法		平常点（授業内テスト・レポート）を 60%、期末レポートを 40%として評価する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50251	A	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	スポーツ・身体運動	火 1	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スポーツ動作を科学する 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。					
評価方法		授業への参加態度および試験					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 スポーツ動作の科学 著者（訳者） 深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-052705-7 C3075					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51467	A	情報メディア伝達論	越塚 登、 住友 貴広	情報学環	月 5	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		情報メディア伝達論（オープンデータや AI, IoT を駆使した新しい公共政策） 近年、「情報」の「メディア表現」を活用した重要な取組の一つにオープンデータ（Open Data）がある。オープンデータとは、政府自治体や公的機関、教育研究機関、場合によっては民間企業等が保有する膨大な情報を、プログラムしやすい形式でオープンにすることによって、それらの機関組織の透明化や新しいビジネスやサービスの創出、また経済対策、イノベーション政策、地方創生などの目的に資する活動をいう。ここ数年、我が国の IT 戦略の中核にすえられた取組でありかつ、世界的にも G8 でオープンデータ憲章が採択されるなど、非常に活発に進められている。また、このオープンデータを核として、公共性の高いデータを出す政府自治体、それを使ってソリューションを提供する民間や個人が協業する、新しい官民連携の方式、またそれを行政に取り入れた新しいオープンガバメントのあり方（Government 2.0）も扱う。これは、まさに最先端の情報技術と公共政策、ビジネスモデルのクロスオーバーした領域であり、理系的知見と文系的知見がコラボレーションすることが不可欠である。 本授業では、まずはじめに、オープンデータとは何か、また世界のオープンデータの取組、それを利用した新しい情報サービスや行政問題の解決などを、世界における実例を挙げて解説する。例えば、本講義の担当教員である越塚が実際にリードしてきた、日本政府のオープンデータカタログである data.go.jp、公共交通オープンデータ、東京メトロオープンデータ、横須賀市・豊島区の自治体オープンデータ、札幌観光オープンデータなどの事例を紹介する。 （例） ・ data.go.jp（日本政府、内閣官房によるオープンデータカタログ） ・ www.odpt.org（公共交通オープンデータ） ・ http://sapporo.odcity.org（札幌オープンデータ） 次に、実際に、行政や企業の前線で活躍している外部ゲスト講師をお招きし、行政におけるリアルな課題、企業における課題、そして、実際の行政は企業が保有するデータを授業の中で公開し、その「オープンデータ」を使った課題解決について授業の中で考えていく。 最後、講義の中で紹介された、実社会における様々な課題を、オープンデータを使っていかに解決するかを、履修者自らが考案し、課題発表や討論を行って理解を深めていく。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、レポート提出、課題発表 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51102	A	情報メディア表現論	岡 美穂子	情報学環	月 5	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人は何に対して祈るのかー人類と宗教と表現の歴史ー 情報（宗教）が、メディア（宗教画、神像、仏像等）を通じて、どのように表現され、その土地の文化と混淆していったのかという歴史を学ぶ。宗教表現の中でも、とくにシンクレティズムと関係の深いものについて考察し、文化の基層について考える。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への積極的な参加（質問、ディスカッション、出席回数） 期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50697	A	科学技術基礎論 I	岡本 拓司	哲学・科学史	水 5	1212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		思想的・歴史的・社会的な観点から科学技術の特質・役割・意義を検討する 現代社会においては、科学者や技術者ではない人々も、科学技術と関わりをもたずに生きていくことはできない。しかし、「科学ですべてが分かるわけではない」などと嘯くとき、われわれは科学について何をどこまで知っているというのであろうか。 科学技術と関わりなく生きようと望んでも、現代に生きる限りそれは許されない。この講義では、社会や歴史の中のさまざまな局面に現れる科学技術を取り上げ、それらを思想的・社会的・文化的な観点から分析することで、科学技術を侮りもせず、過度におそれもせず、うまく付き合いながら生きていくための手がかりをつかむ機会を作りたいと考えている。歴史の中に現れる科学技術の姿は、現在のそれからは予想もつかないかたちをしていることもある。 将来、科学・技術の領域で働くことを志す人々も、そうでない人々も、ともに学んで意義がある材料を提示していきたい。					
評価方法		レポートを 1 回から 3 回程度提出していただき、それによって成績評価を行う予定であるが、受講者の態度などに応じて試験に切り替える可能性もある。状況に応じてノートを拝見させていただき、成績に加味する場合がある。必要があれば、レポートの書き方についても講義中に説明する。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50311	A	科学技術社会論	藤垣 裕子	情報図形	火 2	531	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		科学技術社会論入門 現代社会において科学／技術の発展はめざましく、生活の隅々にまで浸透し、かつ社会およびその構成員一人一人の安全やリスクに直結する形ですすんでいる。環境、食糧、医療、災害、情報、など、さまざまな分野において、科学／技術と社会との接点の問題の調停が求められている。遺伝子組換え食品や狂牛病の危険のある牛の規制をどうするか、情報技術のグローバル化にともなう各国の法整備の問題、医療技術の発達にともなう倫理の問題など、自然科学の個別の学問領域を越えた複合領域の問題となりつつある。ところが、既成の学問は、個別の学問領域によって分割されすぎていて、このような問題群がまっすぐに扱えないでいた。気がかりではあるが、各専門領域のメインタスクからは少々ずれているために今まで体系的に扱われてこなかった領域、あるいは各分野の人々が個別に論じ、相互に枠組みを共有してこなかったがゆえにまだ見通しの悪い領域、そこに科学技術社会論の研究領域がある。これまで文系と理系双方から等閑視されてきた、膨大な境界領域の問題を扱う学問分野である。科学者の社会的責任とは何だろうか。今後の科学技術のガバナンスはどうあるべきか。専門家と市民の科学コミュニケーションはどうあるべきか。さまざまな事例をもとに考えてみよう。将来の自らの研究成果の社会への影響に関心のある理系の学生、そして自然科学の個別の学問領域を越えて、外交や国際関係、法律そして社会制度の関係する複合領域の問題（科学技術のガバナンス）に関心のある文系の学生、双方に開かれている。					
評価方法 教科書		レポート 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 科学技術社会論の技法 著者（訳者） 藤垣裕子編 出版社 東京大学出版会 ISBN 4-13-003204-6					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51274	A	現代工学概論	六川 修一	工学部	木 5	532	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		工学概論 工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅が広い。近年のデジタル化の進みつつある社会において、工学的に研究を進め解決すべき新たな課題がますます多様化しており、技術と社会との関わりを一層密にしなければならないことが再認識されている。工学がさまざまな価値を生み出すためのアプローチには、目標や問題を特定し、目標達成、問題解決の手段を設計するというニーズ立脚型アプローチと、目標達成、問題解決に活かされる技術を開発するというシーズ指向型アプローチが存在する。本講義では、工学に関わる複数の課題に関する各 2 回程度の講義を通じて、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解することを目的とする。					
評価方法		6 つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと出席により総合的に評価する。 目安は出席 60%、レポート内容 40%。 (但し、レポート提出が 4 回未満の学生には、出席回数に関係なく単位を付与しない) ・レポートは各教員が指示したメールアドレス宛に送付。 ・締め切り：2 回目講義の 1 週間後。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/9/27 5 限／5th Period 駒場 5 号館 532 教室／Komaba Bldg.5 Room 532					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51255	A	現代工学基礎 I	泉 聡志	工学部	月 5	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		四力学とデザイン入門～ワークショップで学ぶ機械のデザイン 機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨソリキガク）は、機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計（デザイン）の技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この 2 つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。 講義の半分は四力学に関する講義であり、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。 残りの半分は、デザインの講義として、発想をデザインする方法、アイディアを実現する方法をワークショップ形式で学びながら実践する。また、材料の造り方、それを必要な形に仕上げる加工技術を分かりやすく紹介する。 前半は主に四力学の講義を行い、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。 後半は生産加工の講義として、材料の造り方、それを必要な形に仕上げる加工技術を分かりやすく紹介する。設計の講義として、発想をデザインする方法を学びながら実践する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席及びレポートによる 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51261	A	現代工学基礎Ⅰ	妹尾 拓	工学部	水 5	162	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る- 物理的, 人工的, 社会的, どんな対象であれ, そこに望みの機能を工学的に実現する際, 1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析, 2) 計測による物理現象の本質の情報化, 3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現 4) 情報の認識と実世界の理解, が重要となる. 本講義は, 駒場生にこの工学的的方法論のエッセンスを講義することを目的とする. 具体的には, 以下の各項目に関し, 最先端の事例を交えつつ講義する. 1)物理現象の数理モデリング 未だ科学技術の土俵に上がったことがない社会的課題が生じたとき, まずその対象の中で生じている物理現象を数式で表現し, 問題として定式化することが重要となる. これを数理モデリングという. 本講義では, 音声・生物・ロボット・環境など動きや空間的变化をもつシステムを例に数理モデリングの基礎を説明する. 2)信号処理の基礎 信号処理の基礎: 情報理解と実世界インテリジェントシステムへの応用 信号処理とは, 生物・社会・経済・ロボットや自動車など動きや空間的な変化をもつシステムから計測された様々な信号を数学的に加工し, 望みの情報を取り出すことや機能を実現させるための技術である. 本講義では, 音信号のモデリングを例にとり, システムモデリングに基づく情報理解と実世界制御の基礎事項とその応用について説明する. 3)制御の基礎 対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御理論は, 機械, 情報通信, 金融, 生物などへ応用可能な横断的技術である. 本講義では, 制御理論として一般的な古典制御・現代制御について概説する. 続いてロボットを例として, 制御に必要なとなる機構や力学といったモデル化, 対象を計測するセンサと状態フィードバック, およびロボットが環境とインタラクションする際に重要な位置制御と力制御について説明する. 4)認識の基礎 サイバースペースやサイborgの元となる言葉、サイバネティクスとはノーバート・ウィーナーが著書『Cybernetics: or Control and Communication in the Animal and the Machine』で示したように、計測・認識・行動・コミュニケーションする過程が動物と自動機械とで類似していることに着目し、情報・物理・生物を俯瞰する学問分野である。 本講義ではヒト、(ヒト以外の)動物の認識機能を踏まえつつ、機械や人に超感覚を与えるシステムについて論じる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		計測, 制御, 認識に関するレポート課題 3 つで評価する. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51260	A	現代工学基礎Ⅱ	沙川 貴大	工学部	木 5	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物理をエンジニアリング 物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？ この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の4つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。 1. 超伝導 — 量子の世界からエネルギー革命へ 2. ナノサイエンス — オングストロームの世界を操る 3. 光の物理学 — 光と原子の物理学—レーザーで原子を冷やす 4. 理論物理学の挑戦 — 基礎方程式の力					
評価方法 教科書 ガイダンス		成績評価は出席とレポートで行う 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/9/26 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51267	A	現代工学基礎Ⅱ	小寺 正明	工学部	木 5	E25	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学情報とシミュレーション 社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を、Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。将来、プログラミング言語 Python などを使って高度情報処理・AI 技術を実践するための基礎をつくる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、および、演習結果とレポート。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60206	A 2	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖	工学部	金 2, 火 2	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		デザイン思考によるイノベーション入門 イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。四つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。 本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。 手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。 演習課題は、2015 年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016 年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017 年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018 年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」であった。今年は何が出てくるか？					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/11/19 2 限／2nd Period 通常の講義を行う教室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51254	A	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹	工学部	木 5	1106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TOKYO: 東京の都市計画 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席点およびレポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51275	A	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二、 柴崎 隆一	工学部	水 5	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間社会と交通システム 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。					
評価方法		1)課題内容：全 4 回のレポートの合計によって評価します(各 25 点)。各講義で出されるレポート課題に対して、前期（第 1 回-第 7 回）から 2 課題、後期（第 8 回-第 13 回）から 2 課題を選んで、レポートを提出してください。4 回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。 2)提出方法：レポートは、原則として前期は 11/20 16:50、後期は 1/15 16:50 までに ITC-LMS 上で提出するものとします。 3)レポートの体裁：表紙は不要。1 課題ずつ別ファイルとして提出のこと。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがありますので、充分注意してください。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51257	A	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進	工学部	金 5	104	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		航空宇宙工学 ―社会を豊かにする総合工学― "重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席および期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51271	A	総合工学基礎Ⅱ	上坂 充	工学部	水 5	158	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		核科学応用概論 現代科学技術を構築する基礎のひとつに、原子核や放射線や光の科学がある。ここでは放射線、医療、核融合、原子核・素粒子・放射線やレーザーを用いた技術から、これらに応用したシステムである原子力安全、エネルギー政策、レジリエンス、核融合、医療装置について概説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席数とレポートの採点により評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51258	A	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦	工学部	金 2	1221	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－ 周囲の環境に適応しながら生命を維持し、伝えていくのが生体现象の本質であり、その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です。最先端の医療では、工学技術が重要な役割を果たしています。本講義では、生体现象を情報、物質、エネルギーの流れの視点から説明し、工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51272	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	火 2	166	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering 本講義は工学部全体として、環境・エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。内容は大きく3つのパートに分かれており、それぞれの取りまとめ担当の教員が講義を行う。よって、受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境・エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システムの双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること					
評価方法		レポート（3パートからそれぞれ1課題ずつ、各A4で2から3枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数が余りに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第1回目の講義でのオリエンテーションで説明する。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51266	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	山口 和也	工学部	火 2	515	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		最先端科学を理解する化学基礎 現在、科学が取り扱う範囲は、環境やエネルギーなどの分野に加え、バイオ、医学、およびエレクトロニクスなど幅広い領域に広がっている。その結果、従来の化学の基礎のみでこれら最先端科学を理解することが困難になっている。そこで、本講義では、最先端科学を理解するために必要な化学の基礎を学ぶことを目的とする。触媒、高性能電池、自己組織化、ソフトマテリアル、分析デバイス、一分子バイオ、分子設計、人工光合成、有機エレクトロニクスなど最先端の高度な化学を理解するための基礎を学ぶ。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席点とレポート点による総合評価 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51268	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤	工学部	月 5	514	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		エネルギー資源論 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席状況とレポートにて成績評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51269	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂	工学部	金 5	K301	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		海と社会概論 人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の7割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術について包括的に学び、その方向性を論じる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席点（初回は除く）40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51246	A	看護学概論Ⅱ	武村 雪絵、 國江 慶子	医学部	木 5	159	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナル－ 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。 本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。					
評価方法		出席及び毎回の小レポートにより評価を行う。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60234	A 2	環境と生物資源	木南 章	農学部	木 5	107	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		農業フィールドワーク論 農業および農村におけるフィールドワークについて理解を深める					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加状況とプレゼンテーションの内容により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
60233	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月 1	K211	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		農業生産学概論 人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では農業の生態学的な原理を踏まえつつ、世界の農業システムはいかなる座標軸の上で多様化してきたか、そこで展開してきた技術発展の必然性とは何か、食料供給網（フードサプライチェーン）の発達には農業をどのように変えてきたか、今日の農業が将来の世界人口を扶養できるか、といった問題を論じた上で、あらためてアジア稲作の持つ意味を考えてみたい。					
評価方法		・小課題（授業中に毎回実施する）と出席点により、総合的に評価する。原則として、出席回数が半分に達しない場合には単位は与えない。 ・期末試験は行わない。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51280	A	放射線環境科学	田野井 慶太郎	農学部	水 5	1214	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ 2011 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。同時に放射線や放射性物質の基礎も講義します。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により現場の方の話を聞く機会など設けています。					
評価方法 教科書		試験により評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 土壌汚染―フクシマの放射性物質のゆくえ 著者（訳者） 中西友子 出版社 NHK ブックス ISBN ISBN-10: 4140912081、 ISBN-13: 978-4140912089					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51277	A 1	住環境の科学	稲山 正弘	農学部	木 5	113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人と木と木造建築 地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		各教員における出席点とレポート点を集計して評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51243	A	教育心理学の世界	能智 正博、 岡田 謙介、滝沢 龍	教育学部	木 5	1311	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育心理学の世界 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることにも目的としている。					
評価方法 教科書 ガイダンス		最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 E（物質・生命）

振動・波動論		開講区分	A	
授業の目標・概要		音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。 音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。 たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど。 また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。 その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論 2. 1 自由度系の振動 ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動、共鳴、Q 値 ＊パラメーター励振 ＊簡単な非線形振動 3. 連成振動 ・2 自由度系 ・基準振動、うなり ・N 自由度系 4. 1 次元の波動 ・弦、弾性体、気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 ＊波のエネルギー ＊インピーダンス 5. フーリエ級数、変換の方法 ・考え方、基本事項、線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 ＊不確定性関係 ＊6. 2, 3 次元の波 ＊波動方程式 ＊平面波 ＊球面波 ＊水の表面波 ＊反射と屈折 ＊干渉、回折		
成績評価方法		各授業の UTAS シラバスを参照すること		
教科書		その他。／Other		
※講義の詳細・受講する		クラスについては、UTAS を参照すること		
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50312	火 2	鈴木 康夫	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50313	火 2	大川 祐司	723	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50722	木 1	加藤 雄介	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50969	金 2	大川 祐司	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50213	A	解析力学	加藤 光裕	物理	月 5	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		解析力学 解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		主に試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50698	A	相対論	大川 祐司	物理	水 5	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		特殊相対性理論 特殊相対性理論の基礎についての講義を行う。 相対性の概念、相対論以前の光の伝播の問題、相対論における異なる慣性系の間の座標変換である Lorentz 変換、テンソルを用いた共変的な記述、相対論的な力学、Maxwell 方程式の相対論的共変性などについて、基本的に教科書に沿って講義を行うが、教科書がなくても理解できるように板書を行う。 高校で習う数学および物理学の知識を前提とし、大学で電磁気学を履修していなくても十分に内容が理解できるように講義を行う。					
評価方法 教科書		定期試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 相対性理論入門講義 著者（訳者） 風間洋一 出版社 培風館 ISBN 978-4563023218					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51092	A	量子論	菊川 芳夫	物理	金 5	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		量子力学入門 量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを、基礎的な物理系の学習を通して体験する。また、発展的な例を通して、量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する。これによって量子論の概要を正しく把握し、今後の学習の基礎付けとすることをめざす。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験とレポート。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50015	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 1	511	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計物理学 多数の気体分子を考えたとき、初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると、少なくとも古典力学の意味で、ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう。しかしながら、その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に、運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない。一方で、熱力学は、温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している。このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である。講義では、統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し、いくつかの適用例題(気体のボイルーシャルルの法則、強磁性の相転移現象、等)を解説する。					
評価方法		定期試験と数回のレポートによる総合評価 中村メソッドによるレポート点検も評価対象					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50699	A	物理科学Ⅱ（文科生）	横倉 祐貴	物理	水 5	1322	1年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		物理学と時空 物理学では、自明な現象・事実から出発し、そこから帰納的に自然法則を見出し、それを原理として論理を展開して、全く非自明な結果を演繹的に導き出す。物事を原理的に捉える物理学独特の考え方は自然科学に限らず、あらゆる問題解決やアイデア形成に役立つものである。この授業では、アインシュタインの相対性理論を導き出すことを通して、この物理学的思考過程を体験してもらいたいと思う。 授業は若きアインシュタインの疑問「光を光の速さで追いかけたら、光はどのように見えるだろうか？」から始まる。この疑問の意味を理解するために、まずニュートン力学を解説し、光について説明する。そして、アインシュタインの考えに沿って、時間と空間の意味を考え直し、特殊相対性理論を構成する。このとき、時間と空間を「時空」として統一し、ローレンツ変換、さらに $E=mc^2$ を導き、その物理的意味を理解する。 さらに、一般相対性理論に進む。素朴な経験事実から原理を見抜き、それらを巧みに組み合わせ、「時空は入れ物ではなく“動く物理的実体”である」という驚くべき結果がどのように導かれるのかを概説する。もし時間が許せば、ブラックホールについても説明したい。 物理学の1つの特徴はその普遍性にある。物理法則は地球上だけでなく、遠く離れた宇宙でも成立する普遍的な「物」の「理」である。これを可能にするのが、自然言語である数学である。従って、この授業では、ただの解説話ではなく、実際に数式を使って、法則を書き下し、それを一步一步変形して、結果を導き出す。高校物理を履修していない生徒でも理解できるように、必要な物理や数学の内容は全て授業で与え、なるべく初等的な数学からきちんと解説する。慣れない考え方も多くあるかもしれないが、真摯に学べば、素朴な興味や事実からどのように宇宙を支配する法則に至るのか、その物理学の壮大なロマンを感じてもらえると思う。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験。レポート課題を出す可能性あり。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50970	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	金 2	522	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics 化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		演習と定期試験 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51093	A	化学平衡と反応速度	豊田 太郎	化学	金 5	514	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学平衡と反応速度 自然現象、特に生命現象、を原子や分子の視点から理解するとき、化学平衡という自然のなりゆきと、そこへ至るまでの反応過程を反応速度によってとらえることが重要である。本講義ではこれらの視点を、適宜演習を通じて理解する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		演習課題と学期末レポート。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50314	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	火 2	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけてはなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		各回での復習問題（12 回）の解答を総合して評価する。研究室見学会での小課題も成績評価に含まれる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間目 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51264	A	物質・生命工学概論	長汐 晃輔	工学部	月 1	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 ナノ・機能マテリアル入門 「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで、ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である。大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く、専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい。しかしながら、厳密性を重視した数学による表現が多用されると、高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないと思う。間違って捉えてはいけないのは、数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である。この講義では、固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式から得られる波動関数に対する物理的意味を正しく理解し、どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する。 文系も受講可ですが、偏微分方程式、常微分方程式、行列に対する数学的知識は必須ですので注意してください。 以下の項目を具体的な題材として議論したい。 高速トランジスタ、電子顕微鏡、走査トンネル顕微鏡、半導体レーザー、等 評価方法 教科書 ガイダンス できる限り毎回の簡単なレポート(8割)+最終レポート(2割)での評価 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51265	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	馬渡 和真	工学部	木 5	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		量子計測化学序論Ⅱ -分子・錯体・固体の化学を量子化学で理解する（物性化学への橋渡し） - /Quantum chemistry for measurementⅡ -understanding molecules, complexes, and solids by quantum chemistry					
授業の目標概要		化学では分子から固体まで幅広い物質を取り扱う。これら分子、錯体、固体の基本的な性質（分子の形、結合の手、電気伝導性など）についてはすでに高校で学んではいるが、そのメカニズムについては量子化学ではじめて理解ができる。そこで、本講義では、分子、錯体、固体という化学で取り扱う物質の基本的な性質を量子化学により理解することで、暗記する化学から理解する化学へ移行することを目指す。 In chemistry, you will use many materials from molecules to solids. Basic characteristics of molecules, complexes, and solids were taught in high school, while the mechanisms can be understood through quantum chemistry. In this lecture, you learn the mechanisms by quantum chemistry and become to understand chemistry.					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席とレポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50214	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1322	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		進化学 生物の研究には、生物を物質的・還元的に分けて調べる研究分野の他に、人も含めた生物同士あるいは生物と環境の関係性を研究する分野があり、進化学は主に後者についての興味を扱う学問とされています。例えば、多様な生物はなぜどのように生まれて来たのか？男女の違いや、そもそも性はなぜ存在するのか？協力的な関係が成立するためには何が重要か？ゲノムと形質の多様性はどうか結びつき、何に起源するのか？といった疑問についての面白さを追求します。一般に進化学では"進化機構"と"進化史"が研究のための2つの柱と言われ、本授業はそれらの研究法と、そこからわかった様々な知見について解説します。関係する分野として系統学、集団遺伝学、分子進化学、生態学、ゲーム理論、発生進化学などにも触れつつ、色々な生物の例を具体的に挙げながら順次説明していきます。高等学校で生物を学ばなかった方にもわかるように、授業の早期に最低限の遺伝学・分子生物学の資料を渡し、解説を行う予定です。また最新の論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだまださんの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を目指す方々にも楽しんでもらいたいと考えています。これらを通じ、遺伝子-個体-集団から見た生物の面白さ・楽しさについて、進化学的に理解することを本授業の目標とします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験を行います。その他、宿題の提出、質問や発言、出席などの授業への積極的姿勢も重視します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50215	A 1	現代生命科学Ⅰ（文 生、理一生）	石丸 喜朗	生物	月 5	1213	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		生命科学の基礎 21世紀以降、生命科学は飛躍的に発展しています。本授業では、生命科学の基礎知識・基本原理を幅広く習得し、科学的思考力を身に付けることを目標とします。身近な生命現象を手がかりとして、その奥にある仕組みを科学的に基本から学習します。過去の生物学の履修歴は問いません。知的好奇心に溢れ、勉学意欲に富んだ学生の参加を希望します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		繰り上げ試験を実施 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代生命科学 著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 出版社 羊土社 ISBN 978-4-7581-2053-1 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50315	A 1	現代生命科学Ⅱ （文科学、理一生）	渡邊 雄一郎	生物	火 2	521	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		現代社会の問題をを生命科学から考える。 教科書の内容を参考にしつつ、学生の皆さんの将来に想定される問題を考える知的基礎体力をつける。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中に出してもらおう小レポートと学期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 現代生命科学 第2版 著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 羊土社 ISBN 978-4-7581-2091-3 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/24 2限／2nd Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51253	A	分子生命科学	濡木 理	理学部	木 5	523	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		分子から見た生命現象 生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第5版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員6名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNAによる制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。					
評価方法 教科書		授業への出席（50%）と毎回の授業の最後に実施する小テスト（50%）にて評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 細胞の分子生物学（第6版） 著者（訳者） ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER（翻訳：中村 桂子, 中塚 公子, 宮下 悦子, 松原 謙一, 羽田 裕子, 青山 聖子, 滋賀 陽子, 滝田 郁子） 出版社 ニュートンプレス ISBN 4315520624					
ガイダンス		UTAS シラバスを参照					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50889	A	惑星地球科学 I (理科生)	小久保 英一郎、 中本 泰史	宇宙地球科学	木 5	525	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		惑星地球科学 I(惑星系天文学概論) 太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		課題レポートによって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50462	A	惑星地球科学 II (理科生)	磯崎 行雄	宇宙地球科学	火 5	1102	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		地球科学の基礎：とくに地球表層環境の物質とその変遷史 地球表層環境の歴史は、固体地球の歴史と密接に関連している。約 40 年に及ぶ地球生命および環境の歴史を、固体地球の歴史と対比しながら解説する。人類が直面する地球環境問題を考える上での基礎知識の習得を期待する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末試験、および各講義ごとに行う小テストにより評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51252	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫	理学部	木 5	109	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学で解く地球と環境： 環境地球化学入門 地球表層での物質循環・化学過程のいくつかの例を大気圏・水圏・地圏に分けて考えると共に、関連する環境問題について取り上げる。関連して、地球の大気や海洋がどのように進化して現在の姿になったかについても知る。これらの知識を基盤とすることで、現在の地球環境問題の本質を探ることができる。また、これら地球化学・環境化学の基礎となる化学熱力学や分析手法についても解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、小テスト、期末テストを基に総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50016	A	宇宙科学Ⅰ（理科生）	鈴木 建	宇宙地球科学	月 1	1102	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		天文学・宇宙物理学の基礎的内容 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験（義務）+ 中間レポート（任意） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50216	A	宇宙科学Ⅱ（理科生）	廣田 朋也	宇宙地球科学	月 5	1225	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		電波観測を中心とした最新の天文学研究 本講義では、主に電波天文学という観点から、天文学・宇宙物理学の基礎、天文学研究の最新の成果や将来計画について理解することを目標とする。 講義では、天文学・宇宙物理学の基礎から始まり、続いて電波天文の観測手法や観測装置、将来計画を紹介する。その後、最新の電波天文学研究の成果をもとに、現在までに明らかにされている天体や宇宙についての描像を解説する。特に、講師の専門分野である星・惑星形成やその進化、星間物質の化学、宇宙生物学、銀河系構造、ブラックホールの観測的研究について、最新の講師自身の研究成果も交えながら重点的に紹介する。また、天文学・宇宙物理学の発見に関する最新のニュースなどがあれば、その解説も講義で行う。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末に論述式問題による試験を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50217	A	惑星地球科学Ⅱ（文科生）	小河 正基	宇宙地球科学	月 5	524	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		地球の気候変動 近年、人為的な二酸化炭素の放出による地球温暖化が大きな問題となりつつある。この講義では、この問題の根本にある大気の温室効果や大気海洋大循環、エルニーニョに代表される気候の振動等の基礎的な解説を行った後、IPCC 報告書の内容について解説する。さらに、より長い時間スケールでの気候変動やそもそもなぜ地球では生命にとって都合の良い環境が維持されてきたのかについても解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験を行う 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50971	A	宇宙科学Ⅰ（文科生）	土井 靖生	宇宙地球科学	金 2	1106	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		天文学全般の基礎 現代科学による宇宙像の把握・天文現象の理解がどの様に進んでいるかを理解することを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験により評価する。また任意のレポートを課す予定。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/27 2 限／2nd Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51279	A	微生物の科学	大西 康夫	農学部	水 5	1102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		微生物の世界 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験の成績に出席点を加味して評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51276	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅	農学部	金 5	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物の機能とその利用 前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。 本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。					
評価方法		期末試験、授業への参加姿勢（小レポートを含む）、出席点によって総合的に評価する。試験は定期試験期間に行う。ノートおよび配付資料は持ち込み可とする（ノート・配付資料以外は持ち込み不可）。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/27 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51281	A	応用動物科学Ⅱ	堀本 泰介	農学部	月 5	522	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		高等動物の比較生物学 高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、獣医学専攻と応用動物科学専攻の教員が講義する。					
評価方法		出席とレポートによる。 レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見を A4 で 2 枚以内にまとめ、次回の講義時に提出（英文可、表紙不要、1 枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。 最終回の講義のレポートは令和 2 年 1 月 10 日までにアドミニストレーション棟 1 階レポート BOX に提出すること。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/30 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51278	A	海の生命科学	浅川 修一	農学部	金 5	743	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		海の生命科学 水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚 類、大型は哺乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。 水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な 形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題 達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（１）海洋生物の生理、（２）海洋生物の有機化学、（３）海洋生物のゲノム科学、（４）海洋生物の食への利用と生理調節作用、について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある、30%）および期末試験（70%）をもとに評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/27 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50218	A	生物物理学	澤井 哲	統合自然科学科	月 5	1212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生物物理学 ー実験から理論までー 生物は物質で構成されている。したがって物理学的な立場から生命現象を理解できる。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきた。つまり、生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことで、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。さらに、物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域でもあり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。このように、従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未履修であっても構わない。					
評価方法		平常点及び小テスト 場合によってレポートを課す場合もある。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50700	A	先進科学 I α	野口 篤史	先進科学	水 5	E38	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		量子技術と量子コンピュータ（アドバンスト理科） 【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】 近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータ開発を目指した研究を進めている。夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が近づいてきている。量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は、分子や原子からなるものから、超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた。この講義では、量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子計算を実際にプログラムし、実行する演習を行う。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの仕組みやその他の量子技術について解説する。 受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に線形代数の基礎学力の確認と量子力学への学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中の発表の内容、学期中のレポートと出席状況をもとに評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/09/25 5 限／5th Period 1225 教室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50219	A	先進科学Ⅱα	市橋 伯一	先進科学	月 5	E38	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生命進化概論（アドバンスト理科） 【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】 「生物学は進化という観点がないと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。そしてヒトの扱える技術やエネルギーの規模は拡大の一途をたどっている。なぜ生物は進化するのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ 生命とは何か？ なぜ死は不可逆なのか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、私たち人類が一体どこまで理解するに至ったのかを概説する。さらに進化を理解するための方法論を解説し、受講者に実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。 本講義の前半では、まず生命とは何か、その誕生の謎と人類に至るまでの進化について説明する。そしてその進化過程には一定のパターンがあることを学ぶ。そのパターンから私たち生命の過去と未来を議論する。本講義の後半では、これまでに生命進化の研究で行われてきた方法論を学ぶ。受講者には実際に進化シミュレーションを行ってもらふ。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。本講義により、進化という現象を計算機の中に再現できるようになる。これにより生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の小レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 初回ガイダンス場所は 531 教室					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50972	A	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 物理学による生命の記述（アドバンスト理科） 授業の目標概要 【※ガイダンスは通常利用教室と異なる教室で行うため、注意すること】 我々の身の回りには、食品、医薬品、プラスチック等の石油化学製品など、柔らかな物質群で溢れている。これらの総称である「ソフトマター」という単語が、Pierre-Gilles de Gennes のノーベル物理学賞受賞講演において用いられ普及すると共に、ソフトマターの物理的研究が進展してきた。ソフトマター物理学のいわば究極の研究対象として、生物がある。ソフトマターという単語が普及する以前に、Erwin Schrodinger は名著 “What is life?” のもととなる講演を行い、生命現象の物理的面白さや複雑さを紹介している。それから今日までの三四半世紀に実現されてきた生命の物理的記述を紹介し、生命現象に見られる一貫性と多様性を理解する。 本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解する。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現する。さらに、ソフトマターを用いた最先端の応用研究として人工細胞を用いた生細胞の再現や、非平衡定常系という考え方により明らかとなりつつある生命と非生命の境界に存在する未解決問題について学ぶ。 受講者数を 20 名程度に制限するため、ガイダンス時に微分積分と線形代数に関する基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第 2 回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。							
評価方法 レポートと出席状況、定期試験をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 初回ガイダンス場所は 741 教室							

総合科目 F（数理・情報）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50723	A	数理科学概論 I (文科生)	小林 俊行	数学	木 1	511	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論 I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験の成績に平常点（中間試験等）を加味する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50316	A	数理科学概論 II (文科生)	山本 昌宏	数学	火 2	522	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論 II（文科生） 文科生向けの、行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目では「数学 II」で扱う内容を前提とするが、基礎科目「数学 I」で扱う内容は前提としない。ただし、項目 3 においては「数学 I」の関連する内容を理解しておくことが望ましい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験による。小テストやレポートを課した場合、それらも加味する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51262	A	数理工学入門	谷川 眞一	工学部	月 5	106	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		最適化の数理 産業経済活動に現れる生産計画，配送計画，スケジューリング，投資計画を始めとする多くの重要な問題は，大規模な最適化問題として捉えられる。本講義では，現実問題からどのように数理的な構造をとり出し，最適化問題として定式化するかを学ぶとともに，モデル化された最適化問題を効率的に解くアルゴリズムを設計し，解析するための考え方を学ぶ。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席と 2 回のレポート課題 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50317	A	統計データ解析 I	小池 祐太	数学	火 2	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データサイエンス入門 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。 出席およびレポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					
評価方法 教科書 ガイダンス							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50701	A	統計データ解析 I	小池 祐太	数学	水 5	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データサイエンス入門 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。 出席およびレポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					
評価方法 教科書 ガイダンス							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50890	A	統計データ解析 I	吉田 朋広	数学	木 5	E41	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データサイエンス入門 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、および課題の発表あるいはレポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

図形科学 A		開講区分		A
授業の目標・概要				
3次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD（計算機援用設計）／CG（コンピュータ・グラフィックス）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。主な学習項目は以下のとおり。				
1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線） 2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法） 3. アセンブリ・正投影図面 4. パースペクティブビュー（透視投影） 5. レンダリング（色彩，マッピング，陰影） 6. アニメーション（動的表示，ウォークスルー）				
成績評価方法				
出席、レポート（実習課題）、および、期末試験によって評価する。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
書名 3D-CAD/CG 入門[第3版]～Inventor と 3dsMax で学ぶ図形科学				
著者（訳者） 鈴木賢次郎，横山ゆりか，金井崇，舘知宏 共著				
出版社 サイエンス社 発行日：2016 年 9 月				
ISBN 978-4-7819-1389-6				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50055	月 2	舘 知宏、谷田川 達也	E21	1 年 文科 理一(7,16-17,29,39) 2 年 文科 理科
50104	月 3	谷田川 達也、舘 知宏	E21	1 年 文科 理一(6,12,19,36-37) 2 年 文科 理科
50260	火 2	吉岡 陽介、山下 典理男	E31	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50364	火 3	山下 典理男、吉岡 陽介	E31	1 年 文科 理一(10,15,21,26,32) 2 年 文科 理科
50611	水 3	金井 崇、柏原 賢二	E31	1 年 文科 理一(5,11,14,23-24) 2 年 文科 理科
50644	水 4	柏原 賢二、金井 崇	E31	1 年 文科 理一(8,22,27-28,30) 2 年 文科 理科
50704	木 1	福田 玄明、早川 大地	E21	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50754	木 2	早川 大地、福田 玄明	E21	1 年 文科 理一(13,18,34,38) 2 年 文科 理科
51003	金 3	田中 一郎、奈尾 信英	E31	1 年 文科 理一(20,25,35) 2 年 文科 理科
51048	金 4	奈尾 信英、田中 一郎	E31	1 年 文科 理一(1-4,9,31,33) 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50220	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1108	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどのような風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。					
評価方法		試験。 成績評価は理系と文系で分けて採点し、Aの比率はほぼ同じくらいにする。参考資料として、第一回目のガイダンスのときに、昨年度の成績分布を示す。試験の詳細もそのときに説明する。					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50724	A	基礎統計	丸山 祐造	経済・統計	木 1	1313	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 統計学は、近年注目されているデータサイエンスにおいて、数学・計算機科学と並んで基盤となる学問の一つである。データサイエンスを含め、人工知能、機械学習、ビッグデータといったバズワードで語られる分野で、将来一旗揚げたいと考える野心的な学生においては、統計学は学部前期課程のうちに身につけるべき素養であろう。また統計学の基礎的素養は、そのような野心的学生だけでなく、文科系を含まいかなる分野に進む学生にとっても必要であると考えられる。なぜならデータとともに思考する能力が、どんな分野においてもますます重要性を増しているからである。例えば中央官庁に進む場合、データや実証結果に基づく政策形成（Evidence Based Policy Making）への理解が不可欠である。法学、政治学、経済学といった伝統的に重視されてきた学問への素養だけではなく、統計学、データ解析に精通していることが期待されている。 本講義では、東大入試二次試験の文系数学の出題範囲レベルを前提に、統計学の基本事項を解説する。統計学的なデータの見方、また統計学の手法を用いるとどんなことが出来るかを具体的に示し統計学の動機づけを重視する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50221	A	統計分析	倉田 博史	経済・統計	月 5	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		回帰分析のより進んだ扱い 基礎統計などの入門講義で学んだ回帰分析のより発展的な内容について扱う。経済の実証的分析を例に取りながら解説するが、経済学に関する知識は要求しない。Excel とフリーソフトの gretl を用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験による。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

アルゴリズム入門		開講区分		A
授業の目標・概要		コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。 本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングを通して習得することです。		
成績評価方法		試験および演習課題の成績によって評価します。 試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ 著者（訳者） 森畑明昌 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062458-9		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50001	月 1	山口 文彦	E21	1 年 文科 理二三(1-10) 2 年 文科 理科
50056	月 2	山口 和紀	E31	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50150	月 4	塩谷 亮太	E21	1 年 文科 理一(8,10,15,17) 2 年 文科 理科
50183	月 5	伊知地 宏	E21	1 年 文科 理二三(11-17) 2 年 文科 理科
50259	火 2	千葉 滋	E21	1 年 文科 理一(12,14,20,23,26,32) 2 年 文科 理科
50318	火 2	萩谷 昌己	E26	1 年 文科 2 年 文科
50544	水 2	山口 泰	E26	1 年 文科 理一(9,21,25,29) 2 年 文科 理科
50643	水 4	田中 哲朗	E21	1 年 文科 理一(1-5,7) 2 年 文科 理科
50702	水 5	森畑 明昌	E21	1 年 文科 2 年 文科
50750	木 2	地引 昌弘	E31	1 年 文科 理一(6,11,16,37) 2 年 文科 理科
50910	金 1	松島 慎	E21	1 年 文科 理一(13,22,30,36,39) 2 年 文科 理科
50923	金 2	塚田 学	E21	1 年 文科 理二三(18-24) 2 年 文科 理科
51010	金 3	羽山 博	E26	1 年 文科 理一(24,31,33) 2 年 文科 理科
51053	金 4	羽山 博	E26	1 年 文科 理一(19,34-35) 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50382	A	計算機プログラミング	小林 浩二	情報・図形	火 3	E26	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		非専門家のためのアルゴリズムとデータ構造入門 アルゴリズムとは「問題」を解くための手順であり、データ構造は計算機（コンピュータ）上においてアルゴリズムを実行する際にデータを保持するための方法である。これらは計算機科学の基礎をなす学問分野である一方、計算機科学とは全く異なる分野においても陰に陽に重要な役割を果たしていることが少なくない。 そこで本授業では、文理問わず後期課程進学後に計算機科学「以外」の学問を修める学生を対象とし、進学後に会うであろうアルゴリズムとデータ構造に関する事柄について学ぶ。具体的には、実際にこれらが他分野（例えば、言語学、生物学など）において関わってくる場面を例示しつつ、それらの機能や仕組みについて学ぶ。 そのため、本授業は後期課程進学後に計算機科学とそれに直接関わる分野を専攻することを検討している学生の履修は推奨されない。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回出題する課題の解答状況により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51250	A	計算機プログラミング	萩谷 昌己	理学部	金 2	E26	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		プログラミング技法 プログラミングが簡潔で速く、正確になることは、情報科学の知識や数学的能力 だけでは不十分であり、技法としてのプログラミングを身に着け、訓練を経るこ とが必須である。本講義では、簡単なプログラム作成が出来ることを前提として、より速く、より正確、より大規模なプログラムを作成する技術的側面につい て講義し、実際の課題を通してプログラミング技法を錬成する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		毎回、課題を課し、その結果により成績評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51251	A	計算機システム概論	小林 克志	理学部	水 5	E42	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		計算機システム概論 コンピュータシステムを利用した情報サービスの知識はあらゆる分野で求められている。本講義では、情報サービスの提供に必要な知識・スキルに加えてそれらの獲得方法を学ぶ。具体的には、Web サービスの提供を想定し、その実現に必要な知識・技術を解説する。併せて、具体的なサービス構築を通じ知識・技術の活用に加え、それらの獲得方法を実践的に体得する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		講義への参加意欲・小テスト・課題の成績を総合して評価する。 その他。／Other 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time 2019/9/25 5 限／5th Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51273	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦	工学部	月 5	521	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		情報・システム工学概論 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51259	A	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎	工学部	月 1	513	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		わかる電子回路 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題) によって総合的に判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51256	A	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫	工学部	金 5	721	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間とロボットの科学 ロボットのルーツは、人間や動物の知的行動を工学的に再現しようとする試みにある。 身体、知覚、行動、知能を数理的、科学的に定式化し、適切な工学的実現を行うことで、様々なロボットができる。 それは、人間や動物を科学的に理解することであると同時に、人間に有用なロボット技術を構築することでもある。 さらには、人間の能力を補い、拡張する技術、人間に新たな体験を提供する技術にもつながる。 本講義では、人間のための技術としての仮想現実や生活支援ロボット、人間を理解する手段としての認知発達ロボティクス、ヒューマノイドロボットやサイborg技術など、最先端のロボティクスを俯瞰すると共に、その実現に向けた基礎知識を学ぶ。高校～大学1年程度の数学および物理学を使って、人間とロボットに共通の機能定式化を具体的に学び、工学的実現方法も見えていく。これらを統合すると、知能ロボット機能の一つの全貌が理解できるはずである。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、小テスト、レポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51270	A	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫	工学部	集中	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済物理・金融情報学・計算社会科学 現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し、新古典経済理論や金融工学、社会学では説明の付かない現象が数多く観察される。それに対して理工系の知見を適用して、社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する。この講義では、そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに、社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える。					
評価方法		※履修人数制限 20 人 ※講義は集中講義にて行う。(2020 年 1 月 20, 21 日を予定) ※受講希望者は 10 月 10 日までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkw12 講義後に行われる試験によって評価。 試験は持ち込み可					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					